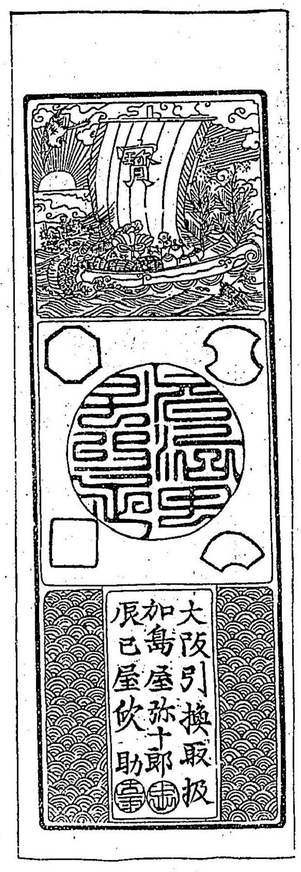
羽後國
秋田藩

表

裏



右金札三種アリ前ニ詳ナリ

北陸道
若狭國　小濱藩

表

裏

右銭札七種アリ前ニ詳ナリ

裏

つ
る

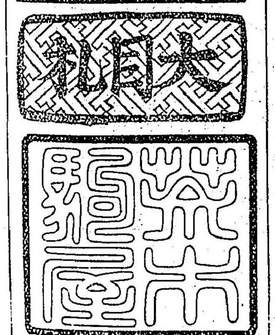
表書之通無相違可被
相渡者也

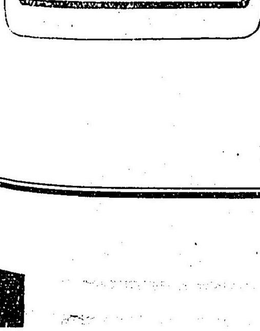
用人中

右米札銀札七種アリ前ニ詳ナリ

越前國
福井藩

表





裏

右銀札九種アリ前ニ詳ナリ

表

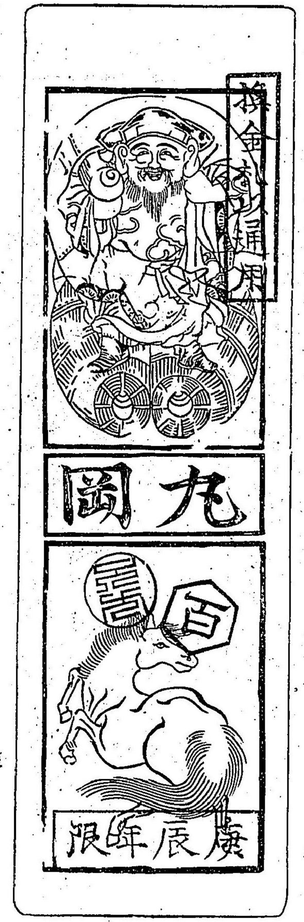
裏

右銀札九種アリ前ニ詳ナリ

丸岡藩

表

裏

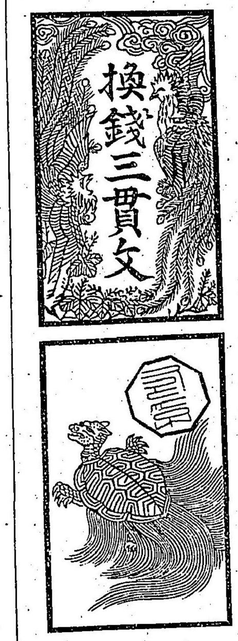


右銀札十種アリ前ニ詳ナリ

鯖江藩

表

裏



右銀札九種アリ前ニ詳ナリ

大野藩

表

裏

表

右銀札十三種アリ前ニ詳ナリ

勝山藩

裏

表

右銀札十三種アリ前ニ詳ナリ

加賀國

金澤藩

裏

右銀預券八種アリ前ニ詳ナリ

表

裏

右錢札十種アリ前ニ詳ナリ

大聖寺藩

表

裏

右錢預券九種アリ前ニ詳ナリ

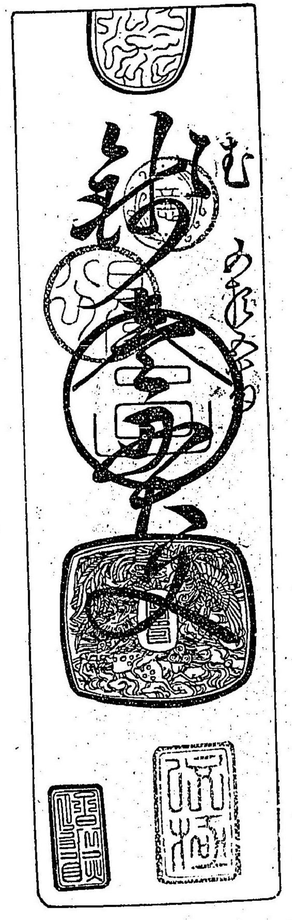
能登國　富山藩

表

裏

右金札四種アリ前ニ詳ナリ

表



裏

右錢札五種アリ前ニ詳ナリ

富山通用

引替所　味噌屋治郎右衛門
古川屋吉兵衛
中川屋文右衛門

越後國
高田藩

表

裏

右錢札四種アリ前ニ詳ナリ

山陰道
丹波國

表

裏

右錢札七種アリ前ニ詳ナリ

篠山藩

表

裏

右錢札十四種アリ前ニ詳ナリ

龜岡藩

表

裏

右銀札七種アリ前ニ詳ナリ

福知山藩

表

裏

右銀札六種アリ前ニ詳ナリ

表

裏

右錢札八種アリ前ニ詳ナリ

園部藩

表

裏

右銀札四種アリ前ニ詳ナリ

柏原藩

表

裏

右錢札七種アリ前ニ詳ナリ

山家藩

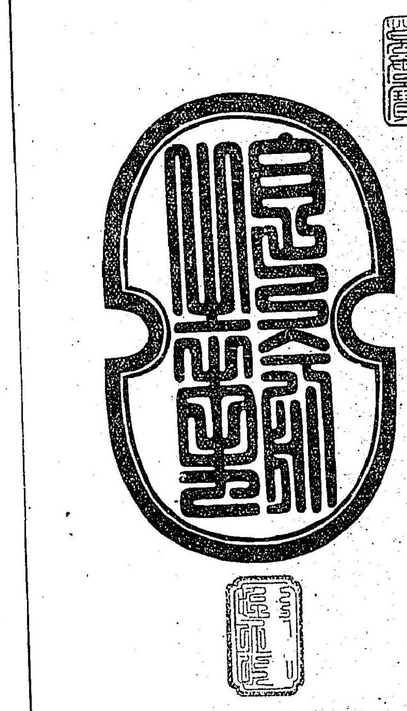
表

裏

右銀札六種アリ前ニ詳ナリ

表

裏



右錢札三種アリ前ニ詳ナリ

表

綾部藩

裏

表

右銀札四種アリ前ニ詳ナリ

旗下牧采地

裏

右銀札五種アリ前ニ詳ナリ

表

裏

右錢札五種アリ前ニ詳ナリ

旗下藤懸采地

表

裏

右銀札五種アリ前ニ詳ナリ

丹後國

宮津藩

表

裏

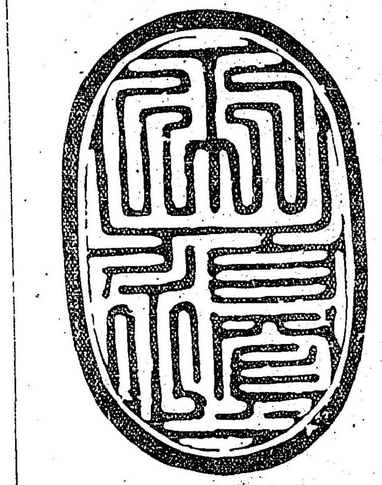
右錢札十一種アリ前ニ詳ナリ

舞鶴藩

表

峯山藩

裏



表

裏

右錢札十九種アリ前ニ詳ナリ

但馬國　出石藩

表

裏

右錢札五種アリ前ニ詳ナリ

豐岡藩

表

裏

右銀札八種アリ前ニ詳ナリ

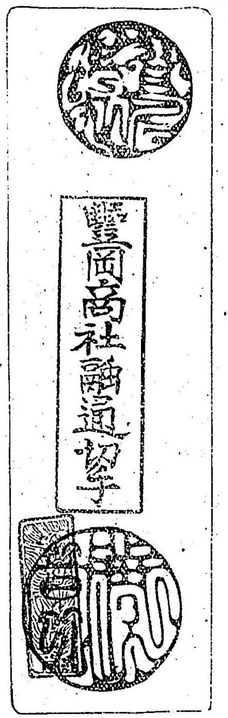
表

裏

表

右錢札四種アリ前ニ詳ナリ

村岡藩



裏

表

右錢札八種アリ前ニ詳ナリ

旗下小出采地

裏

表

右銀札八種アリ前ニ詳ナリ

裏

表

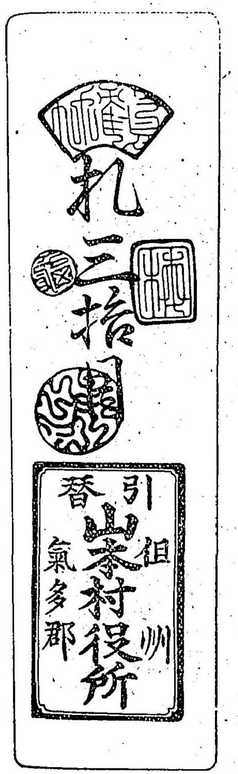
裏

右錢札一種ナリ

旗下小出采地

表

裏



右銀札五種アリ前ニ詳ナリ

裏

表

旗下小出采地

裏

右銀札六種アリ前ニ詳ナリ

因幡國
鳥取藩

裏

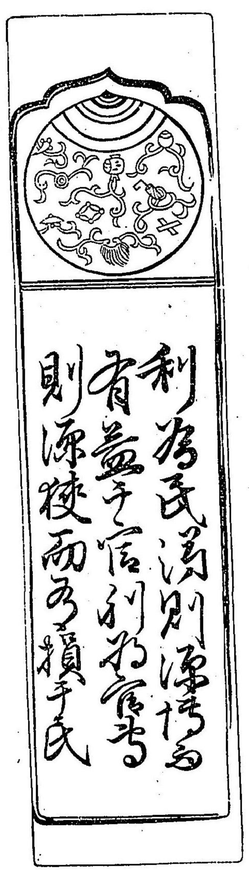
表裏

右銀札七種アリ前ニ詳ナリ

出雲國
松江藩

表

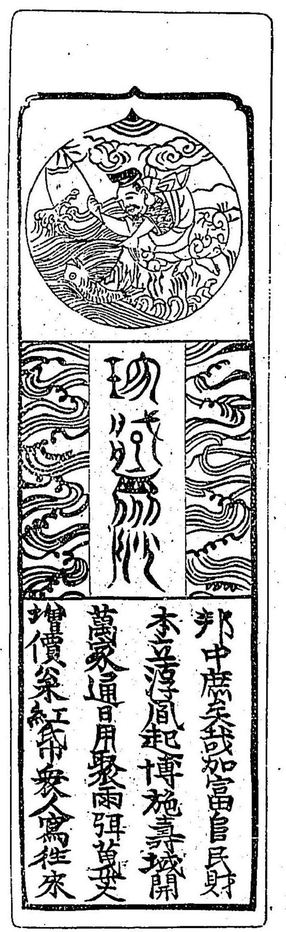
裏



右銀札三種アリ前ニ詳ナリ

表

裏

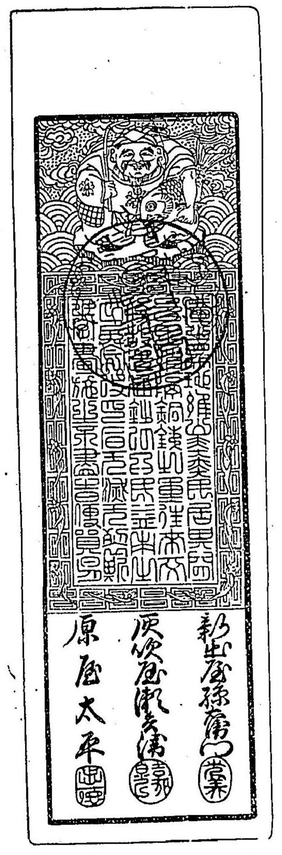


右錢札二種アリ前ニ詳ナリ

廣瀨藩

表

裏

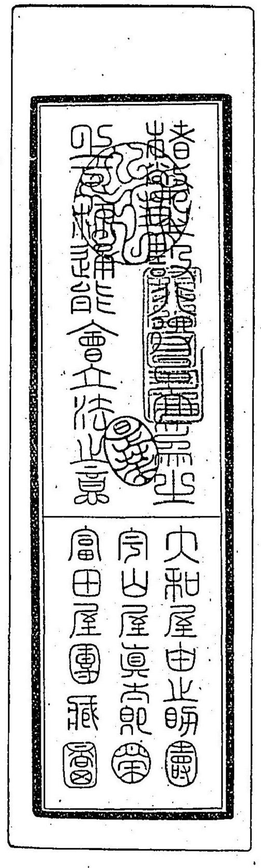


右錢札五種アリ前ニ詳ナリ

母里藩

表

裏

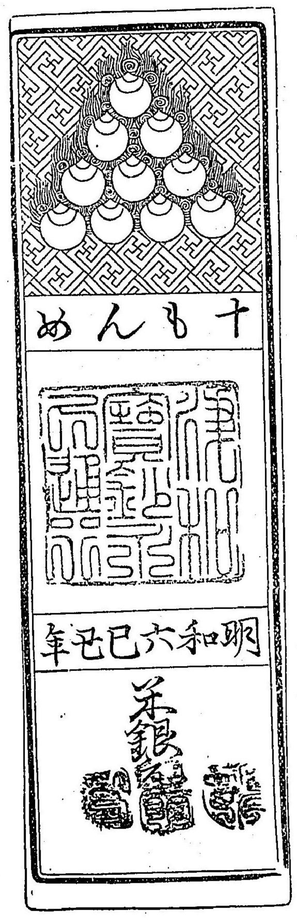


右錢札四種アリ前ニ詳ナリ

石見國　津和野藩

表

裏

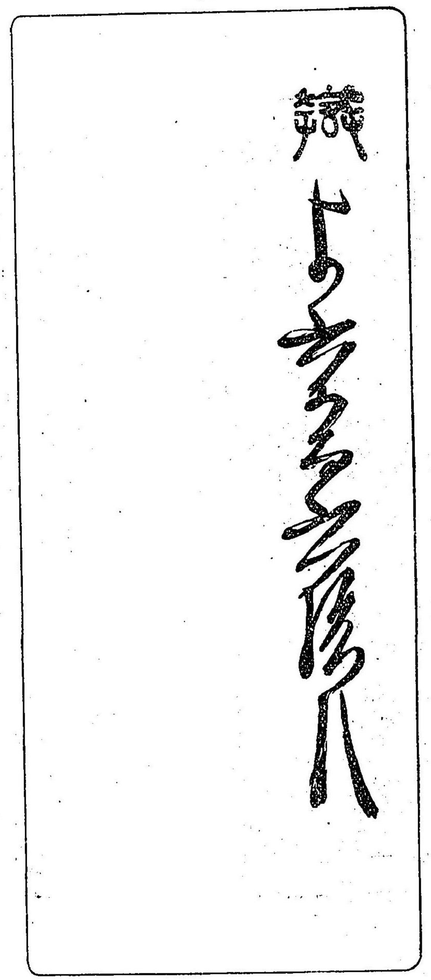


右米札五種アリ前ニ詳ナリ

山陽道
播磨國
明石藩

表

裏



右銀札五種アリ前ニ詳ナリ

姫路藩

表

裏

右銀預券六種アリ前ニ詳ナリ

龍野藩

表

裏

右錢札十種アリ前ニ詳ナリ

小野藩

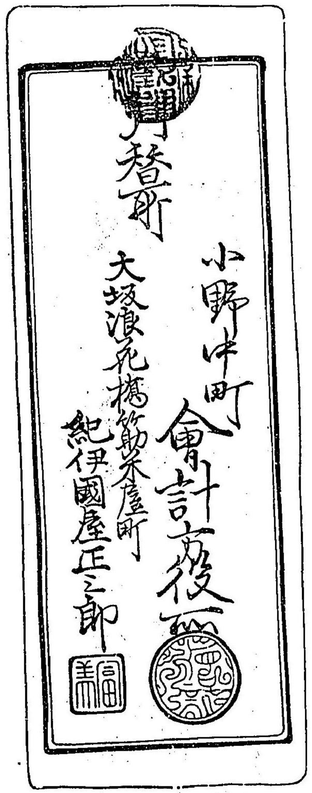
表

裏

右銀札四種アリ前ニ詳ナリ

表

裏



右錢札二種アリ前ニ詳ナリ

林田藩

表

裏

右銀札二種アリ前ニ詳ナリ

表

裏

右錢札七種アリ前ニ詳ナリ

山崎藩

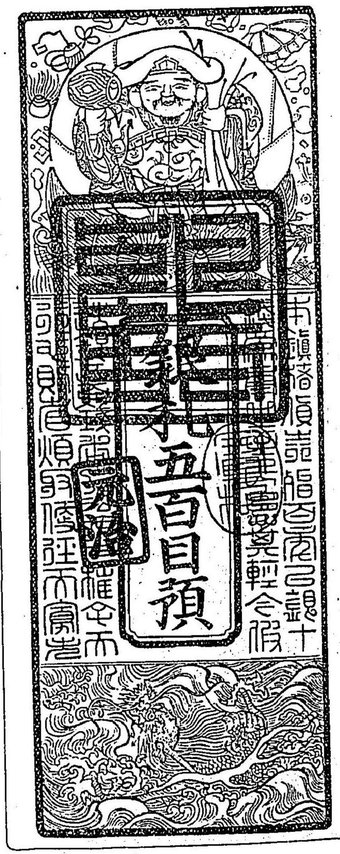
表

裏

右錢札十種アリ前ニ詳ナリ

赤穗藩

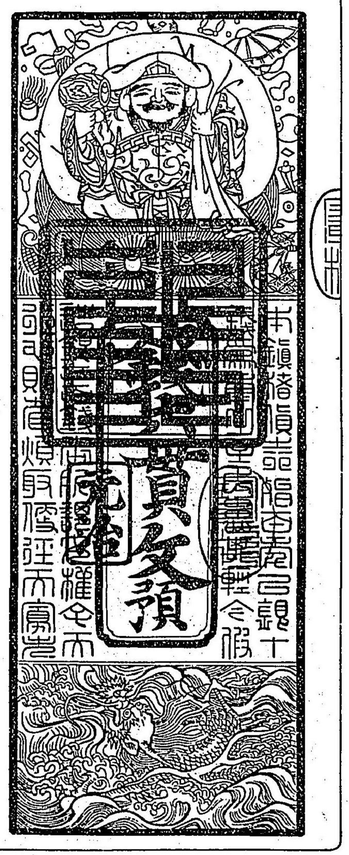
表



裏

右古銀札四種アリ前ニ詳ナリ

表



裏

右新銀札五種アリ前ニ詳ナリ

三日月藩

表

裏

右錢札十二種アリ前ニ詳ナリ

安志藩

表

裏

右銀札六種アリ前ニ詳ナリ

表

裏

美作國
津山藩

右錢札九種アリ前ニ詳ナリ

表

裏

右銀札七種アリ前ニ詳ナリ

表

裏

右銀札五種アリ前ニ詳ナリ

鶴田藩

表

裏

右銀札八種アリ前ニ詳ナリ

備前國
岡山藩

表

裏

右錢札四種アリ前ニ詳ナリ

備中國
高梁藩

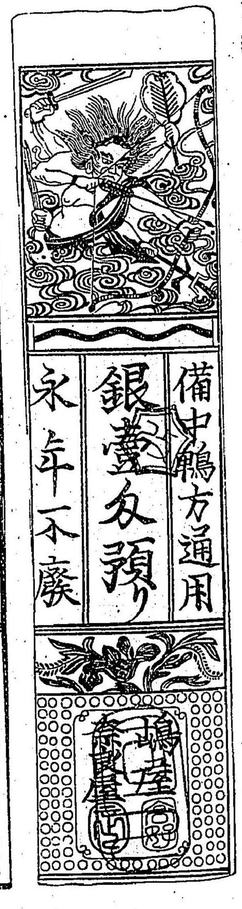
表

裏

右永預券十三種アリ前ニ詳ナリ

鴨方藩

表



裏

右銀預券四種アリ前ニ詳ナリ

足守藩

表

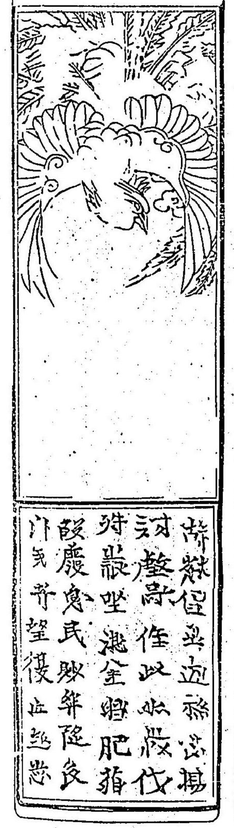
裏

右銀札六種アリ前ニ詳ナリ

浅尾藩

表

裏



右銀札七種アリ前ニ詳ナリ

表

裏

右永錢札八種アリ前ニ詳ナリ

庭瀬藩

表

右銀札四種アリ前ニ詳ナリ

裏

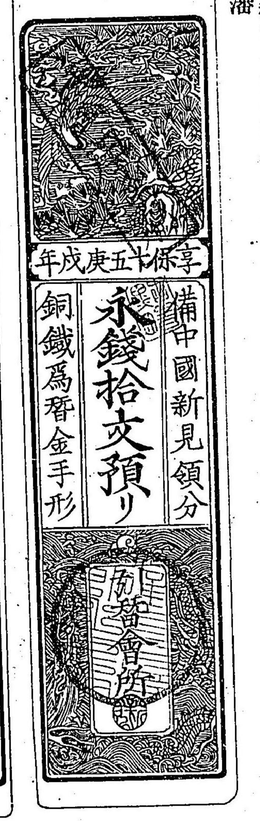
表

右永錢札三種アリ前ニ詳ナリ

新見藩

裏

表



右永錢札五種アリ前ニ詳ナリ

裏

表

裏

右銀札アリ前ニ詳ナリ

岡田藩

表

裏

右銀札八種アリ前ニ詳ナリ

成羽藩

表

裏

右永錢札七種アリ前ニ詳ナリ

旗下戸川采地

表

裏

右銀札七種アリ前ニ詳ナリ

旗下戸川采地

表

裏

右銀札九種アリ前ニ詳ナリ

倉敷縣

表

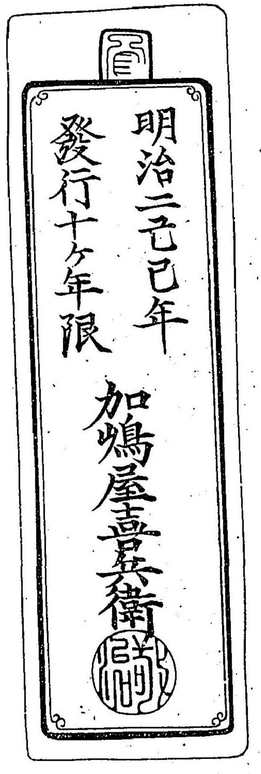
裏

右錢札四種アリ前ニ詳ナリ

備後國　福山藩

表

裏



右金預券三種アリ前ニ詳ナリ

表

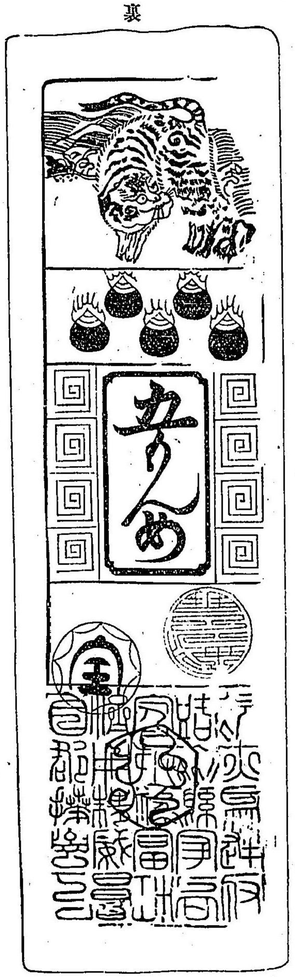
裏

右銀札五種アリ前ニ詳ナリ

安藝國
廣島藩

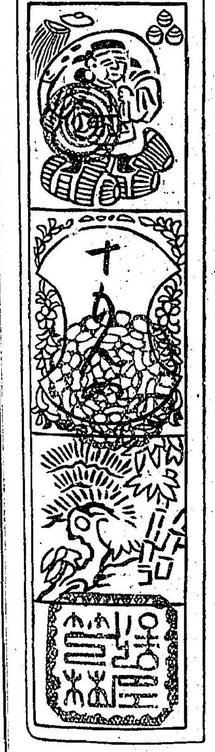
表

裏



右銀札五種アリ前ニ詳ナリ

裏

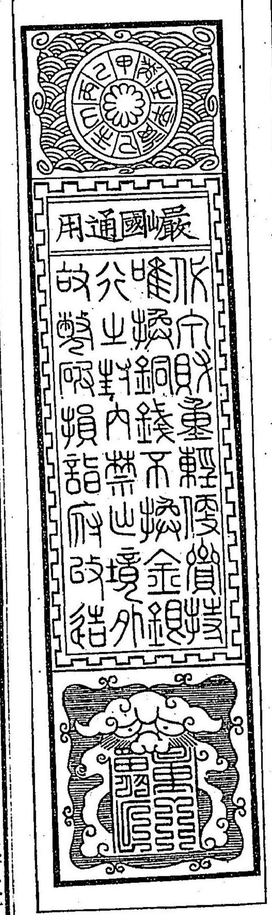


表

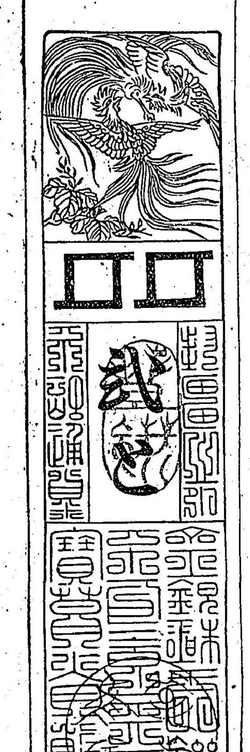
右銀札十種アリ前ニ詳ナリ

岩國藩

裏



裏



表

右米札六種アリ前ニ詳ナリ

周防國　山口藩

裏

右錢札五種アリ前ニ詳ナリ

長門國　豐浦藩

表

裏

右米札五種アリ前ニ詳ナリ

清末藩

表

裏

右米札五種アリ前ニ詳ナリ

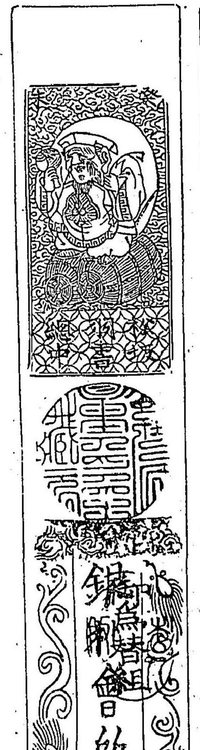
南海道　紀伊國　和歌山藩

裏

表

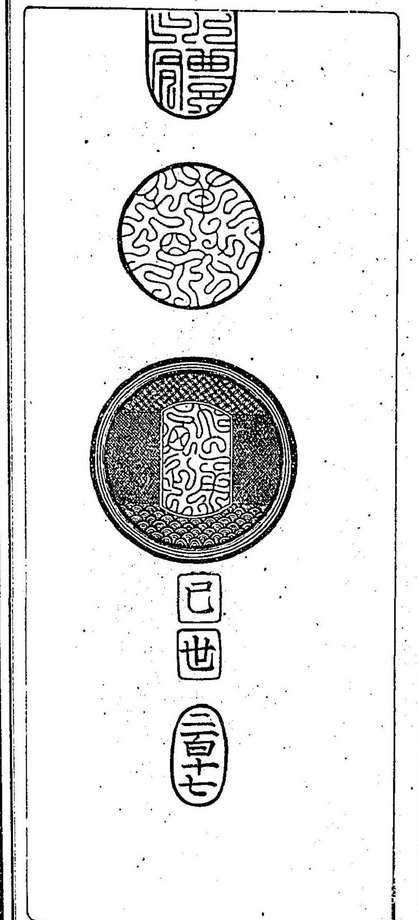
右銀札七種アリ前ニ詳ナリ

裏



表

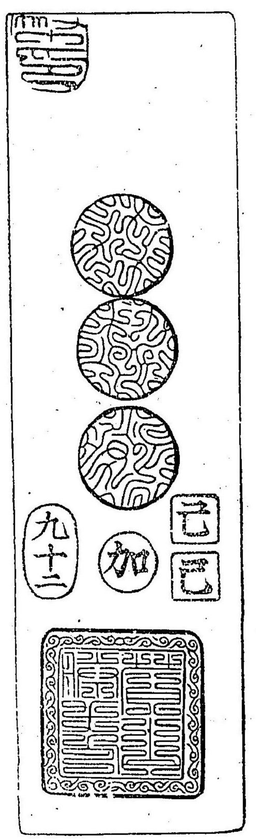
裏



右錢預券六種アリ前ニ詳ナリ

表

裏



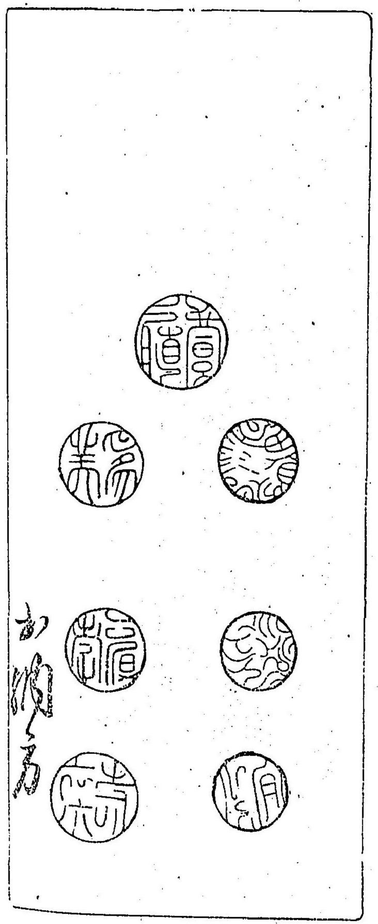
右銀札三種アリ前ニ詳ナリ

新宮藩

田邊藩

表

裏

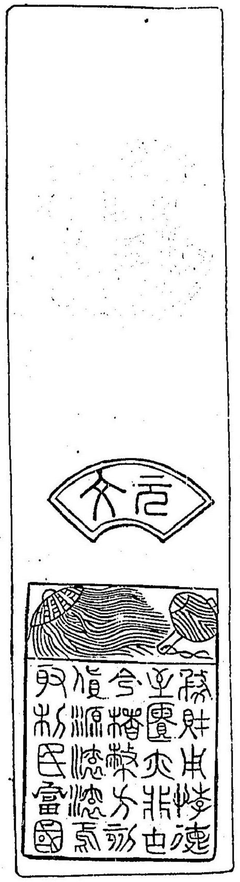


右錢札七種アリ前ニ詳ナリ

阿波國
德島藩

表

裏



右錢札二種及銀札四種（紋樣同シキヲ以テ略ス）アリ前ニ詳ナリ

讃岐國
高松藩

表

裏

右銀札五種アリ前ニ詳ナリ

丸龜藩

表

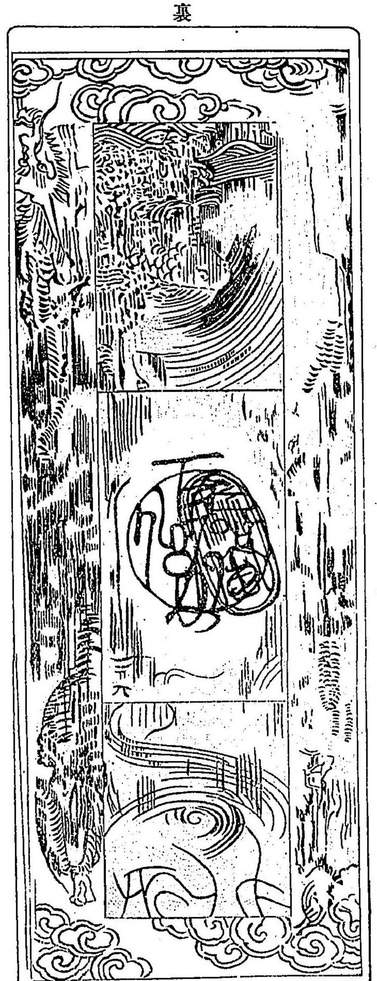
裏

右銀札九種アリ前ニ詳ナリ

伊豫國松山藩

表

裏

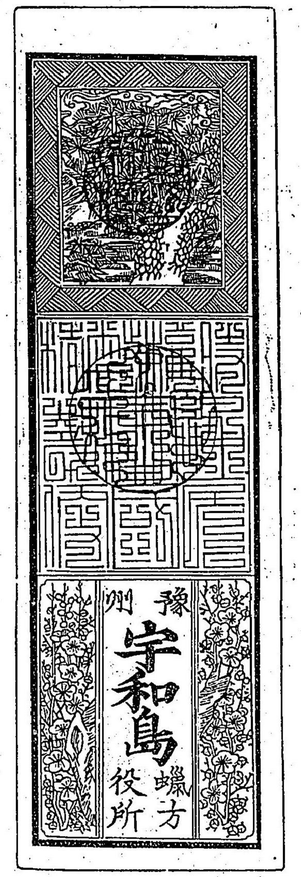


右錢札八種アリ前ニ詳ナリ

宇和島藩

表

裏

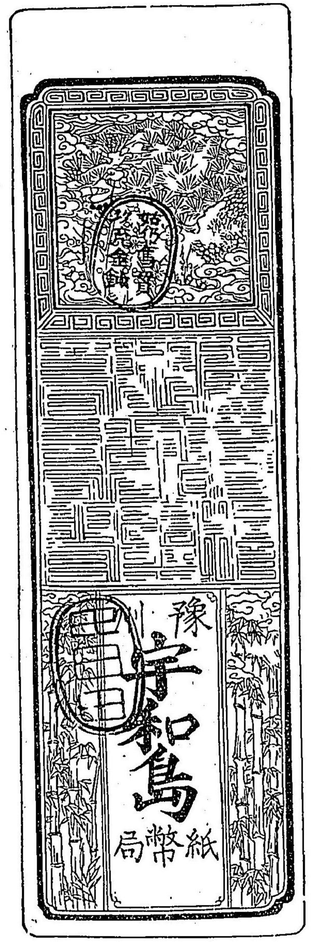


右銀札十三種アリ前ニ詳ナリ

吉田藩

表

裏



右銀札十三種アリ宗家宇和島藩ヨリ交付セルモノ事ハ前ニ詳ナリ

大洲藩

今治藩

表

裏

右金札七種アリ前ニ詳ナリ

表

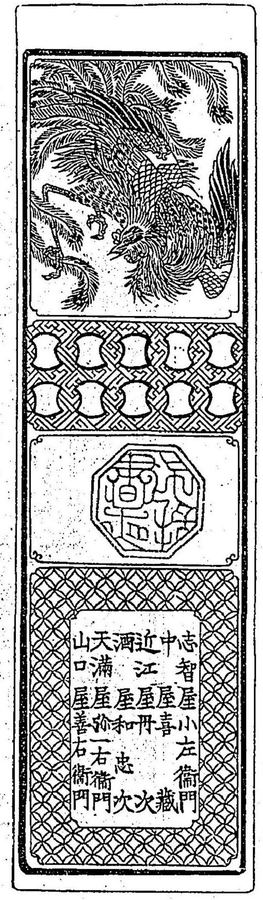
裏

右錢札七種アリ前ニ詳ナリ

西條藩

表

裏



右錢札六種アリ前ニ詳ナリ

小松藩

表

裏

右錢札六種アリ前ニ詳ナリ

土佐國
高知藩

表

裏

右金札四種アリ前ニ詳ナリ

表

裏

右錢札四種アリ前ニ詳ナリ

西海道
筑前國
福岡藩

表

裏

右銀預券九種アリ前ニ詳ナリ

秋月藩

二百七十八

表

裏

右銀預券六種アリ前ニ詳ナリ

筑後國
久留米藩

二百七十九

表

裏

右銀札七種アリ前ニ詳ナリ

柳河藩

表

裏

右銀札六種アリ前ニ詳ナリ

三池藩

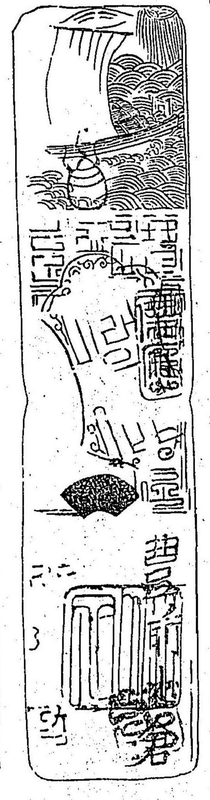
表

裏

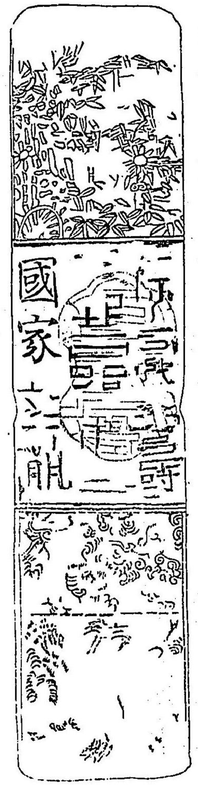
右鐵札七種アリ前ニ詳ナリ

豐前國豐津藩

表

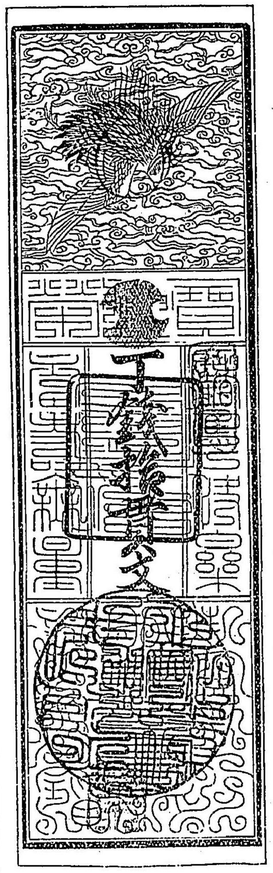


裏



右銀札三種アリ前ニ詳ナリ

表



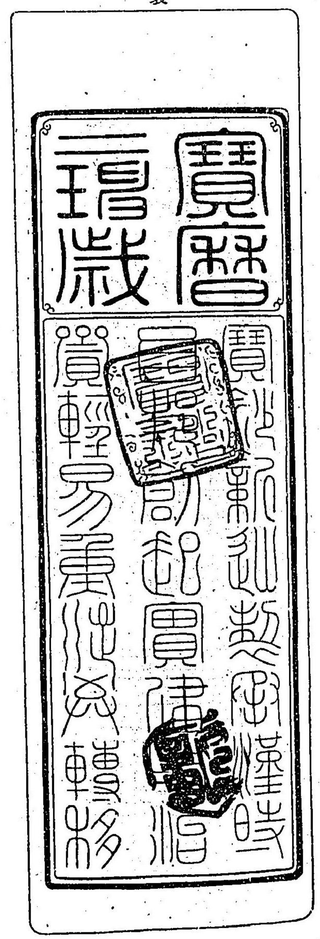
裏

右錢札七種アリ前ニ詳ナリ

中津藩

表

裏



右銀札十一種アリ前ニ詳ナリ

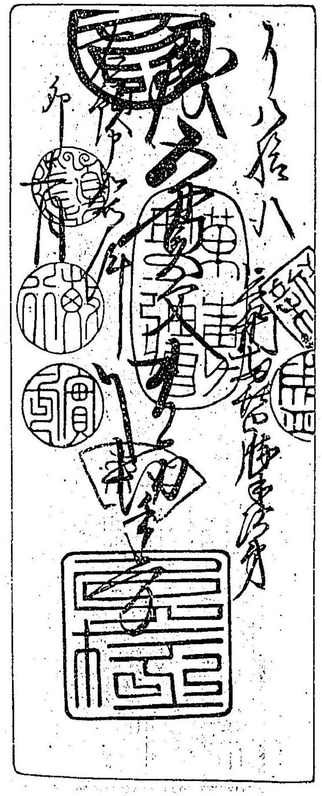
千束藩

表

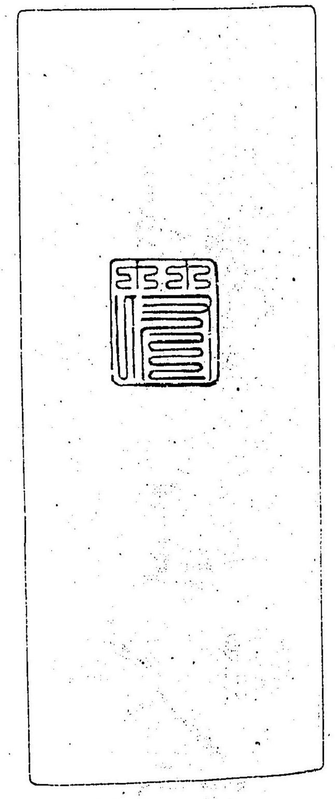
裏

右米札五種アリ前ニ詳ナリ

表



裏



右錢預券九種アリ前ニ詳ナリ

表

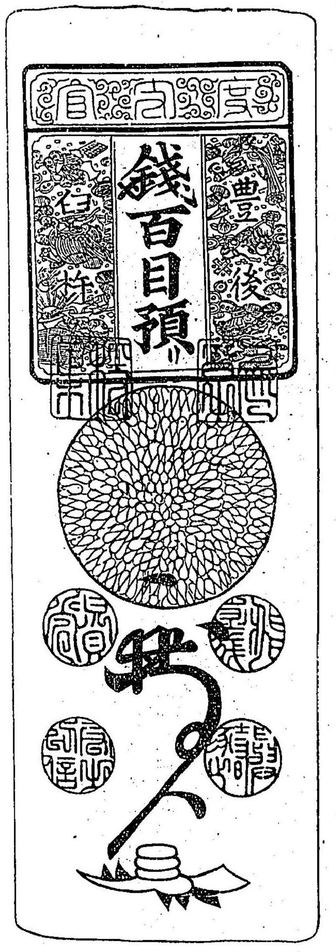
豐後國
岡藩

裏

右錢札三種アリ前ニ詳ナリ

臼杵藩

表



裏

右錢預券八種アリ前ニ詳ナリ

杵築藩

表

裏

右銀札七種アリ前ニ詳ナリ

日出藩

表

裏

右錢札七種アリ前ニ詳ナリ

府内藩

表

裏

右銀札七種アリ前ニ詳ナリ

佐伯藩

表

裏

右錢札六種アリ前ニ詳ナリ

森藩

表

裏

右七六錢札五種及七錢札六種（殘缺同シキヲ以テ略ス）アリ前ニ詳ナリ

旗下木下采地

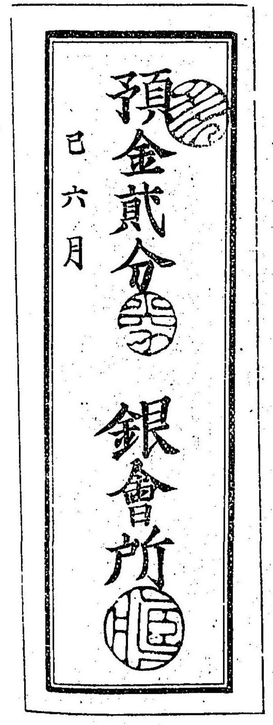
表

裏

右米札六種アリ前ニ詳ナリ

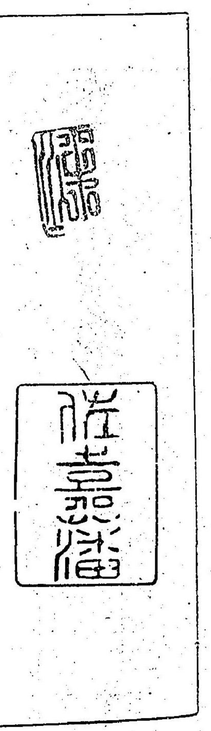
肥前國
佐賀藩

表



裏

右金預券四種アリ前ニ詳リ



表

裏

右銀預券十二種アリ前ニ詳ナリ

表

小城藩

裏

右金預券五種アリ前ニ詳ナリ

表

島原藩

裏

表

裏

右銀札七種アリ前ニ詳ナリ

唐津藩

裏

表

裏

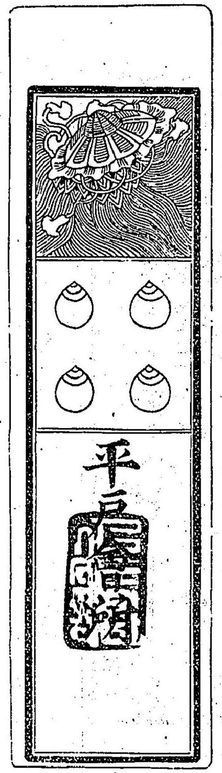
右金札二種アリ前ニ詳ナリ

右錢預券九種アリ前ニ詳ナリ

平戸藩

右銀札一種ナリ

裏



表

右錢札六種アリ前ニ詳ナリ

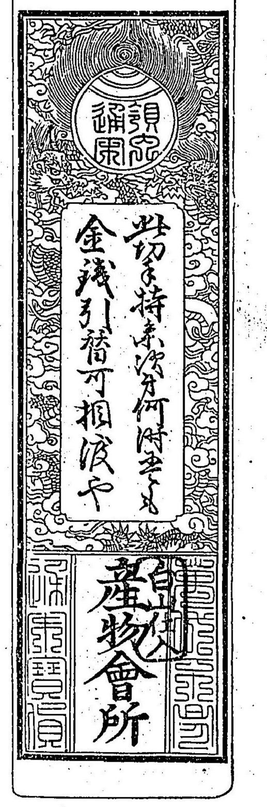
裏

表

福江藩

表

裏



右錢預券九種アリ前ニ詳ナリ

肥後國

熊本藩

表

裏

右錢預券十二種アリ前ニ詳ナリ

表

裏

右錢預券五種アリ前ニ詳ナリ

裏

表

右銀預券八種アリ前ニ詳ナリ

日向國
延岡藩

裏

表

右銀札七種アリ前ニ詳ナリ

飫肥藩

裏

表

右錢預券八種アリ前ニ詳ナリ

佐土原藩

表

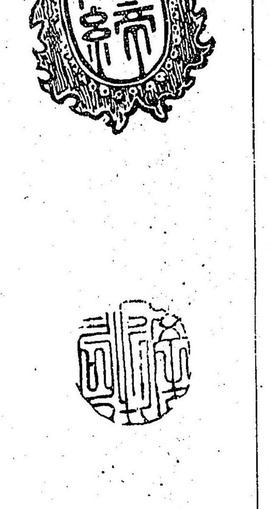
裏

右錢預券三種アリ前ニ詳ナリ

高鍋藩

表

裏



右錢預券六種アリ前ニ詳ナリ

薩摩國

鹿兒島藩

表

裏

右金札四種アリ前ニ詳ナリ

表

裏

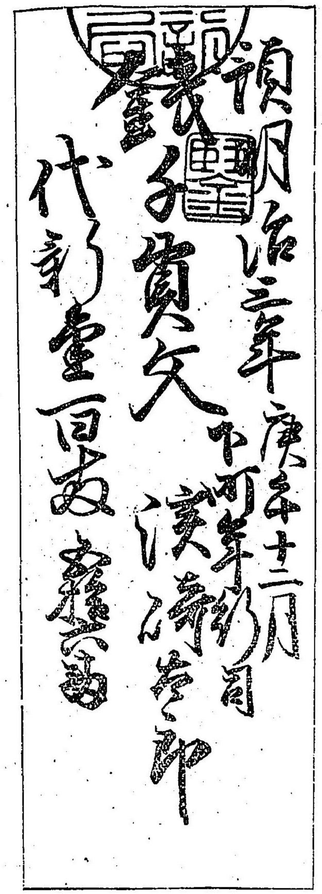
右銀札三種アリ前ニ詳ナリ

裏

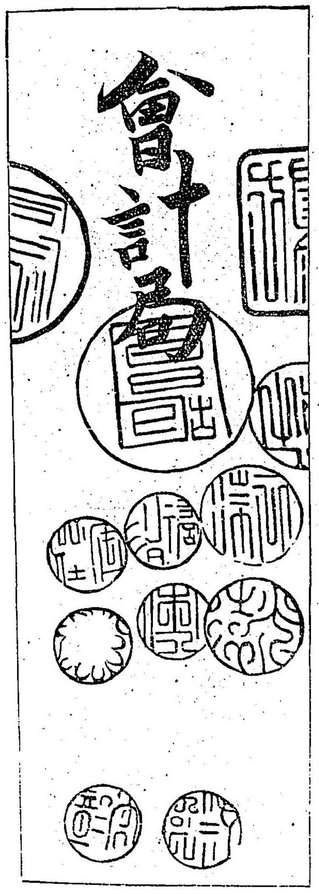
右錢札十二種アリ前ニ詳ナリ

表

表



裏



右錢預券百十六種アリ前ニ詳ナリ

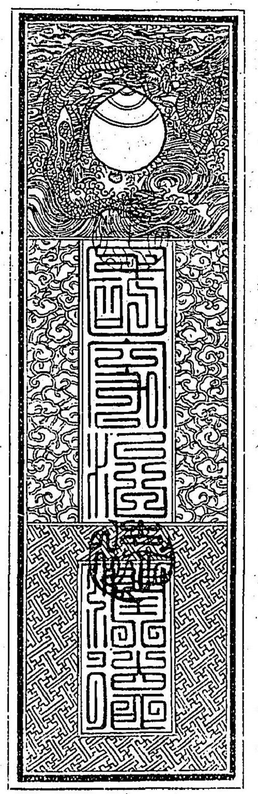
表

裏

右銀預券八種アリ前ニ詳ナリ

表

裏



右錢預券十七種アリ前ニ詳ナリ

中村藩米代手形發行ヲ糺ス

中村藩ヨリ大藏省ヘ屆　二年十二月二十日

中村藩支配所磐城國宇多行方標葉三郡舊來衰貧之侯程ニ米價相定貢出米買上ケ置貧民ヘハ直安相拂又ハ無利足貸渡撫育取扱候ニ付農力漸進歩仕候處近年不作打續殊ニ昨年以來ノ事件及同年不作等ニテ貯蓄皆盡キ上下困乏且奥羽平定以後モ殘賊潛伏暴發ノ變モ有之候ニ付各所要地ヘ兵隊差配當夏中迄相備置共入費莫大ニ相掛彼是難澁相嵩無餘儀金札拜借又ハ自他數萬ノ借財ヲ以僅ニ取續罷在候處尚又當年五穀不登天保度以來ノ大凶荒ト相成金穀屆竭進退相極リ甚當惑罷在候此上天民救育方不行屆一夫メリトモ令飢餓候樣ノ事有之候テハ知事ノ職務不相立儀ト深ク奉恐怖管內ニ於テ糶米買上ケ置困民救助仕度精々調金心配仕候ヘ共世間一般ニ不融通ノ爲相整不申前後當惑罷在候折柄下ダ方ヨリモ只管歎願申出候條天朝ヘ御屆申上候上取計可申筈ニ御座候處飢餓旦夕ニ差迫候至急ノ情實難默止依之前々買求代金差支候節取扱來リ候振ヲ以米三升二合以下引替代錢手形支配所限リ當分ノ間差出置候條御聞置被成下候樣可申上旨知事申付越候間此段御屆申上候以上

中村藩上申　三年十一月二十一日

管轄所舊來衰貧ノ村々貧粟勸農ノ趣意ヲ以テ成秋ニ至候ヘハ民ニ利益有之候程ニ糶米仕置貧民ヘハ直安拂又ハ無利足貸渡撫育取扱候ニ付農力漸々進歩仕候處近來不作打續殊ニ戊辰ノ事件等ニテ貯蓄皆盡上下困乏且無餘儀金札拜借又ハ自他數萬ノ借財ヲ以テ取續候處猶又昨年ノ凶荒金穀共屆竭甚數然ルニ世上不融通ニテ調金モ難出來候ヘ共天民救助ノ儀ハ急務ニシテ須臾モ難捨置彼是苦心罷在候折柄下方ヨリモ只管歎願申出候條其節御屆申上取計可申筈ニ御座候處飢餓旦夕ニ差迫リ至急ノ情實難默止依之前々取扱來候振ヲ以米三升二合以下引替代錢手形相出シ糶米四千九百九十七石三斗四升買求メ是ヲ以天民救助法手當仕候右米代手形錢四十四萬九千七百五十七貫三百六十文右支配所限リ當分ノ間差出置候條咋冬中御屆申上候處右ノ分取纏可申旨御達相成居候ヘ共何分前件ノ次第ニテ行屆兼追々當節迄ニ五萬貫文引纏切捨申候尚此上精々盡力當十二月限リ半數宛引替候目途ニテ專ラ手配中ニ御座候間何卒御聞置被成下候樣可申上旨藩地ヨリ申越候ニ付此段御屆申上候以上

指令

申出ノ趣不被聞屆候當年中引替濟ノ上更ニ可屆出事

中村藩願　三年十二月十五日

先般管轄地通用ノ楮幣取消方目途相立可申上旨御達ニ付則向三箇年限リ引替ノ目途申上候處御附札ヲ以當年中丸ニ引替可申旨尚又蒙御達奉畏候速ニ御趣意遵奉精々盡力仕候ヘ共前申上候通ノ次第ニテ當年中餘日モ無之何分ニモ難澁仕候間出格ノ以御仁恤來未三月迄御猶豫被成下候樣奉懇願候以上

指令

御一新後製造楮幣ノ儀ハ兼テ相達置候通ニ有之候處當今ニ至リ月延等申出候段不都合ノ次第ニ付早々

神奈川縣發行金札ヲ前却ス

久美濱縣製造紙券又損毀ヲ請フ

引揚殘斷ノ上來春可屆出事

三田出納權大佑ヨリ神奈川縣ヘ照會　二年十二月二十三日

去辰十一月中製造相成候間右札所持ノ者ハ三井御用所ニテ御引換可被成候尤運上所ヘ外國人持越候ハヽ、是迄ノ通納稅請取可被成候當方ヨリハ不相渡樣三井八郎右衞門ヘ相達置候

神奈川縣ヨリ各國岡士ヘ書翰

以手紙啓達イタシ候然ハ當縣ヨリ東京鐵砲洲ヘ金銀運送便利ノ爲メ去辰年十二月中ヨリ爲替金札施行イタシ候段同月六日附手紙ヲ以テ申入置候處都合ニ寄リ今般廢止イタシ候尤外國人是迄所持ノ分ハ我裁判所ニテ引替遣シ候トモ又諸稅ニ差出候トモ聊差支無之候丈ケ速ニ相納候樣貴國人ヘ御布告可被下候右得御意候以上

巳十二月二十八日

各國岡士
貴下

櫻田大參縣事
中野大參縣事
井關權知縣事

府縣史稿抄錄

三年二月金札一萬七千兩三井八郎右衞門ヨリ返上出納司立合燒捨

內
十兩　七千八百五十兩
五兩　六千三百兩
二兩二分　五百兩
一兩　二千三百五十兩

久美濱縣願　三年正月日

先般御一新後府藩縣ニテ差出候錢券御停止之旨御布令相成候然處當縣管轄三毋之儀ハ從前正金銀錢寡少ノ國加之聊之流通金ハ上貢又ハ他國買入米代等ニ差出候故國內之融通必至差支候ヨリ村々私ニ錢券ヲ製作流通致居候處去辰五月中當縣被差建候後村々私ニ錢券製造ハ無謂且亦取締ニ付辰年中令停止只今ニ至候迄融通用ニ差支候段愁訴致候ニ付不得止一時融通之爲五箇年ヲ限リ各藩ノ錢券而已ニ相成候處俄ニ不融通日用ニ差支候ニ付當縣ニ於テ凡十萬兩代錢券製造イタシ昨今下民ニ令流通候近來各藩券札ハ引換遲滯下民甚難澁致候得共縣札ハ共儀無之故大ニ是ヲ信シ通用致居候折柄自今俄ニ引上候ハヽ庶民大ニ差支可申亦製券入費モ多分相立有之候處差當リ償方ニ差困候間右等御諒察ノ上年限中御居置被下度此段奉懇願候也

民部大藏兩省上申　三年二月二十七日

柴山藩願　三年四月二十四日

當藩先般轉國被仰出藩廳及知事住居向幷藩士長屋等取立申度就テハ山林切開候場所多ク依之普請中支配所內ヨリ日々諸職人相雇候ニ付賃錢渡方ノ儀昨年凶荒以來米價拂底ニ付賃錢ニ換正米受取度旨申出候向モ有之候ニ付別紙雛形ノ切手其場所々々ヘ相渡置任屆正米幷賃錢ニ引換遣候ヘハ第一楮幣被汚レ等モ少ク且ハ大ニ便利ニ相成候ニ付右取扱申度雛形相添此段奉伺候以上

表

玄米一升

裏

柴山藩
會計方

指令

願之趣難相整候事

小田原藩公用人　永原俊章ヨリ大藏省ヘ屆　三年三月十八日

藩內楮幣ノ儀ニ付昨年御布告御座候ノ處舊幕府ノ節幷御一新後共支配地年々楮幣製造相用候事更ニ無御座候尤城下用達町人共預錢致シ右爲證一片ノ小切手致引渡融通仕候此段御屆申上候以上

指令

書面ノ小切手ハ楮幣ニ紛敷候條早々停止可申付候事

小田原藩公用人　栗田信奎ヨリ大藏省ヘ願　三年五月二日

當藩城下限町人共預永錢小切手停止ノ儀當十二月限漸々引揚候間夫迄御猶豫被成下度段奉願候處御猶豫難相成早々停止候ノ樣御沙汰ノ趣奉畏則共段藩地ヘ申遣候處共筋ノ者厚心配彼是取紛候得共元來不融通ニ付相開候事ニテ殊ニ二萬餘ノ數ニ付一時停止候得ハ下方多少ノ及艱難候間傍觀モ難相成藩廳ヨ

柴山藩正米切手製造ヲ請フ允サス

小田原藩町人製造預永錢小切手通用ヲ停止セシム

兵庫縣錢札廢止ニ付交換方

三年十二月交換結了ヲ上申ス

リ多分ノ下金不致遣ハ停止難相成然ルニ從來不如意ノ藩廳下金致遣候有餘ハ速ニ無之無據漸々引揚當十二月ニ至悉皆引揚候樣仕度旨泰願候ニ付テハ自然借金奉願候モ深恐入候間前顯ノ次第尙一應御汲量奉願必當十二月ニハ悉皆停止仕度旨申越候間再應奉願候モ甚恐入候得共無餘儀事情御憐察被成下出格ノ譯ヲ以御聞濟ノ程偏ニ奉願上候以上

指令

再應ノ願ニハ候得共難聞屆早々停止可申付候事

兵庫縣布達　三年六月晦日

當縣錢札廢止被仰出候ニ付來ル八月晦日限引換可申事

但兵庫ハ北風莊右衞門西宮ハ紅野平左衞門播州ハ太郎太夫村近藤文造等其最寄々々ヘ持參可引換事

右之通無洩落末々迄可申聞モノ也

京都府布達　三年十月八日

兵庫縣於テ製造ノ錢札廢止ニ付當府下ヘ流通所持イタシ候モノモ可有之就テハ當十月晦日限引換差許候條自然右錢札所持イタシ候ハヽ前顯日限迄ニ當府ヘ可差出左候ハヽ同縣ヘ差送リ追テ換代當府ヨリ相渡シ可遣候若此日限後ニオヨヒ候ハヽ一切引換不相成候

右ノ趣山城國中幷社寺共無洩早々相達モノ也

兵庫縣ヨリ京都大阪兩府ヘ掛合　三年九月晦日

府縣ニオイテ製造ノ紙幣廢止被仰出候ニ付當縣錢札管轄下ニ流通ノ分八月晦日限引替右日限後通用一切不相成旨猶又再觸イタシ當今引換方不致儀ノ處去巳九月中錢札交通ノ儀御打合濟ニ付テハ自然御府下所持ノ者モ有之候ハヽ來ル十月晦日限御掛合承知イタシ候然ル處多少ニ不拘銘々持參候テハ却テ御手數且ハ所持ノモノ往返ノ失費等ニテ難澁ノモノモ可有之依テ御掛合ノ上御引換ニ罷出候樣若日限後引換罷出候共一切引換不致段此段及御答候也

兵庫縣ヨリ京都府ヘ照會　三年十月十日

御書面ノ趣致承知候十月晦日後持參ノ向ハ下方不念ノ筋ニ付一向御取上ケ無之樣致シ度此段宜御領掌給度候也

追テ是迄引換ノ內多分僞札相見ニ候間所持ノ者ハ一人別封ノ上名前表顯候樣可然御處置被下度候也

兵庫縣ヨリ大藏省ヘ上申　三年四月日闕

一錢札摺立高九萬六千二百二十兩

右ハ府藩縣於テ楮幣製造有無可申上旨先般御達ニ付右ハ十月晦日限御縣ニ於テ御廢止相成候樣可致候事

大藏省指令

書面之錢札ハ御布告ノ通リ通用停止可致候事

兵庫縣ヨリ大藏省ヘ上申　三年九月七日

當縣錢札製造入用金四千四百四兩一分永百二十九文四分ノ一儀元商法司貸付金利足ノ內ヲ以テ繰替置候樣伊藤大藏少輔殿當縣在勤中差圖ニ付仕拂置右代リ金追年主法付ヲ以テ仕埋可申見込ノ處先般錢札廢止被仰出引替候ニ付テハ右金出方無之候ニ付拂切仕度候間此段御聞濟可被下候以上

大藏省指令　三年九月十日

書面錢札製造入用金拂切之儀申立之通聞屆候事

藩造紙幣交換ノ目的ヲ立ツ

三年閏十月十四日大藏省達他管地ヘ散布ノ紙幣交換方發布四年七月十四日布告ヲ以テ廢藩ニ依リ藩札交換方ヲ定ム

達節錄　三年九月十日（全文ハ官驗門地方官制ノ日ニ載ス）

藩廳

今般藩制別紙ノ通被　仰出候素ヨリ其綱領ヲ被揭候儀ニテ節目施設ノ方ニ至テハ篤ト御旨意ヲ奉體シ藩々其宜ヲ斟酌シ務テ舊弊ヲ除キ有名無實ニ不涉政績相顯候樣盡力可致事

藩制

一從來藩造ノ紙幣向後引替濟ノ目的ヲ可相立事

宇和島藩同節錄　三年九月十七日

從來藩造ノ紙幣ハ邊土ノ事故ニ米穀其他諸產物百里以外ノ大阪邊マテ積登セ右代金仕下候迄紙幣ヲ出シ繰合セ不斷正金ニモ引換仕全ク不足ヲ融通スル爲メノミナラス又正金ヲ得ルノ一策ニ御座候間引揚切リニテハ必至ト不立行事情ニ御座候間引揚濟ノ目的相立兼候故年々少々ツヽニテモ引替年數相掛候テモ不苦儀ニ御座候哉

指令

本文年數相約メ目的可相立事

津山藩同節錄　三年十月二十二日

從來藩造ノ紙幣引換濟ノ儀目的ハ相立心大ニ動搖可仕哉ト苦心仕候間右引換可申丈此處ニテ金札拜借被　仰付一時ニ引換置右拜借金支消ノ

儀ハ年限ヲ以テ分賦上納仕候樣被　仰付度奉存候事

指令

拜借不被　仰付事

苗木藩屆　三年十一月二十九日

覺

一紙幣高七千兩

右引替目的

一享保十二年以來村々年貢不足之分左之通

一金八千六百八十二兩一分銀二分四釐

一米三百六十四石四斗二升

但金一兩ニ付米二斗替ニ積り

代金千八百二十二兩銀六匁

總合金一萬五百四兩一分銀六匁二分四釐

右者從前年貢未進之分ニテ幾多之星霜ヲ經候事頗ル金高モ嵩ミ其上過日御屆申上候藩債高五萬八千六百二十七兩餘有之一時ニ消札之目的モ難相立目今村々難澁之折柄右年貢未進之分半高ヲ用捨シ殘半高金五千二百五十二兩二朱銀三匁一分二釐儀ハ十箇年賦ニテ差出サセ其上ニモ知事家祿之內十分之一年々相加ヘ當午年ヨリ十箇年ニ至リ全ク引替濟之見込ニ御座候右者閏十月二十二日大藏省ニ於テ御達之次第モ御座候ニ付此段御屆申上候以上

平戶藩上申　三年十二月十四日

御一新後製造ノ楮幣八萬兩餘引揚ノ目當相立申上候樣大藏省ヨリ御口達ノ趣奉畏候

一未年　二千兩

一申年　三千兩

一酉年　四千兩

一戌年　五千兩

一亥年　六千兩

一子年　七千兩

一丑年　八千兩

一寅年　八千兩

一卯年　八千兩

一辰年　八千兩

一巳年　一萬兩

一午年　一萬千兩餘

右ノ通來未年ヨリ年割ヲ以引揚可申候此段奉申上候以上

指令

御一新後製造ノ楮幣ハ兼テ相達置候通ニ有之候處方今ニ至リ年割引替等申出候段不都合ノ次第ニ付早々引揚斷截ノ上來春可屆出事

同藩上申　四年二月二十五日

此度當藩新造ノ楮幣早々引揚候樣蒙嚴命御趣意ノ趣委細奉畏候然ル處分疏ケ間敷打返哀願仕候儀重々畢恐入候ヘ共全體當藩楮幣ノ儀ハ先頃申上候通舊幕府ノ許可ニテ延寶年間初造仕其後追々製造致繼候ヘ共年暦ノ久キニヨリ次第ニ損札多ク共員數モ殆ト難相分程ニ付下民ノ苦情モ不少無據造繼足シ候ヘ共有來損傷ノ分ト引替右損傷ノ分ハ悉斷截仕候儀ニ付支配中流通ノ分舊幕府ニテ許可ヲ得候員數ヨリ相增候儀ハ無之候ニ付此段御聞置奉願上候尤當制ニ付御達ノ通支消ノ方法ハ追々取調可奉申上候心得ニ御座候此段奉申上候以上

指令

願ノ趣昨年總數屆出候節舊幕許可ノ員數ヨリ相增候儀無之トノ儀ハ不都合ノ次第ニ付猶取糺可申立尤支消方ノ儀從前ノ分ハ先般相達候通早々引揚斷截ノ上可屆出事

同藩屆　四年四月二十四日

御一新後製造ノ楮幣引揚方御猶豫奉歎願候旨引揚方百方苦配精々罷在候間先ツ不取敢此段御屆申上候以上

指令

書面ノ楮幣再三相達候趣モ有之處聊引揚候迄ニテ跡期限モ不申出不都合ノ事ニ候至急悉皆支消ノ上可屆出事

同藩屆　四年四月二十四日

從來藩造ノ楮幣引揚ノ目的相立御屆仕候樣先般御達ノ趣敬承仕候付テハ當未歲ヨリ先キ二十箇年ニ引揚申候此段御屆仕候以上

指令

書面ノ儀ハ當三月中相達候趣モ有之候處舊幕許可員數取糺ノ次第モ不申出如何ノ事ニ候且支消方ノ儀モ引揚年限ノミニテハ方法仕譯難相分候條兩條共駁ト取調尙可伺出事

同藩願　四年四月二十四日

先般從來ノ楮幣二通宛差出候樣被仰付即先頃延寶五貫文札慶應四分札差出候處去午春藩札製造高御屆仕候書面ト引合不申且又昨年總數御屆仕候節舊幕府許可ノ員數不相分旨申上置今般許可ノ員數ヨリ相增候儀ハ無之トノ儀ハ不都合ノ次第ニ付取調申上候樣兩條蒙請問候趣奉畏候然ル處去春差出候書面ハ先年ヨリ於藩內製造仕候總計ニテ即今通用仕候紙幣ハ則別紙ノ通御座候全體延寶五年製造ノ楮幣ハ次第ニ傷損仕通用相成兼候付其後文政八年二萬六百四十六兩餘又元治元年三千兩造繼之ヲ以古札引揚斷截仕候處右兩度製造ノ楮幣紙質疎薄通用不宜殊ニ贋札出來彼是下民ノ苦悕不少不得止事正金ヲ以引揚斷截仕候間即今通用仕候延寶五貫文札慶應四分札ノミ差出候儀ニ御座候且又明治元年八萬九千八兩餘造繼延寶度ノ古札引揚候ヘ共未タ殘札金高凡三萬兩內外藩用ニ流通仕候見込ニ御座候間全ク初造ノ

總計ニ相增候儀無御座候此段御聞濟可被下奉願候以上

一銀札高不相分

右延寶五年巳五月

但引揚殘凡三萬兩內外

一銀四分札千兩

右慶應元年丑五月

一金銀札八萬九千八兩三分二朱

右明治元年辰五月

右ノ通楮幣金高即今流通仕候以上

四月二十四日

同藩上申　四年五月二十八日

昨午春楮幣ノ儀御屆仕候節舊幕府許可ノ員數不相分段申上當春再應申上候節舊幕許可ノ員數ヨリ相增候儀無之樣可相心得事

書面今般ノ儀ハ被聞屆候條以後右體不都合ノ儀無之樣可相心得事

同藩願　四年五月二十九日

先般從來ノ楮幣二通宛差出候樣御布告ニ付即今通用罷在候丈差出候處午年春藩札有高御屆仕候書面ト引合不申段御不審ノ旨奉畏候右ハ御趣意柄得ト不仕候ニ付製造仕候總高取調書上仕候儀ニ御座候依之當時流通仕居候楮幣別紙ノ通御座候間去春書上仕候書面ノ儀ハ御取消シ奉願候以上

一延寶五貫文札二萬兩餘

一慶應四分札千兩

一明治札八萬四千兩餘

右ノ通即今通用尙精々引揚罷在候以上

四年五月

同藩願　四年五月二十九日

堺縣管下通用札ヲ交換ス

各藩限通用楮幣他管へ散而ノ分交換方

四年七月十四日布告ヲ以テ廢藩ニ依リ藩札交換方ヲ定ム

堺縣布達　三年四月十四日

當縣金札引換遣シ候間持合ノ者ハ來ル十日ヨリ來月十日迄ノ間堺材木町掛屋ニテ引替可遣候右日限相過候ハヽ引替不相成候條此旨相達候事

同縣布達　三年四月十一日

當縣札引換昨十日迄日限及布告置候處來ル二十日迄日延前々同樣引替可遣條其旨小前末々迄不洩樣可相觸候也

大藏省達　三年四月十四日　攝泉國諸藩

各藩限通用ノ楮幣他ノ管下ニ及候筈ハ無之候得共入合ノ地等自然取引致候者引替方滯候テハ御收納ニモ指支甚難澁之趣相聞候ニ付萬一最寄縣下ノ者等引替申出候ハヽ、澁滯不致樣早々引替可遣候事

（參考）

堺縣布達　三年十二月十七日

岸和田藩新製錢札來未二月限リ同藩ニ於テ引替候間持合候者ハ右期限中引替ニ可罷出モノ也

昨午春楮幣ノ儀御屆仕候節舊幕府許可ノ員數不相分段申上今般許可ノ員數ヨリ相增候儀無之トノ儀ハ不都合ノ次第ニ付猶取調可申上旨奉畏候然ル處舊記等モ殘缺仕明亮相分兼候ヘ共延寶年間藩札創製仕共後寶永中及城築經費增多仕正金ノ外楮幣十萬兩ノ餘製造ノ上漸普請落成仕候共後モ少々宛繼造仕候趣申傳候ヘ共何分藩計罷成彼是正金引換不行屆ニテ不通用ノ折モ有之候共改年間又々舊款識ノ儘改造仕候ヘ共是又正金引換不捌等ニテ通辨仕兼候乍併近年ニ至リ諸藩贋金銀莽ニ播布仕必至ト通辨指支候處ヨリ藩內楮幣頗都合ヲ得候勢ニ罷成依之傷損ノ舊札追々改造仕候ヘ共延寶以來ノ製造高大概十四萬兩ニハ減シ不申應算ニ付近製ノ藩札高增益不仕段申上候儀必竟隔遠ノ藩地ニテ御下問ノ御事情篤ト伺取兼模糊ノ御請仕候次第ニ罷成奉恐縮候此段御聞濟ノ程奉願候以上

仙臺藩願　四年六月日脫

從來藩造ノ紙幣向後引替濟之目的可相立儀先般御達相成候處當藩製造之楮幣兩替所ト記シ候分升屋平右衛門名面相記シ候分共現今通用相場ニテ金十七萬五十四兩永百六十文程有之然ニ當藩之儀ハ外國及ヒ東西京大阪等所々ヨリノ負債莫大ニテ當分返却難談判中ニ有之右談判相濟不申候ヘハ楮幣引替目的難相立候間藩債返却期限談判濟迄御猶豫被成下度奉願候以上　指令脫

倉敷縣製造錢札交換方

同縣布達　三年十二月十九日
吉見藩錢札當十二月二十二日ヨリ來未正月十五日限同藩ニ於テ引換相成候間持合ノモノハ右期限中引替ニ可罷出者也

倉敷縣へ達　三年十一月九日

其縣製造ノ錢札二萬五千兩兼テ御布令ノ通廢止可致旨當四月中大藏省ヨリ相達置候處未引揚濟否ノ儀申出無之若引揚不相濟候ハヽ其趣委細書取ヲ以早々申出可有之候也

日田縣製造楮幣交換方

日田縣へ達　三年十一月九日

其縣製造ノ楮幣引揚中ノ趣先達テ屆出候ニ付製造高幷引換期限取調可屆出旨當六月中大藏省ヨリ相達置候處未屆出無之何分ノ趣早々申出可有之候也

日田縣ヨリ大藏省へ屆　四年九月二十八日

一楮幣引上方之儀ニ付御屆書　二冊
右ハ去ル六月十四日附差出候處金員數不引合旨ヲ以御下ニ相成候間則調直差出候以上
日田縣ヨリ大藏省へ屆　四年六月十四日

一楮幣高二萬千四百四十四兩永三百三十七文一分　本縣
內
楮幣九千百六十二兩永二百十六文七分　引揚高
殘楮幣一萬二千二百八十二兩永百二十文四分　引揚高
當未十一月マテ皆引揚之積
一楮幣高一萬三百八十四兩永三百九十五文三分　四日市支廳
內
楮幣六千六百五十二兩永六百七十八文五分　引揚高
殘楮幣三千七百三十一兩永七百十六文八分
當未十月迄皆引揚濟之積
一楮幣高二萬千三百六十五兩永八百六十七文三分　別府支廳
內
楮幣三千五百兩　引揚高
殘楮幣一萬七千八百六十五兩永八百六十七文三分

藤所藩雜新後製造ノ儘札消却方

倉楮幣高五萬三千百九十四兩永五百九十九文七分
內
楮幣一萬九千三百十四兩永八百九十五文二分
殘楮幣三萬三千八百七十九兩永七百四文五分
右ハ當縣下之儀貨幣不融通ニ付　御一新後楮幣施行之處御布令之趣ニ依テ去夏中ヨリ專ラ引揚居候儀之折柄當縣之儀毎度申上候通阪僻之地ニテ楮幣小札拂底日用取遣ニ差支殊ニ藩札而已多分ニ入込候故却テ縣札ヲ相圖ヒ何分一時引換難出來候得共追々御嚴達之趣モ有之當未十一月中迄皆引揚之積ニ御座候依之此段御屆申上候以上
大藏省指令　五年四月十三日

書面紙幣之儀申出之通當十一月限悉皆引上斷截之上可屆出事

藤所藩願　三年正月十二日

當藩支配地ニテ一昨辰年十一月中錢札通用仕度別紙ノ通リ會計官ヘ奉伺候處可爲伺ノ通旨御附札ヲ以御差圖御座候依之錢一貫二百文以下ノ札ニテ金高二萬千兩ノ分製造仕候然ル處今般御一新後ノ楮幣製造ノ分停止被仰出候ニ付速ニ差止申度種々苦慮仕候ヘ共即今融通方無御座迚モ一時ニ難差止候間當午年ヨリ來ル戌年迄五箇年中ニ破札仕度此段御猶豫奉願候樣申越候以上
大藏省意見　三年正月日脫
午正月御官ヨリ御廻相成候藤所藩錢札通用指止方御猶豫願ノ儀難開屆旨於當省及差圖申候間此段申進置候也

御付紙振
願ノ趣難開屆候事
藤所藩屆　三年十一月二十五日

於當藩大政御一新後會計官ヘ相伺致製造候楮幣ニテ楮幣小札拂底日用取遣ニ差支候ニ付藩札而已多分ニ入込候故取調申候處追々引換爲相濟候ヘ共當今消札殘ノ分左ノ通ニ御座候

一楮幣製造錢十三萬七千六百四十九貫文　引換破札濟
內
十二萬九千六百十四貫文　殘テ
八千三十五貫文　來十二月限破札ノ積
右ノ通ニ御座候此段御屆申上候以上

指令

申出ノ趣被聞屆候引換濟ノ上可屆出事

長崎縣布達　三年十二月十九日

兩替屋共ニテ引換方爲融通預手形相渡候儀差許置候處近來大高ノ手形振出候趣以ノ外ノ事ニ候依之向後高十兩以下ノ手形ニ限リ差許候條是迄ノ分ハ當年內不都合無之樣夫々引換濟可致萬一此後限外ノ手形通用爲致候者於有之ハ振出主ヨリ其金高取揚候上受取渡ノ輩雙方共咎可申付候

米澤藩願　三年十一月十九日

從前楮幣取消ノ目途御屆仕候處取調逌ノ儀御座候間御取消被成下今日更ニ御屆仕候分證ト被成下度此條奉願候以上

指令　三年十二月四日

元來紙幣ハ元金可備置ノ處引換金無之上ハ管內一般ヘ關係ノ儀ニ付知事家祿士卒ノ祿共他公廨入費等ヘ致分賦目途可相立事

同藩屆　三年十一月十九日

先般楮幣取消ノ目途相立候樣被仰出候處候ヘトモ騷擾以來用途困難當二月限引替ノ期限モ相破レ藩民疑惑ヲ抱キ候ヨリ札位頓ニ相衰其儘打棄置候テハ庶民難澁ハ無申迄取消ノ目途モ不相立儀ニ付既ニ當三月中ヨリ商法會所ニテ藩札取消ノ方策相立申候右仕組ノ概略別紙ノ通仕法相定メ年々專行致シ候ヘハ十箇年五十萬兩ニ相成候ニ付當午ヨリ而後年々五萬兩ツヽ切捨來ル卯年迄當時通融ノ藩札悉皆引收候都合ニ御座候當三月中目途相開候已來專ラ實行罷在候處最早札位モ故ニ復シ追々利潤相生シ今日ニ至テハ五十萬ノ藩札多少消滅ニモ立至申候此餘方策トテモ無御座候ヘハ右仕組ヲ以深ク盡力仕候事ニ御座候御達ニ付此段御屆申上候以上

右別紙左ノ通

一萬兩　但藩札取消ノ目的立候共藩札引換之道相立サレハ札位自然ニ相衰ヘ正金モ藩札同等ニ融通セサルニ至ル依之藩札引換ノ會所ヲ立其仕法右ニ貸タル十萬兩ノ內月々二萬五千兩ツヽ正金ヲ以爲納藩金出シタルモノヘ返ス

一萬五千兩　預金大凡十三萬兩

右者藩內富豪ノ者ヨリ月八朱ノ利息ニテ預置キ四民職業元手金貸付高三萬兩月一割ノ利金差分如上

一萬五千兩　借金貸付ノ利金大凡如上

右者商社中ヨリ其分限ニ應シ割合ヲ以年々二萬五千兩ツヽ十年相備分利ヲ得ル元ヲ平均スレハ一箇年利金大凡右ニナル

一萬四千四百兩　荷爲替貸付高十萬兩月二割ノ利金差分如上

右ハ年々藩札取消ノ見込

米澤藩伺　三年十二月八日

兼テ御屆申上置候當藩楮幣ノ儀當午二月限ヲ以切出候ニ付其節切替可申處騷擾來用度不給無據故札ヲ以尙又來未二月迄期限相延シ通融罷在候紙幣總高五十萬兩ノ內追々取消當年中ニハ五萬兩減消仕可申殘四十五萬兩切替不仕候テハ信ヲ一月中新札ヲ以切替仕度奉存候此段奉伺候以上

指令　三年十二月二十六日

伺ノ趣追々引替斷截ノ品ニ付切替不相成候條其儘通用可致事

達　三年十二月二十七日

諸藩ニ於テ從來製造之札二タ通ツヽ、來正月中大藏省ヘ可差出候事

辨官達　四年二月二十四日　諸縣

諸縣管轄地ノ內舊領主地頭ニ於テ舊采地ヘ爲融通從來米金銀錢札等差出未引替殘幷舊代官ニ於テ發行其儘融通致居候外有之候ハヽ、御取調ノ上右札二タ通リツヽ、早々大藏省ヘ可差出尤是迄金高申出無之分ハ金高ヲモ可被差出右ノ類無之向ハ其趣意ヲモ早々同省ヘ可被屆出候也

小濱藩屆　四年三月二十二日

去十九日大藏省ヨリ御呼出ニ付出頭仕候處當藩限リ通用米手形札二種當二月十日差出候處昨午年二月晝出面ニハ銀百目札ヨリ一分札迄七種有之昨今兩度ノ書面不都合ニ付相違之次第書出候樣御達御座候ニ付引換可申御趣意柄ニ相心得昨午年御屆申上候後通用札七種ノ內五種

長崎縣兩替屋預手形十兩以上ハ振出ヲ禁ス　四年正月十七日長崎縣布達ヲ以テ兩替屋預手形振出ヲ禁止ス

米澤藩々札交附目途幷ニ新札ト切替ヲ請フ允サス

藩造紙幣各二種ヲ徵ス　五年五月大藏省達第六十九號ヲ以テ諸藩札各種一種ヲ徵ス

追々引換相濟殘二種當時通用仕居候事ニ御座候間則別紙取添此段御届申上候以上

（別紙）

當藩從來製造札

總高

四萬千七百四十七貫四百四十三匁四分

內

百目札　十八萬八千二百五十二枚
一匁札　三百六十一萬四千四百八十六枚
五分札　五十二萬二千三百十三枚
二分札　九萬六千五百五枚
一分札　七萬九千三百九十九枚
〆二萬二千七百二十八貫八十三匁四分

此分昨午年御届申上候後追々金札ニ引換相濟申候

差引殘當時通用ノ分

二十目札　八十五萬五千百六十八枚
五分札　三十八萬三千二百枚
〆一萬九千十九貫三百六十目

此金十一萬千八百七十八兩永五百八十八文二歩三釐五毛餘

但兩ニ百七十目替

右ノ通御座候以上

廣島藩上申　四年四月十九日

於藩內從來製造ノ札ニ夕通ツヽ可差出旨舊臘御布告ノ趣ヲ以銀札預切手米切手備後國三次郡安藝國山縣郡鐵山限リ取扱候札夫々取揃此度大藏省ヘ差出候處昨年御届面ニ不引合分製造年曆許可有無等亘細取締申出仕候樣同省ヨリ御口達御座候處右ハ昨年御届仕候節ハ舊幕府ヨリ許可ヲ受ケ製造楮幣幷總高御届仕候處舊臘御布告ノ儀ハ從來製造ノ札許可有無ニ不拘悉可差出儀ト相心得右等夫々取揃差出候儀ニ御座候得共全體右札ノ儀モ昨年御届ノ節委細申出可仕筈前文ノ次第全ク氣取違ノ儀ニテ其儀不仕段ハ今更不行届ノ儀ニ奉存候右米切手ハ一石銀六百目定相場ニテ銀札同樣取引仕幷鐵山限リ取扱候札ハ眞ノ山內限リ日々人備運賃切符ニ擬年來差遣候迄ノ儀ニテ藩內普通ハ不仕右等ノ銀高ハ昨年御届仕候銀札總高ノ內ヘ籠居別段增加仕候譯ニハ無御座都テ一昨巳年ヨリ製造增益ハ一切不仕右製造年曆幷札高ノ儀ハ別紙ノ通ニ御座候此段申上候以上

（別紙）

書面ノ趣昨年届出ノ砌委細可申出置處無其儀今般紛ニ付申立ノ段不都合ノ事ニ付急度御沙汰モ可有之處此度ノ儀ハ出格ノ譯ヲ以不被及其儀候條以後右體ノ儀無之樣可相心得事

本文總高ヘ籠居候儀ハ昨年御届仕候銀ノ內五匁札十七萬二千六百七十六貫九百三十五匁ノ內小分ケ仕候譯ニ御座候事

銀札預切手

但慶應二寅年製造

一銀九千貫目　內

五千貫目　五百目切手
二千貫目　二百目切手
二千貫目　百目切手

米切手

但慶應三卯年製造

一米三千六百四十石　內
此銀二千百八十四貫目　二千石
石銀六百目定相場　千石
四百石
二百石
二十石
二十石

備後國三次郡鐵山限銀錢ノ札

銀札

賣暦八寅年製造

但

錢札

安政四巳年製造

一銀三十六貫百目　內

二十五貫目　五匁
五貫目　一匁
三貫目　三分
二貫目　二分
五百目　錢五釐

二斗切手
一斗切手
二升切手
一升切手
二合切手
一合切手

兵庫縣製造錢札交換ヲ結了ス

長崎縣兩換通預手形振出ヲ禁止ス

三百目　同三箇
二百目　同二箇
百目　同一箇
安藝國山縣郡鐵山限銀錢ノ札
但嘉永七寅年製造
一銀七貫二百五十目
內
二貫目　二匁
二貫目　一匁
一貫五百目　三分
一貫目　二分
二百五十目　一分
五百目　五文
都合銀高
一萬千二百二十七貫三百五十目
但此銀高ハ昨年御屆仕候銀札總高ノ內ニテ
大村藩屆四年二月三日
從來製造之札二タ通宛大藏省へ可差出旨御布令
此段御屆申上候以上

兵庫縣屆　三年十二月日闕

當縣製造錢札金九萬六千二百二十兩ノ分兼テ御布令ノ通廢止ノ上引替相濟候哉若引替不相濟候ハヽ其段可申上旨御達ノ趣承知仕候右ハ當十月三十日限引替相濟申候ニ付此段御屆申上候也

長崎縣布達　四年正月十七日

於兩替屋共一時爲融通金十兩以下ノ高預手形爲差出置候得共今度大藏省ヨリ御沙汰ノ次第有之候條向後一切令禁止候尤是迄振出置候分ハ來ル二月限引替濟可致若シ右限月ヲ超ユ所持ノ者有之候ハヽ其筋ニテ見當リ次第可取上候間此旨屹度可相心得事

長崎縣布達　六年一月十六日

金錢預手形ノ儀ニ付テハ追々及布達置候次第モ有之候處近來兩替屋其他共從前ノ預手形或ハ恰好ヲ替ヘ名宛等致シ諸品賣買ハ勿論貸借等致候ノミナラス餘人ニ繼ヶ融通シ候趣ニ相聞以ノ外ノ事ニ候爾後紛敷小書付等収替致シ候儀更ニ令禁止既往ノ罪ハ差免候條是迄所持ノ分ハ當一月中夫々引換濟不致萬一限日ヲ經右樣手形ニ紛敷書付取替通用致候者モ有之候ハヽ其筋ニテ見當次第取調ノ上雙方ヘ相當ノ過料申付候條此旨屹度可相心得事

大藏省へ達　四年正月二十四日

久美濱縣貫屬士族小出淸其外ノ者共差出置候紙幣引揚方處分之儀其省見込之通御指圖相濟久美濱外二縣ヘ相達候間爲心得申進候也

久美濱縣同三年十一月十二日

當縣貫屬士族小出淸錢券ノ儀ニ付別紙之通願書差出候就テハ是迄引揚方ノ儀ニ付再三歎願申出候ヘ共元來貯蓄ノ內可引替筈ニ付何レニモ速ニ引替ノ仕法相立候樣嚴重相達置候處則今度家祿ノ內十分一ヲ以年々引替相立候旨願出候ニ付致勘辨候處錢券差出高ニ見較ヘ候テハ聊ノ儀ニ候ヘ共歎願ノ情實相違モ無之儀ニ付願書相添此段及御伺候也願書

指令

其縣貫屬士族小出淸幷京都府貫屬士族小出邦三郎小出助四郎舊采地其縣管轄內ヘ從來差出置候紙幣引上方ノ儀ハ元知行所高五箇年平均現石取調ノ上家祿トシテ現今賜リ候祿高ヘ掛リ候分ハ淸外二八ヨリ早々爲相償上知高ノ現石ヘ掛リ候分ハ其縣於テ引揚濟ノ目的相立精細仕譯書ヲ以可申立事

堺縣布達　四年二月二十日

銀目御廢止ノ儀ハ兼テ御布告モ有之候處河州古市村眞蓮寺銀札其儘取遣融通罷在不都合候條依テ今般右銀札有之分悉皆取上ケ候條自然落散ニ及ヒ殘札有之候共向後一切通用不相成候事

右之通觸相成候條村々ニテ此旨可相心得者也

久美濱縣管下小出淸外二名苦栄地通用紙幣支消方

堺縣於テ河州眞蓮寺銀札通用ヲ禁止ス

銀目廢止ノ布告ハ貨幣ノ條ニ載ス

岩鼻縣管內通用預手券
支拂方

岩鼻縣伺　四年二月日屆

當縣管下通用ノ預手券昨年中發行仕候處民部省ヨリ御尋ニ付右始末幷手券引換ノ見込共別紙ノ通リ申立候處引換ノ方法迂遠ニ屆候ニ付急速引換可相成ノ仕方御取調可申立旨御達有之百方苦慮仕候ヘ𪜈一時皆引換ノ目的更ニ無御座殆ト困罷在候折柄昨今贋手券往々出來之レカ爲メ追々不融通相成素々一時救民ノ爲メ施行仕候儀今日ハ却テ衆庶ノ難澁及ヒ何共忍入候次第乍去前文ノ仕合此上何分致方無御座就テハ兼テ引換候正貨金トモ不殘上納仕別紙仕譯書ノ通不足ニ相成候分更ニ御下ケ金被成下目前下民ノ困苦御救被成下候樣只管懇願仕候何卒前條御臨察被成下何分ニモ衆庶安堵ノ御處置被下置候樣仕度奉願候以上　別紙贋金引換仕譯之ヲ略ス

岩鼻縣伺　四年三月日屆

當縣ノ儀舊幕代官陣屋跡ニテ御一新ノ砌囚獄等ハ燒拂縣舍ノ儀ハ至テ狹少ニハ有之候ヘ𪜈在來ノ儘ニ御座候處兵馬倥傯中軍監兼務兵隊引卒知縣事被仰付候故兵士屯所同樣ト相成悉及大破御用取扱所幷官員住居ニモ差支候ニ付不取敢假繕ヒ仕置候ヘ𪜈追々破損夥敷大風雨ノ節ハ土砂幷雨吹込御用取扱兼候事トモ間々有之甚差支候ニ付無據縣廳幷囚獄徒場官員住居向等新規取建申候儀ニ御座候尤木材等ハ重モニ管內社地等ヨリ獻木ヲ相願聞居相用候ニ付入用高モ相減候ヘ𪜈諸色高直ノ折柄金三萬七千六百兩餘ノ分𪜈此金高追テ巨細帳差出可申候仕一時ノ融通ヲ以テ昨午租稅金ヨリ繰替置御規則ノ通三分一官費三分二ハ民費ニ充可申ノ處當管內村々ノ儀ハ兼テ申上置候通田方少ク重モニ養蠶ヲ以テ活計相立候場所ニ御座候處近來引續蠶養不作仕加之去午年ハ別テ信陸二州ヨリ種紙多分ニ買入候處孛佛戰爭ノ場合ヨリ賣込方出來不申是カ爲メ其大ノ損失ト相成有德ノ者ハ破產身代分散同樣ニ相成候ヨリ小前末々融通向ニモ差響キ一般ニ窮迫仕殊ニ信州ノ擧動等有之民心甚以テ不穩旁前條民費ノ分一時取立候テハ何樣ノ紛擾ヲ生シ可申モ難計甚タ苦慮仕候何卒右民費ノ分一時御繰替拜借被仰付被下置候樣奉願上候尤返納ノ儀ハ當未來申二箇年ニ割合取立上納仕度何卒前顯ノ情實御評議ノ上何分ノ御沙汰奉願上候也

指令

書面贋金引換損失ノ分金二萬八千九百四十三兩餘ハ大藏省ヨリ更ニ可下渡間贋金三萬三千五百十四兩餘幷繰金七千二百五十兩餘共早々上納可致且縣舍造立入費繰替ノ儀ハ難被聞屆候間定則ノ通相心得民費ノ分當年中ニ取立可申尤田中大藏少丞其縣ヘ被差遣候間都テ可打合事

民部大藏兩省上申　四年三月二十五日

岩鼻縣ヨリ差出候別紙二通併テ一覽熟考致シ候處舍創立ノ件ハ既ニ去九月中公廨吏舍共手狹ニ付普請取掛ノ儀申出候節仕樣繪圖面ヲ以可伺出旨指圖及ヒ置候處共後何等ノ申出モ無之徒場囚獄普請ノ儀ハ最初ヨリ一應モ不申出猶裁ヲ以取計多數ノ費用相掛ケ却テ御繰替金等申立且楮幣ノ儀ハ夫々成規御達ニモ相成居候處鑒空ノ見解ヲ以テ專斷縣券ヲ發行致シ今更見込ノ通リ繰替置御規則ノ通三分一官費三分二ハ民費ニ充可申ノ處當管內村々ノ儀ハ兼テ申上置候通田方少ク重モニ養蠶ヲ以テ活計相立候場所ニ御座候處近來引續蠶養不作仕加之去午年ハ別テ信陸二州ヨリ種紙多分ニ買入候處孛佛戰爭ノ場合ヨリ賣込方出來不申是カ爲メ其大ノ損失ト相成有德ノ者ハ破產身代分散同樣ニ相成候ヨリ小前末々融通向ニモ差響キ一般ニ窮迫仕殊ニ信州ノ擧動等有之民心甚以テ不穩旁前條民費ノ分一時取立候テハ何樣ノ紛擾ヲ生シ可申モ難計甚タ苦慮仕候何卒右民費ノ分一時御繰替拜借被仰付被下置候樣奉願上候尤返納ノ儀ハ當未來申二箇年ニ割合取立上納仕度何卒前顯ノ情實御評議ノ上何分ノ御沙汰奉願上候也

指令

書面贋金引換損失ノ分金二萬八千九百四十三兩餘ハ大藏省ヨリ更ニ可下渡間贋金三萬三千五百十四兩餘幷繰金七千二百五十兩餘共早々上納可致且縣舍造立入費繰替ノ儀ハ難被聞屆候間定則ノ通相心得民費ノ分當年中ニ取立可申尤田中大藏少丞其縣ヘ被差遣候間都テ可打合事

民部大藏兩省上申　四年三月二十五日

岩鼻縣ヨリ差出候別紙二通併テ一覽熟考致シ候處舍創立ノ件ハ既ニ去九月中公廨吏舍共手狹ニ付普請取掛ノ儀申出候節仕樣繪圖面ヲ以可伺出旨指圖及ヒ置候處共後何等ノ申出モ無之徒場囚獄普請ノ儀ハ最初ヨリ一應モ不申出猶裁ヲ以取計多數ノ費用相掛ケ却テ御繰替金等申立且楮幣ノ儀ハ夫々成規御達ニモ相成居候處鑒空ノ見解ヲ以テ專斷縣券ヲ發行致シ今更見込ノ通リ繰替置御規則ノ通三分一官費三分二ハ民費ニ充可申ノ處當管內村々ノ儀ハ兼テ申上置候通田方少ク重モニ養蠶ヲ以テ活計相立候場所ニ御座候處近來引續蠶養不作仕加之去午年ハ別テ信陸二州ヨリ種紙多分ニ買入候處孛佛戰爭ノ場合ヨリ賣込方出來不申是カ爲メ其大ノ損失ト相成有德ノ者ハ破產身代分散同樣ニ相成候ヨリ小前末々融通向ニモ差響キ一般ニ窮迫仕殊ニ信州ノ擧動等有之民心甚以テ不穩旁前條民費ノ分一時取立候テハ何樣ノ紛擾ヲ生シ可申モ難計甚タ苦慮仕候何卒右民費ノ分一時御繰替拜借被仰付被下置候樣奉願上候尤返納ノ儀ハ當未來申二箇年ニ割合取立上納仕度何卒前顯ノ情實御評議ノ上何分ノ御沙汰奉願上候也

金銀米札錢切手或諸物
產預リ切手等製造厳禁

四年七月十四日布告ヲ以テ廢藩ニ因リ藩札交換方ヲ定ム

四年八月十八日布告藩縣紙幣製造器械料紙等大藏省ヘ上納方發令

達　四年四月四日　府藩縣

府藩縣ニ於テ楮幣製造不相成儀ハ兼テ御布告モ有之候ニ候右ハ全國理財ノ要務ニ於テ弊害不少實ニ不容易儀ニ付向後金銀米札幷錢切手或ハ諸產物預リ切手等通用貨幣ニ紛敷品新製又ハ增造等決シテ不相成候萬一違犯ノ輩於有之ハ屹度御處置ノ品モ可有之候條嚴重取締可致事

達　四年四月四日　府藩縣

府藩縣ニ於テ楮幣製造不相成儀ハ去ル巳巳十二月既ニ御布告相成候處今以製造致シ候向モ有之哉ニ相聞以ノ外ノ事ニ候就テハ是迄各管內ニ於テ右用紙漉立候場所モ有之候ハヽ巳巳十二月以來何所何某ヘ何程製造致シ差遣候員數巨細取調至急可伺出且右楮幣用紙漉立ノ儀向後差止是迄漉立有之地紙ノ類其外器械等詳細取調封印致シ置早々調書ヲ以處分可伺出候萬一違犯ノ輩於有之ハ屹度御處置ノ品モ可有之候條嚴重取締可致事

福井藩兵庫縣ヘ達　四年四月四日

府藩縣ニ於テ楮幣製造不相成儀ハ去ル己巳十二月既ニ御布告ニ相成候處今以製造致シ候向モ有之趣就テハ其藩管下丹生郡五箇村等ニ於テ從來右用紙漉立候由ニ付己巳十二月以來何所何某ヘ何程製造致シ差遣候員數巨細取調至急可申出且楮幣用紙漉立ノ儀向後差止メ是迄漉立有之地紙ノ類其外器械等詳細取調封印致シ置早々調書ヲ以テ處分可伺出候萬一違犯ノ輩有之ニ於テハ屹度御處置ノ品モ可有之候條嚴重取締可致事　兵庫縣ヘハ共縣管下有馬郡名塩村ニ作ル

大藏省伺　四年二月十四日
府藩縣ニ於テ楮幣製造イタシ候儀不相成儀ハ兼テ御布告ニモ相成候處此度大阪府出張岡本權大丞ヨリ
府藩縣ニ於テ楮幣製造イタシ候儀ニ付其儀ニ指置候テハ御布告ノ御趣意ニモ相振レ候ノミナラス
逐日致增加候哉ノ趣申越ニ付共儀ニ有之候上舊幕中又ハ御一新後於各藩製造イタシ候楮幣ノ御處
分モ未タ整理ニ立至リ不申内右樣有之候テハ他日如何トモ難相成候ニ付此度國家ノ大害ヲ釀シ候儀ニ付向後
府藩縣ニ於テ金銀米札錢切手又ハ諸產物預切手等總テ通用貨幣ニ紛ハシキ品新製增造イタシ候儀ハ勿
論從來各藩ニテ取行候藏米切手又ハ近來各地方ニテ設立候諸會社於テ金券預切手等發行ノ儀モ決シテ
不相成樣重ノ御布告有之候ニ付若於有之ハ法律ヲ以テ取糺シ候樣仕度仍テ御布告案相添此段奉伺候
也

兵庫縣上申　四年四月日屆
府藩縣ニ於テ楮幣製造不相成儀ハ去ル巳十二月既ニ御布告相成候處今以製造致候向モ有之就テハ當縣
管下有馬郡名塩村等ニ於テ從來右用紙漉立候由ニ付已十二月以來何所何某ヘ何程製造差送リ員數取調
申上候樣其外云々御達御座候處右名塩村ノ儀ハ尼ケ崎藩管下ニ付更ニ同藩ヘ御達替相成候樣仕度尤モ
右最寄ニ當縣管下ノ村方有之候間自然同職ノ者モ有之候ハヽ至急取調申上候樣可致候仍テ此段申上候
以上

福井藩伺　四年五月晦日
先般御達相成候當藩管下五箇村等ニ於テ從來楮幣用紙漉立致シ候場所無之候此段御屆申上候以上
造致シ差送リ候員數取調至急可申出旨且右用紙漉立ノ儀向後差止メ是迄漉立有之地紙ノ類其外器械等詳
細取調封印致置早々處分可伺出旨致承知候當藩楮幣ノ儀ハ晉來五箇村ニ於テ爲漉立候處去ル辰年銀目
御廢止錢札ニ引換候節ニ付共砌御屆申上辰六月ヨリ黃色紙漉立申付裁切二百二十一萬八千七百枚追々
爲相納申候共他楮幣紙當藩ハ不及申停止被仰出候後ハ何方ヘモ漉立差送候儀一切無之候尤器械等兼テ
封印付取締致シ置事ニ候得共五箇村紙漉立候器械幷御拂ノ裁屑紙別紙ノ通取締仕置候旨申出候且又同村ニテ先年大藏省御用楮幣
紙漉立候器械幷御拂ノ裁屑紙別紙ノ通爲指出申候且又同村ニテ先年大藏省御用楮幣
奉伺候處右ハ如何可仕哉處分奉伺候以上　（別紙金札引換之儀ニ付伺ノ通リ布告ス　四年七月廿日）
大藏省指令　四年七月廿四日
書面漉立ノ器械幷御拂ノ裁屑紙封印解放可申尤不正ノ所業無之樣其縣ニ於テ嚴重取締可致事

（參考）
豐浦藩屆　四年七月十二日
就御沙汰管內取調仕候得共楮幣用紙漉立致シ候場所無之候此段御屆申上候以上
豐浦藩屆　四年七月十二日
當藩々札用紙去ル巳年大阪名塩村邊前治三郎所ニテ漉立爲致候內素紙三萬枚摺札引換殘之分共儘封込
仕置候處右ハ如何可仕哉處分奉伺候以上

○福知山藩上申　四年五月日屆
一當藩管內ハ何分僻地故近年至テ正錢拂底ニ御座候付平常ハ絕テ散布不仕他所ヘ罷出候節抔ハ所々ニ
テ買求候樣ノ儀ニ御座候右ノ通故七月十二月二季勘定取引ノ節端錢無御座候テハ管內一同甚困却仕
且人足繼場ヨリモ同樣願出其次第不得止事情ニ相聞候ニ付則藩造楮幣ノ內七十兩別ニ除ケ置右ノ代
リ當分融通ノ錢切手雛形ノ通

十二文
一時通用勘定取引爲仕候當春ヨリ追々札座ヘ相廻リ候分〆切ニ仕候當今ハ不殘引揚殘リ切手無御座候
同上　四年五月三日　六文
當藩紙幣ノ儀昨午年三月中錢札ノ分數

十貫文　二貫五百文
一貫文　百文
五百文　五貫文
四十八文　五百文
一貫文　四十八文
十貫文　一貫文
一百文　十貫文
五貫文

右之通ニ御座候然ルニ此錢札之分昨午年之屆面トハ文目且員數等相違有之候段大藏省ニテ御不審有之
依テ前後見合セ取調仕候處昨午年二貫文ト御座候處過テ
右五百之二字脫漏仕且又過日御屆申上候二百文之一種昨午年御屆面上ニハ取落シニ相成居疊忽ノ取調
方何共奉恐入候全昨年御屆仕候後新製等仕候儀ニハ決テ無御座候ヘトモ畢竟御屆不仕候哉二百文融通
罷在候事ニテ深奉恐入候間右二百文ハ今度引揚ケ切捨別紙之通大藏省ヘ改御屆申上昨年三月之御屆幷
當月晦日御屆仕候分ハ御下渡可奉願候將又當四月向後金銀米札幷錢切手或ハ產物預切手等通用貨幣
ニ紛敷品御布告有之候ニ付精々取調候テハ此上心得違仕候テハ恐懼不少候ニ付精々取調
候處當藩從來別紙譯書ニ申上候通ノ事情ニテ長切手米手形錢切手等ハ許可之定額三萬五千兩餘ノ內ナ
レハ都合ニ相心得取扱來候處當藩會計局ノ役印ハ則大藏省之御印同樣ニテ貨幣ニ紛敷品ニ相當リ候理ニ
寄一時融通爲仕候儀不苦候事ニ奉恐入候間錢切手ノ分ハ當四月十五日迄ニ不殘引揚ケ切捨長切
手之分ハ同二十六日迄ニ不殘引揚ケ切捨仕候米手形ノ儀モ嚴重御布告御座候ニ付一旦引揚ケ置候ヘト
モ別紙ニモ申上候通何分藩中ハ地祿之內扶持米ヲ除之外殘米ニテ夫々活計相立候事ニ候間一時ニ正米
計渡シ候テハ融通方頗ル難澁仕候ニ付何卒此米手形ハ更ニ御許容奉願候尤儲蓄之米高ニ適宜不仕候樣
形之儀ハ決テ不仕候然ル上ハ昨午年二月二十八日御屆仕候銀札員數ト今度改御屆仕候錢札員數ノ外米手
之儀ハ御覽御許容候ハヽ都合三種限ニテ共他通用不仕候間何分重々不取調之段御斷奉申上候此段御屆且
奉伺候以上
同上　四年五月三日

一此雛形之長切手銀札百匁五十匁ハ仙過紙六ツ切ニ仕無據差支候節ハ從前流通仕來候此切手上納方ニ
請取候ヘトモ金子ニハ引替不仕候右切手流通仕候次第ハ當管內ハ何分田舍ニテ可然金子取入ノ產物モ
無御座近來ハ別テ金札ノミノ融通ニ御座候間當管內一體ニ金札拂底ニ有之札座引替方ノ手支甚困却仕且

楮幣ハ兼テ御届モ申上候通追々引換之目途モ相立可成丈銀札錢札共引締候樣仕居候處昨冬ニ至リ物價沸騰之上錢銀札共拂底ニテ諸民日用融通方差支必至難澁仕候ニ付右引締候錢銀札ノ高ニ應シ前件ノ長切手當分差支之札座引替方ニ差支管內一時融通仕越年ノ手當爲仕候事ニ御座候全許可高三萬五千兩餘ノ內ニテ都合ニ寄右之如ク取計仕置畧冬ヨリ追々上納方ヘ相廻候右殘リ當今少々有之候ヘトモ今般之御布告ニ付悉皆引揚ケ仕候以上

札座

一

札百匁也

子九月晦日限　此手形ヲ以可相渡者也

札座

一

札五拾匁也

子九月晦日限　此手形ヲ以可相渡者也

福知山藩知事朽木爲綱伺　四年四月二十六日

別紙亘細申上候通當藩楮幣之儀甚不都合之取調御屆仕奉恐入候依之進退奉伺候以上

同藩屆　四年六月日

當藩製造楮幣員數御屆ノ儀昨午年二月二十八日以來取調方甚不都合ノ次第有之先般其事柄委細取調御屆申上候處其節於大藏省猶又銀札錢札共種類大小員數等細密取調可申出御達有之ニ付別紙三冊ノ通御屆申上候以上

楮幣員數

一金三萬五千四百三十四兩ト永九百文

內譯

錢札三十一萬六千六百四十二貫百文

此金三萬千六百六十四兩ト永二百文

銀札五百二十七貫八百九十六匁六分

此金三千七百七十兩二分三朱ト永二文五分

內

錢三千六百九十六貫六百文

此金三百六十九兩二分二朱ト永三十五文

二百文錢札切捨

銀札三貫五百十七匁四分

此金二十五兩一朱ト永六十一文七分九盞

銀札集不足

〆三百九十四兩三分ト永三十四文二分九盞

右高減ス

差引

三萬五千四十兩一朱ト永五十三文二分一盞

當時通用高

右ノ通御座候以上

四年六月

長切手二百五十貫匁

內

百貫匁

此數千枚

百匁切手

百五十貫匁

此數三千枚

五十匁切手

右引上ヶ切捨申候

一小錢切手七百六貫八百九十文

內

三百五十八貫四百二十四文　十二文切手

此數二萬八千六百七十四枚

百九十九貫百二十四文　八文切手

此數二萬三千八百九十五枚

百四十九貫三百四十二文　六文切手

此數二萬三千八百九十五枚

右引上ヶ切捨申候

四年六月

藩造楮幣取調從前ノ御屆高

一金三萬五千四百三十四兩ト永九百文

內

三百六十九兩二分二朱ト永三十五文

二百文錢札此數一萬八千四百八十三枚

此錢三千六百九十六貫六百文
右引上切捨
二十五兩一朱ト永六十一文七分九釐
銀札集リ不足滅ス
此銀札三貫五百十七奴四分
但今般管內散布ノ銀札一旦引上ケ種數相改候ノ處前件高集リ不足尤兼テ御屆申上候ノ通全數ハ相分リ居候ヘ共何札何枚ト申儀ハ數十年散布仕來リ亘細御屆難申上候間此度取調候事ニ御座候
殘高金三萬五千四十兩一朱永五十三文二分一釐
此內譯
此數三千六百八枚
錢札十貫文
此數十八枚
此錢三萬六千八十貫文
此數三萬四千百八十八枚
同五貫文
此錢十七萬九百四十貫文
此數二萬七千六百八十九枚
同二貫五百文
此錢六萬九千二百二十二貫五百文
此數二萬二百六十一枚
同一貫文
此錢二萬二百六十一貫文
此數二萬五百四十枚
同五百文
此錢一萬二百七十貫文
此數二萬七千八百十八枚
同百文
此錢二千七百八十一貫八百文
此數四萬八千三百五十九枚
同四十八文
此錢二千四百十七貫九百四十八文
此數三萬八千八百九十枚
同二十四文
此錢九百七十二貫二百四十八文
銀札十奴
此金三萬千二百九十四兩二分ト永五十文
此銀札百八十九貫八百四十四奴
銀札十奴
此錢三十一萬二千九百四十五貫五百文
此銀札二百五十貫百九十奴
此錢二萬千四百十七貫九百四十八文
同五奴
此銀札七十六貫六十奴
此數一萬五千二百十二枚
同一奴
此銀札百八十九貫八百四十四奴
此數十八萬九千八百四十四枚

諸藩空米切手製造ヲ禁ス
四年七月十四日布告ヲ以テ廢藩ニ因リ藩札交換方ヲ定ム

同五分
此銀札五貫三百二十六奴五分
此數一萬六百五十三枚
同二分
此銀札一貫七百三十四奴二分
此數八千六百七十一枚
同一分
此銀札一貫二百二十四奴五分
此數一萬二千二百四十五枚
〆銀札五百二十四貫三百七十九奴二分
此金三千七百四十五兩二分一朱ト永三文二分一釐
兩銀札百四十奴
右ノ通ニ御座候以上
四年六月十日
司法省伺四年八月四日
元福知山藩知事始進退伺ニ付別紙取調申上候間至急御指圖有之度右書類六通相添此段申進候也
司法省上申四年八月四日
無科
元福知山藩知事
同
大參事
會計分掌
謹愼五日
同
少參事
同十日
同
井上貞晴
同十日
同
竹內則正
同十日
同
飯田高明
無科
中野重明
右申上候也
史官ヨリ司法省ヘ通牒四年八月七日
別紙福知山縣御處分伺之通相成候就テハ夫々御施行可有之且大藏省ヘモ御通達可有之候也

達
四年四月四日
諸藩
從來諸藩ニ於テ歲入ノ米穀賣却ノ節藏米切手ト唱ヘ米券ヲ製シ賣貰候向モ有之趣然ル處會計窮迫ノ餘一時ノ取計ヲ以蓄積ノ米穀高ニ適實セス空米切手ヲ製出シ終ニ融通否塞ノ基トモ相成候儀不少哉ニ相聞以ノ外ノ事ニ候向後右等ノ所爲決シテ不相成候條屹度可相心得候事

諸會社ニ於テ金券幷ニ空名預リ切手等發行ヲ停止ス

延岡藩村替ニ付藩札交換方ヲ候ス

出石藩外三藩楮幣支消處分

達 四年四月四日（民業門商事ノ目ニ見ユ）

近來各地方ニ於テ商法便利ノ爲メ追々諸會社取設候趣然ル處結社ノ規則モ不相心得懸空ノ見込ヲ以取扱候ヨリ往々訴訟ノ端ヲ開キ或ハ融通ノ道ヲ誤リ準備ノ正金モ充實セス預リ切手又ハ金券樣ノモノ發行シ終ニ破産ノ資ト相成候儀モ有之哉ニ相聞不都合ノ事ニ候追テ一定ノ商規モ可相立候ヘ共差向右等ノ所爲無之樣各管轄廳ニ於テ委詳取調官許無之金券幷空名預リ切手等有之候ハヽ速ニ廢止正金ニ爲引換候樣可致事

延岡藩願 四年四月五日

今般村替被仰付候ニ付豐後國千歳出張所預リ紙幣引上ケ方別紙ノ通日田縣廳ヘ賴談書差出候ニ付テハ同廳ヨリモ伺可相成何卒右情實御洞察被成下候樣仕度奉願候以上

指令

書面楮幣ノ儀村替上知縣廳ヘ郷村引渡候上ハ可殘置筋無之殊ニ引受人有之上ハ元備金モ可有之筈ニ付旁願ノ趣不被聞屆候條早々斷截ノ上可屆出候事

延岡藩ヨリ日田縣ヘ照會 四年三月日欄

當藩管轄豐後國千歳出張所預私幣往年ヨリ振出置候處勝手向累年ノ窮迫ニテ兩替ノ備乏敷無據弘化ノ度當御支配大分郡原浦米屋幸右衞門方ヘ及賴談私札高二萬二千九百十四兩二分二朱六十七文ノ分悉皆同人ヘ相託シ年ヲ逐テ去ル丑年マテ損札ノ分ハ新札ニ引替年々生産類買入右產物ヲ正金ニ換ヘ兩替ノ備相立來候處近來ノ時態生產代金取入ノ道少ク無據生產買入ハ相減シ自他望ノ者ヘ年季ヲ以貸付多分貸付ノ向ヘハ兩替其者引受ニテ各目印ニ加印仕役場ヘ集札ノ分ハ加印先ヘ相渡正金引替爲差出來候處去ル辰春ノ動搖ヨリ惡不融通ニテ貸付ノ者ヨリ正金差出方不出來兩替者頻リニ多分ニ相成一時苦配ノ所ヨリ兩替高モ相減シ是迄其邊ニ押移リ來候然ル處此度千歳附ト御縣廳管轄日州本庄御役所附ト管轄替被仰付候ニ付ハ右私幣速ニ引揚ケ候社至當ノ筋ニ御座候ヘ共前段ノ通兩替備金乏敷而已ナラス貸付ノ分一時取立方モ不出來就中從來勝手向難澁莫大ナル當節近來別テ費用相當千歳出張所受持當座ノ借財多分ノ高ニテ古借ハ閣キ當借ノ分ハ何レト歟返濟ノ道相附不申テハ銀主中取扱差支紙幣ハ幸右衞門一手引受トハ乍申初發相託候節多分ノ空札相渡當用ノ方ヘモ借用不少此節悉皆引揭候ヘハ空札高幷借用ノ分モ返濟不仕テハ不相濟旁苦情ニ不堪殆ト當惑罷在申候就テハ何共不絲理ノ儀ニテ奉恐入候ヘ共來ル寅年迄八箇年ノ間別府御役所御受持ノ御名義拜借仕度此段相叶候ハヽ概ネ二萬三千兩ノ內此節七千兩丈ケ引揭破札仕相殘一萬六千兩來ル申年ヨリ丑年マテ六箇年二千二百兩ツヽ寅年ニ至リ二千八百兩前段貸付金ノ內幸右衞門引受別府ヘ持出急度破札可仕萬々一相滯候儀モ御座候ハヽ年々可引揭金高當藩廳ヨリ御縣廳ヘ差出候樣可致近來物價騰貴ニ連レ隣單都テ札高相減候姿ニ付專ラ各藩ノ私札ヲ好候下民ノ情態別テ當札ノ儀ハ去ル丑年以來聊モ新札無御座遣馴候故歟是迄可也通用罷在候處此節御換地ノ儀下方專ラ流布仕候ニ札歩引下候向モ有之哉ニ相聞自然紛擾ヲ醸候樣立至候テハ重疊恐入奉存候儀ニ御座候間何卒御採用下方ヘ篤ト御告諭被下候ハヽ一統引續無疑念取引仕穩ニ引揭モ可相濟奉存候間右ノ趣幾重ニモ御洞察被成下候樣奉御願候也

出石藩豐岡藩村岡藩ヘ達 四年四月七日

諸藩縣ニ於テ發行ノ楮幣引揭方ノ儀追々相達置候趣モ有之候處其藩今以支消ノ見込不申出且實地ニ於テ引換ノ道モ無之下民ノ苦情不容易哉ニ相聞エ不都合ノ事ニ付御一新後製造ノ分ハ總テ取纏斷截ノ上可屆出從前施行ノ分引換願出候節ハ速ニ引換支消ノ見込早々可申出事

大藏省伺 四年三月二十七日

御一新來諸藩縣錯出ノ楮幣引纏ノ儀ニ付テハ追々御達ノ趣モ有之候處久美濱縣前權知事私斷ヲ以テ發行ノ楮幣今般引揭ノ爲メ監督司ヨリ出張爲致夫々取調候處同縣ノ儀ハ出石豐岡村岡右三藩接近ノ土地柄從前互ニ流通致來リ候儀故自然同縣貫納石代等ニ相交リ即今縣幣引揭ニ臨ミ藩々ノ分ハ引換モ無之故ニ通用モ苦メ不宜錢拂底ニ付テハ俄然困難ノ情モ有之何レニモ右三藩引換ノ道不相立候テハ萬々不都合ニ有之候處右三藩ノ儀ハ支消ノ見込未タ不申出就テハ左ノ通リ至急御達有之度文案相添此段申進候也

尙以テ三藩ヘ御達濟相成候ヘハ出張ノ者ヘ申達度候間速ニ御達有之度添テ申進候也

大藏省伺 四年四月四日

久美濱縣錢券引纏ニ付近隣藩々楮幣引替澁滯融通硬塞ニ付右藩々ヘ御嚴達相成度段過日申達置候處猶又於近藩峰山官許ノ錢文券施行イタシ候由同縣ハ是迄私恩ヲ貪リ諸事紊亂ノ後ヲ受ケ新知參事御趣意遵奉方法相立候ニ付恩ニ狃レ候民情自儘ノタシ近隣藩々ノ警戒ニモ相成至極ノ都合ト存候折柄管下交互ノ地於藩ヘ官許施行於縣ハ引纏御趣意ニ途ニ相成頑愚ノ民心方向ヲ失ヒ縣政ハ愈苛酷ノ姿ニ陷リ何樣ノ沸騰ヲ醸シ候哉モ難計掛念不少候間早々御差止相成度旨同縣ヘ出張イタシ候監督司ヨリ申越候右ハ如何ノ次第ニテ御差許ニ相成候哉尤昨午三月同藩銀錢券調高差出シ候節別紙附紙ヲ以テ及下知候通銀券ハ廢止戊辰發行ノ錢券ノ內ヲ以テ右銀券ノ金高ニ滿テ其餘ノ錢券若干ヲモ截斷可致筈ノ處却テ新券施シ候儀不都合ト存候間御許容ノ次第柄モ無之官許ト號シ施行候儀ニモ候ハヽ是亦不容易儀ニ付何分ノ御沙汰相成度依之別紙書類相添此段申進候也

堅山藩ヨリ大藏省ヘ届　四年三月日欠

於諸藩從舊幕府許可ヲ受ケ從前製造ノ楮幣總高取調當二月中迄ニ大藏省ヘ可届出旨舊臘御布告ニ付則チ取調候處左ノ通

明和七庚寅年旱魃ニテ米穀不熟且ツ饑阨ノ地ニテ金銀融通ノ理不便ニ付窮民爲拯救管轄地限リ取遣爲仕度旨舊幕府ヘ申達許可ヲ受ケ左ノ銀高製造仕候

一楮幣銀七十貫目

享和三癸亥年管轄地繩墨業追年繁殖シ戸籍人員共前ニ相倍シ楮幣匱乏生活ノ害不鮮依之爲賑濟左ノ銀高增製造仕在來ノ楮幣銀七十貫目

一同三百七十五貫九百匁

天保四癸巳年米價格外騰貴ニ付爲賑濟左ノ銀高增製造仕在來ノ楮幣銀三百七十五貫九百匁ハ此時悉ク引替斷截仕候尤其段舊幕府ヘ相届置申候

一同七百十九貫匁

元治元甲子年米價諸品共益昂貴ニ付爲賑濟左ノ銀高增製造仕在來ノ楮幣銀七百十九貫匁ハ此時悉ク引替斷截仕候尤其段舊幕府ヘ相届置申候

一同七百十九貫匁

元治元甲子年米價諸品共益昂貴ニ付爲賑濟左ノ銀高增製造仕在來ノ楮幣銀七百十九貫匁ハ此時悉ク引替斷截仕候尤其段舊幕府ヘ相届置申候

一同千八百八十二貫二百二十一匁五分

但金一兩ニ付銀百目ノ相場ニ御座候

明治元戊辰年銀銘御廢止ノ儀御布告ニ付錢銘ニ改メ且ツ共節米價諸品共倍昂貴ニ付爲賑濟左ノ錢高製造仕候右ニ付在來ノ楮幣銀千八百八十二貫二百二十一匁五分ノ內追々引替銀高千三百五貫七百二十一匁五分ハ斷截仕候依之當時全ク ノ楮幣ハ左ノ錢高ニ御座候引替殘銀高ハ末ニ申上候通御座候

一同錢二十五萬二千三百五十貫五百文

內

六萬四千七百五十貫文　錢十貫文札
五萬三千四百七十五貫文　同五貫文札
一萬七千九百七十貫文　同三貫文札
三萬二千二百五十貫文　同二貫五百文札
一萬七千七百二十貫文　同二貫文札
三萬二千五百六十二貫五百文　同一貫二百五十文札
一萬千四百九十五貫文　同一貫文札
一萬七千百五十貫文　同五百文札
千百七十八貫文　同二百文札
二千八百貫文　同百文札

岡山藩銀札押掛判ヲ以テ錢札ニ通用ス

一藩札通用嚴禁再ビ命　四年七月十四日布告ヲ以テ廢藩ニ因リ藩札交換方ヲ定ム

元治元甲子年製造ノ分追々引替當時殘ノ分左ノ通リ御座候尤即今引替斷截可仕積ニ御座候

內

百二十二貫匁　銀十匁札
百十三貫二百匁　同五匁札
九十七貫四百匁　同三匁札
八十貫五百匁　同二匁札
七十八貫　同一匁札
十三貫六百匁　同五百匁札
二十九貫三百匁　同二百匁札
十七貫百十匁　同一百匁札
五貫三百九十匁　同五十匁札

右ノ通リ御座候此段御届申上候以上

大藏省指令

書面從前製造高銀千八百八十二貫二百二十一匁五分此金一萬八千八百二十一兩永二百十五文ニ當ル錢札ノ外ハ斷截可致候事

岡山藩伺　四年四月晦日

舊政中領分爲融通從來通用致來リ候銀札銀目御廢止ノ節錢札ニ相改メ當分押掛判ヲ以通用仕追々錢札新出來ノ上引替申度儀伺濟ニ相成候ニ付新錢札發行可仕迄ノ處追々支消ノ法相立既ニ御届申上置候儀ニ付引替濟迄此儘押掛判ヲ以通用仕度奉存候此段不苦儀ニ御座候哉奉伺候以上

指令　四年五月二十九日

書面從前ノ銀札伺濟以後錢札改造不致當今迄濟來ノ上ハ銀札ノ儘押掛判ヲ以錢通用不苦候事

達　四年六月八日　諸藩

御一新後地方官管內限リ製造ノ楮幣可爲停止旨去ル巳年十二月御布告相成候處今以テ致通用候向モ有之哉ニ相聞エ以ノ外ノ事ニ付早々廢止可致候此上心得違ノ筋有之ニ於テハ官員差向御取糺可相成候條其旨相心得兼テ嚴重取締可致事

長崎縣倉敷縣へ達　四年六月八日

地方官管内限リ通用紙幣引換ノ儀兼テ御布告ノ趣モ有之候處其縣ニ於テハ今以無其儀不都合ノ事ニ候
今般御詮議ノ筋有之候間至急引換ノ目的相立七月晦日限リ可申出事
但引換目的難相立候ハヽ其仔細取調可申出事

民部大藏兩省伺　四年四月二十七日

府藩縣管内限通用紙幣ノ儀ニ付テハ已ニ十二月御布告ノ趣モ有之猶又今般御布告ノ趣モ有之候處是迄府縣ノ分ハ追々御下金モ有之引換ノ道モ聊相開ケ候ヘ共諸藩ノ紙幣從前舊幕府ニテ許可有之候分ハ一體引換備金モ可有之筈ニ候ヘ共年來ノ疲弊ニテ右備金モ別途ニ支銷大略水泡ニ屬シ加之御一新騷擾ノ際ニ當テハ財力瞑亡ニ任セ一時ノ急ヲ救ハンカ爲メ後年ノ害ヲ顧ミス漫然舊幣ノ數ヲ增シ或ハ新札致製造苟且及發弘候向モ不少固ヨリ右樣ノ向ハ引換ノ方略ハ毫モ無之其上治民理財ノ道トモ宜キヲ得サルヨリ益以困弊ニ陷リ候故已ニ十二月御停止被仰出候紙幣トイヘ共今以致通用甚シキニ至テハ今日猶新製增造ノ向モ有之候ヘ共大抵有名無實ニテ一旦引揚候分モ有之候ヘ共大抵有名無實ニテ一旦引揚候テモ又々散布致シ候類モ有之自然札力順挫及通用礙滯候ヨリ銀札一貫目ヲ以テ金札一兩ニ換フル地方モ有之候テ人民ノ損失ヲモ相生シ商賈ノ交易ハ不都合ヲ極メ弊惡ノ紙札多キヨリ蚩々ノ愚民叨リニ自製致シ罪戾ニ觸レ候者モ出來可致此儘過行候テハ地方ノ大害ヲ釀シ必ス騷擾沸騰ノ根底ト可相成實ニ不容易次第ニ付即今共害未萌ノ中防閑ノ御處分有之度依之兩省致僉議候處引換ノ方略不相立ハ素ヨリ其弊ノ沿襲モ一日ノ故ニ非ス殊ニ癸丑以來貨幣ノ品畳物價ノ昂低難逃候ヘ共倩世態人情ヲ相考候ヘハ其弊ノ沿襲モ一日ノ故ニ非ス殊ニ癸丑以來貨幣ノ品畳物價ノ昂低一大變遷ノ勢ニテ天下流通ノ貨幣モ不相增シニテハ通融可差支形勢モ有之候事故取テ藩札ヲノミ御嚴制有之候テハ萬一之トモ難申加之不被爲得止御場合ニテ金札御發行モ有之候事故取テ藩札ヲノミ御嚴制有之候テハ萬一御趣意ヲ誤リ心得違ノ者可有之モ難計增テ各縣ニテモ未通用紙幣相殘リ居候間旁以テ第一縣札ヨリ爲取纏不申候テハ不公平ニモ相當リ可申ト相考候間諸縣ノ札高取調候處凡七十萬金餘モ有之候中追々取纏相成即今長崎倉敷等ノ諸縣ニ別紙ノ通御達有之候間右諸縣ヘ別紙ノ通御達有之度依之夫々御達案相添此段相伺候分有之候間右諸縣ヘ別紙ノ通御達有之度依之夫々御達案相添此段相伺候也
替ノ目的無之分ハ爲ト御糺ノ上大藏省ヨリ御下金ヲ以テ至急一掃ノ道爲相立其上諸藩ノ中其弊最甚シキ向ヘハ民藏兩省ヨリ爲監督出張第一御一新後私造ノ分ヨリ爲引收繼テハ從前發弘ノ分引替ノ期限爲相立猶引續再三巡察差出施設ノ形狀爲致監督候ハヽ追々御趣意貫徹可致而シテ一方ノ御締相立候模樣四方ヘ致傳播候ハヽ官員出張無之向迄モ自然御取締相立可申候間至急右ノ御處分有之度候今度再應御布告モ有之候ヘトモ既往ノ御布告到底致兼候間此度ハ地方ノ大害ヲ釀シ必ス騷擾沸騰ノ根底ト可相成實ニ不容易次第ニ付即今共害未萌ノ中防閑ノ御處分有之度依之兩省致僉議候處引換ノ方略不相立ハ素ヨリ其弊ノ沿襲モ一日ノ故ニ非ス殊ニ癸丑以來貨幣ノ品畳物價ノ昂低難逃候ヘ共諸藩ノ紙幣從前舊幕府ニテ許可有之候分ハ一體引換備金モ可有之筈ニ候ヘ共年來ノ疲弊ニテ右備金モ別途ニ支銷大略水泡ニ屬シ加之御一新騷擾ノ際ニ當テハ財力瞑亡ニ任セ一時ノ急ヲ救ハンカ爲メ後年ノ害ヲ顧ミス漫然舊幣ノ數ヲ增シ或ハ新札致製造苟且及發弘候向モ不少固ヨリ右樣ノ向ハ引換ノ方略ハ毫モ無之其上治民理財ノ道トモ宜キヲ得サルヨリ益以困弊ニ陷リ候故已ニ十二月御停止被仰出候紙幣トイヘ共今以致通用甚シキニ至テハ今日猶新製增造ノ向モ有之候ヘ共大抵有名無實ニテ一旦引揚候分モ有之候ヘ共大抵有名無實ニテ一旦引揚候テモ又々散布致シ候類モ有之自然札力順挫及通用礙滯候ヨリ銀札一貫目ヲ以テ金札一兩ニ換フル地方モ有之候テ人民ノ損失ヲモ相生シ商賈ノ交易ハ不都合ヲ極メ弊惡ノ紙札多キヨリ蚩々ノ愚民叨リニ自製致シ罪戾ニ觸レ候者モ出來可致此儘過行候テ

右ノ通御座候以上
四年六月十日

生野縣伺　四年三月日闕

紙幣摺出高九千兩

內四千五百兩　去々巳年中春窓方ニテ引揚濟ノ分
一殘紙幣四千五百兩　引換方仕法相願候分
此割賦米高四百九十三石八斗一升六合七夕
但米十石ニ付金九兩永百二十六文九分三厘
內譯
金六百八十三兩一分永二百二文　春窓家祿七十五石ヘ相當リ候分
金三千八百十六兩二分永四十八文　右同八上知現石五箇年平均米四百十八石八斗一升六合七勺ヘ相當リ候分

右ハ當縣貫屬士族牧春窓舊采地ヘ從來差出候紙幣ノ儀元知行高五箇年平均現石取調ノ上家祿トシテ現在賜リ候分ハ同八ヨリ早々爲相償上知高ノ現石ヘ掛候分ハ當縣ニ於テ引揚濟ノ目的相立精細以仕譯書可申立旨御達ニ付取調候處書面ノ通御座候然ル處右上知村々ハ武藏相模上野下野丹波國永上郡佐治町小倉兩村租稅ノ內畑米幷雜税金納ノ分凡一箇年五百九十兩內外ニ付右ヲ以當未ヨリ七箇年ニ前文割當リノ分割合引揚春窓償ノ分モ迚モ一時引替難行屆情實相聞候間同八ヘ被下候家祿現米ノ內ヲ以同年季一箇年百兩ツヽ未年ハ八十三兩一歩餘取立之右ヲ以紙幣引揚候上其節々一同於當縣札切斷仕候ハヽ御締リモ相立可申ト奉存候依之別紙春窓幷村方ヨリ差出候願書其外五箇年物成仕譯帳トモ相添此段申上候以上

指令

書面紙幣牧春窓上地ノ儀無滯流通致シ候ハヽ共實基立金積立有之身元ノ者引受取扱春窓名面ヲ表シ候趣モ相聞既ニ此程差出候札面莊屋ノ名目モ有之候條今一應取調更ニ可伺出事

生野縣伺　四年六月日闕

當縣貫屬牧春窓舊知行所發行錢券引揚方ノ儀相伺候處現祿高ニ割合處分可致旨御指揮有之候ニ付處分方法委曲仕譯書ヲ以申上候處春窓上地ノ儀無滯融通致シ候ハヽ共實身元ノ者基立金致シ春窓名面ヲ表シ候趣ニモ相聞且札面莊屋名面ニモ相見候ニ付今一應取調可伺出旨猶亦御指揮有之候ニ付御指揮ノ旨々承訂候處別紙ノ通申出候猶舊知行所村役人共取紙候處是又別紙ノ通申立事實參考仕候處相違モ無之相聞候因テハ最前申上候通年月ニ割合處分申付可然哉依之最前伺書共相添再應奉伺候以上　四別紙

生野縣士族牧春窓舊采地通用紙幣支消處分方

布告　四年七月十四日

貨幣ハ天下一定ノ品ニ可有之處從來諸藩ニ於テ各〻種々ノ紙幣ヲ製シ其通用價位區々ニ相成不都合ノ事ニ候今般廢藩ニ付テハ總テ今七月十四日ノ相場ヲ以テ追テ御引換相成候條此旨兼テ可相心得事

大藏省達　四年七月十五日

從來藩々ニ於テ製造通用ノ紙幣此度別紙被仰出候ニ付テハ是迄紙幣通用致居候向ハ左ノ手續厭書ノ通取計巨細取調書早々當省ヘ可差出事

一從來通用ノ紙幣ハ御一新前後ニ不拘都テ辛未七月十四日ノ相場ヲ以テ追テ御引替可相成ニ付右相場書付早々取調可差出事

一右相場取調方ノ儀ハ各官廳下又ハ管下ノ市街等ニテ從來紙幣相場立有之候地ノ實況ニ寄リ前書七月十四日ノ取引相場ヲ以テ可相定事

一管下ノ廣狹ニヨリ右相場立ノ場所數箇所有之自然高下有之候ハヽ、重立候場所三箇所乃至五箇所ノ相場ヲ平均イタシ可相定事

一管下狹少ニテ一箇所而已ニテ相場致候ハヽ、其場所ノ相庭ヲ以テ可相定事

一若シ又取極タル相場所無之仕來ノ地ハ七月十四日商民共現在取引ノ相場ヲ以テ可相定事

但右ハ五人乃至七人位ノ取引ヲ平均ノ上相定可申事

一右相場相定候ハヽ、平均シタル分ハ其場所々々ノ相場一箇所限リノ分ハ其地ノ相場商民取引ニ付テ相定候分ハ其手續等巨細明瞭ニ取調地名人名等相添早々可屆出事

一右相場相定候ハヽ、速ニ其旨各管下細民共マデ不洩樣布告致シ向後右相場ニ付心得違無之樣可致事

右之通相心得至急取調差出候樣可致候事

布告　四年八月十八日

一藩ニ四リ藩札交換方ヲ定ム

四年八月十八日布告官藏紙幣製造器械料紙等大藏省ヘ上納方ノ件參省

四年九月十九日大藏省達藩札製造器等調査雛形ノ件參省

四年十二月十四日布告官藏管轄地二縣ニ分ル、官藏藩札交換方交通ノ件參省

四年十二月十八日布告ヲ以テ藩札交換方ハ大藏省ニ於テ之ヲ設ケ換償金ハ同省ヘ上納セシム

四年十二月大藏省達ヲ以テ官藏藩銀札辛未七月十四日ノ相場開申方ヲ令ス

五年七月達第二百七號ヲ以テ藩札五錢以上ノモノ交換方ヲ令シ七年九月第百二十二號ヲ以テ五錢未滿ノ札交換方ヲ令スルニ依テ消滅ス

官藏紙幣製造器械料紙等大藏省ヘ上納セシム

四年十二月二十日布告前藩札通用價位ノ件參看
五年正月二十三日藩紙幣製造器械料紙等燒却ノ旨ヲ告知ス

五年二月二十九日大藏省達第二十九號同二月晦日同第三十一號紙幣寮燒失ニ付紙幣ニ關スル願伺届井器械並殘地紙等更ニ差出サシムル件參看

伺ヲ經スシテ藩札改造ノ者處分

從來諸藩ニ於テ製造通用ノ楮幣此度廢藩ニ付總テ當七月十四日ノ相場ヲ以テ追テ御引替相成候段相達シ候ニ付テハ是迄右紙幣製造ノ器械幷ニ遺地紙ノ類トモ悉皆取集當十月中迄ニ大藏省へ可差出尤有無トモ可申出事

但シ舊領主地頭舊采地へ指出置候紙幣製造器械ノ類ハ其地方官ニ於テ取調同樣可差出事

大藏省達 四年十二月十二日 府縣

當省紙幣寮ノ儀狹少ニ付八代洲河岸元土木測量所へ今十二日引移候ニ付テハ以後紙幣ニ關係致シ候事件ニ付及尋問候節ハ紙幣頭ヨリ達次第同所へ罷出引合候樣可致尤紙幣ニ關シ候諸願伺届等ハ從前ノ通當省へ可差出此段相達候事

但紙幣製造ノ器械幷遣殘地紙ノ類ハ直ニ紙幣寮へ差出届添書而已當省へ可差出候事

松平忠和伺 四年六月十三日

當藩支配地豐後國高田楮幣小札多之處近來諸色高直不便利ニ相成候旨同所詰ノ者承リ舊大參事松平定勝へ掛合札高ノ內無願ニテ改造仕候儀全私之無念ニテ恐縮ノ至ニ不奉堪候右ニ付テハ進退如何可仕哉此段奉伺候以上

附ケ紙 四年八月十八日

上司ニ申セサルノ從科笞二十公罪ヲ以テ折半ス謹愼十日

○

島原藩伺 四年六月十三日

當藩舊大參事松平定勝豐後國高田表楮幣改造之儀ニ付別紙書面之通進退伺出候間此段奉伺候以上

松平定勝伺 四年五月二十八日

豐後國高田表楮幣改造之儀ニ付進澤奉伺候樣被仰出候後高直之折柄小札多ク民間不便利ノ旨同所詰之者承リ改造仕度申出候間札高ニ增減決テ無之候ヘハ差支有之間敷可然取計候樣申付候今日ノ御沙汰ニ付篤ト勘考仕候ヘハ實以御改造御取締ニモ關係仕候儀ニテ恐縮ノ至ニ不奉堪候右ニ付テハ進退如何相心得可然哉此段宜御執達可被下候以上

附ケ紙 四年八月十八日

上司ニ申セサルノ從科笞二十公罪ヲ以テ折半ス謹愼十五日

○

大藏省上申 四年九月五日

臼杵縣製造楮幣昨年屆高ノ內磨滅幷洪水ノ砌濡相成取捨候代リ爲仕繼一昨冬ヨリ昨年迄追々製造致御評細ノ儀ハ取調ノ上可申出旨當五月中辨官ヘ御屆出後何等不申出候ニ付右ハ假令兼テ屆高ノ內ニ候共不經伺自儘製造致候段以ノ外ノ事ニ付製造ノ始末共細詳取調心得方早々可申出旨此程相達候處別紙ノ通申出候右仕繼製造ハ一昨巳冬ヨリ當正月ニ有之候ヲ昨年五月總高屆ノ節ハ勿論當春雛形差出候砌モ右次第不申出各管內於テ楮幣用紙漉立場所有之候ハヽ已ニ十二月以來製造致差送候員數取調可伺出旨當二月中御布告ニ付此節ニ至リ申出候段不都合ノ次第ニ付右始末御譴責ノ上至當ノ御處置相成候方ト存候依之同縣ヨリ差出候書面相添同旁此段申進候也

臼杵縣ヨリ大藏省ヘ屆 四年八月二十五日

六月十五日楮幣仕繼製造元辨官ヘ概略申上置候儀ニ付御屆

一錢札三萬五貫四百九十六匁六分

此金十五萬六千二百七十八兩二分二朱

永三文一分二釐餘 但一兩ヲ三貫百九十二文ニ付

右ハ昨庚午五月御屆申上置候楮幣振出高ニ御座候然ル處數年改モ不仕候ニ付相改候處金四萬五千兩餘磨滅相成候ニ付一昨巳十一月ヨリ昨午七月迄右ノ高爲仕繼左ノ通製造仕候

四萬五千百八十兩一分二朱ト永四十一文六分

此錢札八千六百七十四貫六百四十目

一前件高ノ內物產用金二萬六千兩餘昨午九月洪水ノ節物產局水込ニテ右金高ノ楮幣濡ニ相成取棄候ニ付昨庚午十二月ヨリ當辛未正月迄爲仕繼左ノ通製造仕候

二萬六千三百七十兩二分二朱

此錢札五千六百十三貫百六十目

右之通今般本縣ヨリ取調指越候ニ付此段御屆申上候以上

臼杵縣大參事片岡秀重同權大參事栗屋勝孝同村瀨吉亨同橘朴伺 四年十月日 闕

舊藩貢曆中紙幣製造以來振出高ノ內闕失磨滅相成候度々仕繼仕候處一昨巳巳年十二月紙幣製造停止被仰出候後不經伺從前之儘仕繼製造仕恐入候儀ト奉存候依之進退奉伺候以上

臼杵縣伺 四年十月二十九日 闕

先月七日御達御廉候舊藩紙幣仕繼製造ノ儀取扱候役員別紙ノ通申出候間宜敷御指揮奉願候以上

大脇鈞深外十一名ヨリ臼杵縣ヘ伺 四年十月日 闕

紙幣製造ノ儀一昨巳巳年十二月御停止被仰出候後仕繼製造ノ儀取計仕來恐入候此段申上候以上

東京府同　四年十一月十五日
從五位稻葉久通進退伺別紙ノ通差出候ニ付御廻シ申入候可然御指揮有之度此段相伺候也
倘々追テ御沙汰有之候迄ハ參朝等致シ不苦候哉又ハ差控可申儀ニ候哉來十九日豐明節會指懸候ニ付
即御指揮有之度此段申添候也
從五位稻葉久通伺　四年十一月十五日
私儀舊臘杵藩知事奉職中紙幣御停止被仰出候後不經窺從前ノ儘仕繼製造仕奉恐入候依之進退奉窺候以
上
史官ヨリ東京府ヘ達　四年十一月十五日
從五位稻葉久通進退伺出候處追テ御沙汰有
申入候也
史官ヨリ司法省ヘ達　四年十一月十五日
別紙稻葉從五位進退伺適律御申出可有之候也
適律
大參事ニ一等ヲ減シ笞一十
非役華族ノ例ニ依リ
贖罪金一兩二分
所由ノ少參事ニ一等減
笞二十例ニ依リ
贖罪金三兩宛

元白杵藩知事　從五位　稻葉久通

大參事　片岡秀重
權大參事　粟屋勝孝
同　村瀨吉亨

上司ニ申スヘクシテ申セサルノ所由
笞三十例ニ依リ
贖金四兩二分
官吏犯公罪例ニ依所由ニ三等ヲ遞減シ
減シ盡シテ
無科

元權少參事　權大參事　橘　朴

岡部章以下同科
笞三十非役士族ノ例ニ依
贖罪金二兩一分ツヽ

大圀　稻川嘉門
以下五人

橘朴同科

元少參事　後藤鈍臣
同　加納孝
元權少參事　清水濯纓
少參事　岡部章

贖罪金三兩ツヽ

○
東京府同　四年十一月二日
從四位松平武聰進退伺ノ儀別紙之通差出且委細鶴田縣大參事ヨリ御官ヘ申上候次第申立候ニ付御回申
入候可然御指揮有之度此段申進候也
松平武聰ヨリ東京府ヘ伺　四年十月二十九日
鶴田縣管内限通用銀札ノ儀ニ付廉々恐入候依之譜テ進退奉伺候可然御沙汰被成下度奉存候以上
鶴田縣大參事　尾關秀同權大參事河鰭齊同　四年十月二十九日
當縣管内限リ通用銀札ノ儀去ル丙寅年間石州濱田退去以來上下一同繼作州八千石ノ舊領地ヘ流寓仕非
常ノ困苦ニテ戊辰ノ春士卒殆ト飢餓ニモ可及勢ニ付不得止一時燒眉ノ急ヲ救候爲舊幕府ヨリ許可ヲ請
候外ニ十匁札二匁札製造仕漸取續來候處爾後度々御沙汰ノ趣モ御座候ニ付速ニ引揚可申ノ處何分會計
困迫餘力更ニ無御座候ニ付不得止銀札百目預リ切手差出右ニテ悉皆引替切捨候儀ニ仕掛百目預リ切手
モ會計手廻リ次第是亦追々引揚候積ノ處折節士族卒一同ノ居宅取立等藩力ニ餘リ候非常ノ入費夥敷固
ヨリ會計窮乏中故誠以當惑至極仕候ヘトモ力ノ及候丈ハ精々引替候處猶殘多分ニ御座候段實以奉恐入
候次第ニ御座候且又一匁札二分札摺增ノ儀モ御屆落相成居候段是又深奉恐入候右委曲別册ノ通御座候
是全臣等不行屆ノ所致ニテ重々申譯無御座不堪恐懼戰慄ノ至奉存候依之譜テ進退奉伺候可然御沙汰被
成下度奉存候恐懼頓首敬白
同縣少參事岡村昌言ヨリ鶴田縣ヘ伺　四年十月日闕
當縣管内限リ通用銀札ノ儀ニ付廉々恐入候次第御座候ニ付此度大參事衆進退被相伺候趣承知仕候右ハ
會計專務ノ私不行屆ヨリ斯ニ至候事ト深恐入奉存候依之如何樣ニモ御咎御座候樣仕度此段奉伺候以上
史官ヨリ司法省ヘ通達　四年十一月二十八日
別紙ノ通北條縣ヨリ屆出候間爲御心得申入候也

少參事　若林永輿
少參事　稻葉東

鶴田縣元知事　從四位　松平武聰

大參事　尾關秀
權大參事河　鰭齊

適律
大參事ニ一等ヲ減笞一十
例ニ依リ
贖罪金一兩二分
所由ノ少參事ニ一等ヲ減
笞二十例ニ依
贖罪金三兩ツヽ

鶴田縣少參事　岡村昌言

事上司ニ申ス可クシテ申セサル者ノ所由笞三十例ニ依リ
贖罪金三兩

○大藏省伺　四年十二月七日

元前橋縣去々巳年市在國產輸出多有之所ヨリ贋金入込正金不通用相成候上凶年旁金錢不融通窮民ハ勿論諸民迷惑ニ勤搖ニモ可及時情暫時ニモ難捨置危急救助引換ノ爲メ錢札四萬二千九百兩製造ノ內七千二百兩引換相濟殘金三萬五千七百兩ハ全ク諸民救助ノ爲メ製造之儀ニ付上下與荷ヲ以テ支消ノ方法相立錢相場ノ模樣見計ヒ引換右邊ヲ以テ漸々支消ノ目的ニ有之候處今般ノ御改正ニ付居出候間別紙ノ通申出候ニ付相糺シ候處從前製造錢札二萬七千七百兩御一新後增加六萬二千三百兩餘ノ外不經伺自己ニ製造是迄不屆出旨申聞右ハ巳年中製造致シ候ハヽ昨年總高屆ノ節又ハ當春札雛形差出候砌可屆出筈ノ處從前製造錢札二萬七千七百兩御一新後增加六萬二千三百兩餘ノ外不經伺自己ニ製造是迄不屆出旨申聞右ハ巳年中製造致シ候ハヽ昨年總高屆ノ節又ハ當春札雛形差出候砌可屆出筈ノ處無其儀追々ノ御布告且今般廢縣此節ニ至リ屆出候不都合ノ始末御詰責ノ上至當ノ御處置相成候方ト存候依之同縣居書相添同旁此段申進候也

追テ御處置相濟次第早速御達シ有之候樣致シ度候也

元前橋縣申立　四年月日　閣

過日大藏省ヘ御屆差出候元藩錢札贋金引換等ノ爲メ製造致シ候方兼テ御屆ノ方ヘ除置今般御屆致シ候儀ニ付御不審有之候右御屆外ニ致シ置候一昨巳ノ春中ヨリ同秋中迄元藩用度切迫管內正錢甚タ拂底ノ折柄舊幕府ノ節許可ノ分幷加增等ノ分用度融通ニ相用候爲メ紙幣製造中同時國產生糸輸出ノ土地柄管內贋金多分入交候所ヨリ正金通用甚タ不都合ノ始末ニ付其節相同候處銀錢ノ方三分一ノ御下金トノ御達ニ付取調候處極々惡金多ニテ彌見込造ニ相成急速引換行屆兼候ヘ共前書ノ通下救助ノ爲メ施行ノ儀ニ付上下一統ノ與荷ノ方法兼テ相立置候儀ニ付追々支消ノ見込ニテ右ノ通別口ニ取扱候處ヨリ昨春中藩札高御屆ノ方相除一贋金引換ノ爲メ製造藩札ノ儀昨春中九萬兩餘御屆申上候後ニ出來仕候哉又ハ九萬兩ノ分ト同時ニ出來致シ候哉ト御尋ニ御座候右ハ前條ニ御答申上候通別口ニ內譯致シ置候而已ニテ全ク巳年中同時增加ノ製造ニ有之候ニ付當時製造高九萬兩餘ノ分同時ニ出來致シ候儀ハ決シテ無御座候

一巳年中藩札製造高九萬兩餘ノ分同時ニ出來致シ候儀ニ有之候上ハ一同御屆致シ置宜儀ニ可有之然ル處其節不申立段不都合ニハ無之哉ノ旨御尋御座候右ハ全初件御答申上候通ノ見込ニテ御屆落ニ相成候條只今ニ相成候テハ不都合ニハ無之哉ノ旨御尋御座候全ク譯合ハ初條ニ申上候通ニ御座候

從五位松平直方元前橋藩知事在職中不都合ノ儀有之別紙ノ通進退伺差出候ニ付御廻申入候可然御指揮

東京府屆　四年十二月十二日

有之度此段申進候也

松平直方伺　四年十二月日　閣

私儀元前橋藩知事奉職中不經伺一昨巳年中贋金入込正金不融通其上凶年ノ折柄諸民迷惑動搖ニモ可及歟ノ時情難捨置危急救助ノ爲メ錢札製造爲仕尤支消ノ法方相立漸々引替ノ目的ニ御座候處今般御改正ニ付右ノ段由右ハ其節本伺御指揮ノ上取計可申ノ處無其儀此節ニ至御屆申上候段不束ノ次第本恐入候依之進退ノ儀如何相心得可然哉此段奉伺候以上

元前橋縣ニ於テ贋金引換ノ爲メ錢札致製造候ハヽ其段可申立處無其儀此節ニ至リ申立候條藩札ノ儀ニ付テハ兼テ御布告ノ趣モ有之甚以テ不都合ノ至ニ付其頃取扱候官員進退相伺候樣可申達旨御達御座候處度融通ニ相用候爲メ紙幣製造中同時國產生糸輸出ノ土地柄管內贋金多分入交候處ヨリ正金通用甚タ不宜且前戊辰ノ春所々ノ農民動搖秋作不熟等ニテ自然管內ノ小民疲弊共惰實難捨置然シテ下々ノ疑惑打交御達ニ基キ贋金取調ニ交御達ニ基キ贋金取調ニモ甚差支候ニ付當時製造中之錢札ヲ以テ急場引換共難ヲ救ヒ其他南京米取入レ小民活計ノ多足ニ爲致等ニ相用レ小民活計ノ多足ニ爲致候等ニ相用候儀ニ付テハ兼テ引替可相成其餘ハ與荷ヲ以テ引替去巳巳ノ春中ヨリ同秋中迄舊藩用度切迫管內正錢甚拂底ノ折柄舊幕府ノ節許可ノ分幷加增等ノ分用度融通ニ相用候爲メ紙幣製造中同時國產生糸輸出ノ土地柄管內贋金多分入交候處ヨリ正金通用甚タ不都合ノ至ニ付其頃取扱候官員進退相伺候樣可申達旨御達御座候處宜且前戊辰ノ春所々ノ農民動搖秋作不熟等ニテ自然管內ノ小民疲弊共惰實難捨置然シテ下々ノ疑惑打交御達ニ基キ贋金取調ニモ甚差支候ニ付當時製造中之錢札ヲ以テ急場引換共難ヲ救ヒ其他南京米取入レ小民活計ノ多足ニ爲致候等ニ相用候儀ニ付テハ兼テ引替可相成其餘ハ與荷ヲ以テ引換可相成其餘與荷ヲ以テ引換候心得ニテ四萬兩餘ノ口ハ會計融通ノ外ニ取扱置別手ヲ以下ケ渡藩札引揚候見込ニテ全ク暫時ノ取計故掛リ參事ノ指圖ニ隨ヒ一昨春中藩札高御屆ノ方相除置候處慶應

私儀一昨巳年中贋金入込正金不融通其上凶年ノ折柄諸民迷惑動搖ニモ可及ノ時情難捨置危急救助ノ爲メ錢札製造ノ錢札ヲ以テ相救置尤支消ノ法方相立漸々引換ノ目的ニ御座候處今般御改正ニ付右ノ段御屆申上候右ハ委細別紙ニ申上候通別口一時ノ取計ニ御座候共昨午年御布令ニ付外錢札高申上候節一同御屆可申上ノ處無其儀此節ニ至リ御屆申上候段不束ノ次第奉恐入候依之進退ノ儀如何相心得可然哉此段奉伺候以上

事應奏不奏條內

深澤勝忠　四年十二月日　閣

上司ニ申ス可シテ申セサル者笞三十士族ニ依リ一等ヲ減シ笞二十士族ニ依リ贖金一兩二分

上司ニ申ス可シテ申セサル者笞三十贖金二兩一分

山田敬之

上司ニ申ス可シテ申セサル者笞三十贖金一兩二分

松平直方

上司ニ申ス可シテ申セサル者笞三十士族ニ依リ一等ヲ減シ笞二十士族ニ依リ贖金一兩二分

深澤勝忠

上司ニ申ス可シテ申セサル者笞三十第三從タルニ依リ二等ヲ減シ華族ニヨリ贖金一兩二分

下ケ札

從前藩札製造高ノ外巳年中四萬兩餘ヲ製造シ總金高屆出ノ節不屆出後ニ別口ト云ヲ以テ屆出ス糾問

ノ處共時要金混入シ殊ニ凶年ニテ藩内飢渇ニ苦ミ動搖ニモ可及勢不得止諸民救助且應金換抵ノ爲不經伺自己ニ製造シ追々支消ノ法相立候中御改正ニ依リ届出ル旨ヲ申ス事實止ヲ得サルニ依ト雖モ總金高届出ノ節不届出ニ依リ不申不奏ニ科ス

○大藏省伺　六年六月三日

舊鹿兒島藩於テ銀壹二分判爲引換不經伺庶午十二月ヨリ辛未三月迄預リ錢札發行引換殘ノ分兼テ届濟藩札ヘ差加同樣處分ノ儀別紙ノ通願出右ハ是迄届出モ無之不都合ノ至ニ候ヘ共此上引揚方不行届上ハ錢札ハ一般ノ御處置ヲ以引換相成取扱ノ新舊官員專斷發行是迄不届出始末御譴責至當ノ御處置相成候外有之間敷被存候間右ノ通リ處分可致哉指令案相添此段相伺申候也

指令六年六月十九日

伺ノ通

指令案

書面舊鹿兒島藩ニ於テ銀壹二分判爲引換發行ノ錢札追々引揚殘ノ分兼テ届濟藩札ヘ差加同樣處分ノ儀此節ニ至リ申出候段不都合ノ至ニ候ヘ共出格ノ譯ヲ以開届殘札百十三萬六千六百六十五貫文辛未七月十四日相場金一兩ニ付錢三十一貫文ノ相場ヲ以引換可遣候條右札ニ關係ノ新舊官員御處分ノ儀早々可伺出事

但價格比較表ハ上木出來次第可相渡事

鹿兒島縣ヨリ大藏省ヘ伺六年四月日附

明治三年午十二月ヨリ未三月迄銀壹二分判爲引換製造預錢札百三十四萬六千五百五十兩

此金十三萬四千六百五十貫文

兩ニ付九六錢十貫文替

製造高内譯

一百貫文札一枚
一二百貫文札二枚
一三十貫文札一枚
一五十貫文札八枚
一六十五貫文札二枚
一八十貫文札九枚
一九十貫文札一枚
一百貫文札十二枚
一百十五貫文札三枚
一百二十五貫文札一枚
一百四十貫文札二枚
一百五十貫文札四枚
一百六十五貫文札一枚

一五十貫文札十八枚
一六十貫文札四枚
一七十貫文札三枚
一八十五貫文札一枚
一九十五貫文札三枚
一百三十貫文札一枚
一百四十五貫文札二枚
一百五十貫文札二枚
一百八十五貫文札一枚

一二百二十貫文札一枚
一二百五十貫文札一枚
一三百貫文札一枚
一三百十貫文札一枚
一三百五十貫文札一枚
一四百貫文札一枚
一四百六十貫文札一枚
一四百八十五貫文札一枚
一五百貫文札千三百五十四枚
一五百二十貫文札一枚
一五百八十五貫文札一枚
一六百七十五貫文札一枚
一八百十五貫文札一枚
一九百二十貫文札一枚

一二百二十貫文札一枚
一二百三十貫文札二枚
一三百貫文札一枚
一三百十貫文札一枚
一三百五十貫文札一枚
一四百貫文札一枚
一四百六十貫文札一枚
一四百八十五貫文札一枚
一五百貫文札千三百五十四枚
一五百二十貫文札一枚
一五百五十貫文札二枚
一五百六十貫文札一枚
一五百八十五貫文札一枚
一六百七十五貫文札一枚
一八百十五貫文札一枚
一九百二十貫文札一枚

一千貫文札六十八枚
一千八十貫文札一枚
一千百十貫文札一枚
一千百五十貫文札一枚
一千百八十五貫文札二枚
一千二百貫文札一枚
一千二百二十五貫文札一枚
一千二百五十貫文札一枚
一千二百九十貫文札一枚
一千三百貫文札一枚
一千三百二十五貫文札三枚
一千四百貫文札一枚
一千四百五十貫文札一枚
一千五百七十五貫文札一枚
一千六百五十貫文札一枚
一千六百八十貫文札一枚
一千八百二十貫文札一枚

一千八百九十貫文札二枚
一二千貫文札一枚
一二千一百五貫文札一枚
一二千二百三十貫文札一枚
一二千四百十貫文札二枚
一二千五百十貫文札十五枚
一二千五百九十貫文札一枚
一二千七百五十貫文札一枚
一二千七百六十五貫文札一枚
一二千八百五十五貫文札一枚
一二千九百二十五貫文札一枚
一三千貫文札五枚
一三千四百五十貫文札一枚
一三千六百七十貫文札一枚
一三千八百五十貫文札一枚
一四千貫文札四枚
一四千三百八十貫文札一枚
一四千四百二十五貫文札一枚
一四千五百九十貫文札一枚
一四千八百貫文札一枚
一四千九百七十五貫文札一枚
一五千五百八十貫文札一枚
一六千六百八十五貫文札一枚

右ノ内

引揚高
二十萬九千八百三十五貫文
此內譯

八十貫文札一枚
百十五貫文札一枚
五百貫文札三十九枚
千百五貫文札一枚
千二百貫文札一枚
千百三十貫文札一枚
千三百七十貫文札一枚
二千貫文札二枚

是ハ去ル未六月中引換燒却致シ候

百五貫文札二枚
四百六十五貫文札一枚
千貫文札四枚
千百十貫文札一枚
千百六十五貫文札一枚
千八百九十貫文札一枚
二千百八十五貫文札一枚

二千四百十貫文札二枚
二千七百六十五貫文札一枚
四千四百二十五貫文札一枚
五千貫文札十六枚
八千八百五十貫文札一枚

金三萬六千六百六十六兩六十一錢三釐

右ハ銀盛二分判通融ノ儀去々午冬御差留相成候節有金ヲ以引揚候處其砌金繰逼迫ニテ總テ引揚候儀難相調無據一時預札製造右ヲ以引揚去未五月ヨリ追々大阪造幣寮ヘ差出證御下金又ハ分析等ヲ以テ右二分判分析地金ニ致シ右ヲ差出又ハ資拂金ヲ以テ引替消却仕見込御座候處漸製後殘高百十三萬六千六百六十五貫文餘ニ及ヒ候間兼テ御届申上置候潛札ヘ御差加被下同樣ノ御處分被成下度此段奉願候也

同縣ヨリ紙幣寮ヘ届　六年四月日

預鑑

年號月日

錢何千貫文

代新金何百兩

印

本文何月何日何ノ某ヨリ相請取何ノ某ヘ相渡候月日　何ノ某印

下ケ札

何番ノ某

右ハ預錢札見本可差出旨御談ノ處當地ニ見本札無之候ニ付右預錢札雛形寫差出申候也

但外々相渡候節ハ雛形寫ニ下ケ札ノ通リ姓名書記候事ニ有之候

財務課議案　六年六月四日

大藏省伺舊鹿兒島藩於テ銀壹二分判通用爲引換私造錢札處分ノ儀致審案候處右ハ去ル庚午年中銀壹二分判通用ノ儀御差留相成候砌金繰逼迫ヨリ盡ク引揚兼候ニ付一時預錢札ナル者ヲ作リ右ヲ以引揚方致シ候云々無餘儀場合トハ乍申不經許可恣ニ錢札製造施行致候段以ノ外ノ儀且ハ去々辛未七月中再三御布令相成候趣モ有之藩札取調ノ節倶ニ上申可致置筈ノ處今日迄何等申立ノ筋モ無之單ニ之ヲ黙昧ニ付シ而シテ目今唐突願出候段順序條理ヲ失ヒ候始末ト被存候ヘ共御引換不相成候テハ詰リ人民ノ不都合ニ立至リ更ニ巨大ノ不利ヲ可生候間同省伺ノ如ク御指令相成更ニ右始末ニ關係仕候新舊官員屹度御譴責相成候外有之間敷則御指令左ニ相伺候也

大藏省伺　六年七月日闕

舊鹿兒島藩札庚午屆高金百四十萬二千二十六兩ノ處今般當省官員派出交換濟ニ至リ錢三百四萬三千四百二十三貫文增加相成右ハ先年町家大火諸所類燒ノ節凡二十萬圓內外燒亡見當ニテ兼テ損札引換用ニ增製備置右引換亦ハ天災ノ救助ニ時々振出發行致居候旨兼テ可屆出ノ處藩制中百事混淆ノ折柄全調落相成今更不念恐入候旨申出且亦銀壹二歩判爲引換專斷ヲ以庚午十二月ヨリ辛未三月迄預リ錢札發行引換殘百十三萬六千六百六十五貫文ノ分兼テ屆濟藩札ヘ差加ヘ同樣處分相願度旨申出右ハ是迄屆出モ無之不都合ノ至ニハ候ヘ共引揚方不行屆上ハ右錢札ハ一般ノ御處置ヲ以引換ノ積當六月中伺ノ上相達候處右樣等閑不行屆ノ始末取扱候主任ノ新舊官員恐入進退ノ儀別紙ノ通伺出候間前兩件共御讁責ノ上至當ノ御處置相成候方ト奉存候依之鹿兒島縣ヨリ差出候書面相添伺旁此段申上候也

鹿兒島縣ヨリ大藏省ヘ伺　六年六月三十日

先般大藏省官員御巡回舊藩札御引換ノ處兼テ御屆高ヨリ過上相及候趣ハ縣許ニテ御省官員ヘ御屆申出置候通ニ御座候右ハ專ラ舊藩制適宜ノ取扱ニテ此節ニ至リ不分明ノ廉有之候ニ付右藩札ヘ關係致候主任ノ者共取糺候處別冊ノ通申出甚不都合ノ至御座候間何分御處分ノ儀奉伺候也

別冊

一錢五貫文札十九萬三千五百八枚
此錢九十六萬七千五百四十貫文

一同一貫文札百六十一萬四千六十九枚
此錢百六十一萬四千六十九貫文

一同五百文札九十二萬三千六百二十八枚
此錢四十六萬千八百十四貫文

合枚數二百七十三萬二千四百二十三貫文

右三百四萬貫文餘ノ儀ハ元來舊藩制內製造發行致藩札總高ノ內年々二萬兩宛消却ノ積リ候處先年町家大火諸所類燒ニ付凡二十萬內外燒亡見當ニテ兼テ損札引換用ニ備置候紙札右ノ缺亡又ハ天災ノ救助ニ向ケ時々振出發行仕候處先般藩札御引換ノ砌料ラスモ本行通過上相及今更驚入候右ハ兼テ可申上候處藩中百事混淆ノ折柄全調落相成不念ノ至奉恐入候私共舊官ヨリ當務ニ至リ專主任仕候ニ付何樣トモ御處分ノ儀奉願候此段申上候以上

權典事　白石方之
權典事　山內弘章

右ノ通申出候間此段申上候也

明治六年六月二十九日

鹿兒島縣ヨリ大藏省ヘ伺　六年六月二十八日

錢札百十三萬六千六百六十五貫文

辛未七月十四日三十一貫文御屆相場ニシテ

此金三萬六千六百六十六兩六十一錢二釐九毛

舊官員

當分十二等出仕石原近昌
權大屬　澁谷國安

右ハ舊鹿兒島藩銀壹二分判爲引換發行ノ錢札引揚殘ノ分專藩制ノ取扱ニテ全御屆落ニ相成此節ニ至形行申出候始末不都合ノ至御座候依テ右錢札ニ關係致候新舊官員主任ノ者共ニ付何分御處分ノ儀奉伺候也

同縣ヘ達　六年八月二日

舊鹿兒島藩製造紙幣高增加幷ニ銀壹二分判爲引換錢札私造ノ儀取扱ノ者共首從ヲ分チ進退可伺出旨被仰達極敬可相達候也

同縣伺　六年九月十日

舊藩製造紙幣高增加幷銀壹二分判爲引揚錢札私造ノ儀取扱ノ者共首從ヲ分チ進退可伺出旨被仰達極敬承仕候依テ別紙ノ通當人共ヨリ申出候間一同御處分奉伺候也

但藩制中取扱ノ首人參政橋口彦次事病死仕候

鹿兒島縣士族舊權典事山內弘章白石方之伺　年月日闕

舊藩製造紙幣ノ儀先般御糺問ニ付形行申上置候通紙幣總高ノ內年々二萬兩宛消却ノ積候處先年町家大火諸所類燒ニ付凡二十萬內外燒亡見當ニテ兼テ損札引換用ニ備置候紙札右ノ缺亡ニ亦ハ天災ノ救助ニ

向ケ時々施行仕置候處今般御引換ノ砌料ラスモ紙幣增加ニ相及ヒ右ハ兼テ御届可申上ノ處藩制中百事混淆ノ折柄全調落相成不念ノ至奉恐入候私共在職中專主任ノ者共ニ付何樣トモ御處分奉伺候以上

中屬　澁谷國安　權中屬石原近昌　同

先般銀壹二分判爲引換發行ノ錢札引揚殘ノ分先般大藏省ヘ詳細御届申上置候通專藩制適宜ノ取扱ニテ金御届落ニ相成此節ニ至リ右始末申出候儀不都合ノ至奉恐入候依テ右錢札ニ關係致候主任ノ私共何分進退奉伺候也

司法省上申六年十月二十七日

藩制中百事多端ノ際銀壹二分金引換ノ爲メ錢札ヲ私造シ届出サル者

事可奏不奏條上司ニ申ス可クシテ申セサル所由公罪例圖ニ照シ

贖罪金三圓宛

鹿兒島縣　中屬　澁谷國安

同上ノ際定額外ノ紙幣ヲ增出シテ届出サル者

同　權中屬　石原近昌

同條士族タルヲ以テ例圖ニ照シ

贖罪金二圓二十五錢宛

鹿兒島縣　舊權典事　白石方之

右ノ通處斷致候此段申進候也

同　舊權典事　山内弘章

大藏省達　四年九月十九日　府縣

從來藩々於テ製造通用ノ紙幣廢藩ニ付テハ當七月十四日ノ相場ヲ以追テ御引換相成候ニ付精細取調可申出旨被仰出候ニ付追々取調申出候内ニハ相場而已ニテ準備金有無不申出其他不都合ノ調書差出候向モ有之候ニ付別紙雛形ノ通相場準備金ハ勿論御引替可相成紙幣高内譯共早々取調當十月十五日マテ可差出候事

用紙寫共美濃界紙

從前製造御届高

一何札總計金何程　但金一分以下ハ永ニテ五拾六八歩切ニ可取調末同斷ノ事

内　金何程　引換濟千支何月幾日御届

金何程　千支何月幾日引換濟未御届前

殘金何程

内譯

金札何程　引換濟　但何月幾日届濟カ届前カ

内何程

殘金何程　引換濟　但同斷

内　内何程

殘札何程　但辛未七月十四日相場管下何所何程何所

此金何程　但何程平均銀何百何十何匁何分何厘

内百目札何程

内以下各種同斷

錢札何程

此金何程　引換濟　但前同斷

内何程

殘何程　但相場前同斷

此金何程

内十貫文札何程

内以下各種同斷

米札何程

此金何程

内何程　引換濟　但前同斷
殘何程　但相場前同斷
此金何程
米何斗札何程
内　此　金
以下各種同斷
永錢札何程
内何程　引換濟　但前同斷
殘何程
百文札何程
内
以下各種同斷
〃
一金何程　正金　何程
金札　同
内
錢　同
何々　同
是ハ藩縣造ノ楮幣引換爲準備金相備置申候
若準備金無之分ハ何々ノ譯ヲ以無之段巨細譯書致シ可申事
御一新後製造御屆高
一何札總計金何程
内譯等都テ前同斷
一金何程

準備金

舊藩札調査方督促
四年十二月二十日大藏省
達ヲ以テ更ニ調査方ヲ督
促ス

正金　何程
金札　同
内
錢　同
何々　同
是ハ右同斷
從前
御一新後　兩樣ノ分ハ
合金何程
右ハ舊藩中製造ノ紙幣當時通用高内譯等書面ノ通相違無御座候以上
辛未何月日
何縣印

大藏省

大藏省達　四年十一月八日　諸藩

從來諸藩於テ製造通用ノ紙幣廢藩ニ付テハ當七月十四日ノ相場ヲ以テ追テ御引換相成候ニ付巨細取調早々可差出旨同月中御布告相成候處不都合ノ取調モ有之候ニ付去月十五日マテ精細取調可差出旨同九月中雛形ヲ以テ相達候處此節ニ至リ候テモ取調方不行屆ノ由ヲ以テ猶豫申立候向モ有之右ハ遠境ノ地ニ候共右樣遲延及候段不都合ノ事ニ候條未差出候分ハ右雛形ノ通取調早々可差出候此段相達候事
但相場ノ儀ハ素々其土地通用ノ紙幣ニ付管下ノ人民當七月十四日正金金札等藩札ト取引平均ノ相場ヲ以テ相定可申筈ノ處中ニハ官許相場抔ノ名目ヲ唱ヘ其外縣廳於テ勝手ノ相場ヲ立申出候向モ有之由御趣意ニ悖リ不都合ノ事ニ候條右ハ全前同日土地人民取引ノ相場二箇所以上ノ分ハ平均致シ候上ニテ不都合無之樣取調可申出候事

達節錄　四年十一月二十九日（全文ハ財政門國債ノ目ニ收ス）　諸縣

諸縣貢債之儀元管轄飛地之石高ヘ割當各地ヘ分配候テハ消却振混雜可致ニ付都テ元縣廳所屬之新置府縣廳ニ於テ取纏消却之見込相立可申事

但從前通用舊濟札高幷石高拜借貸付其他貸下高等巨細取調新置所轄ノ府縣ヘ引渡各其廳ニ於テ取扱可致事

布告 諸縣 四年十二月十四日

今般諸縣新置ニ付舊濟々管轄地ノ內兩縣ニ引分レ候向キ從前其地方通用ノ濟札取扱ノ儀ハ當七月十四日ノ相場ヲ以テ雙方共交通セシメ右兩縣ニ限リ上納ニモ受取候樣可致尤モ前條札ニ關係ノ事務ハ其發行ノ舊濟廳所屬ノ新縣ニ於テ可取扱事

大藏省伺 四年十二月九日

舊濟製造ノ紙幣取扱ノ儀ニ付別紙ノ通諸縣ヘ御達有之度此段相伺候也

指令 四年十二月十四日

伺ノ通

布告 四年十二月十八日

舊濟札ノ儀ハ當七月十四日ノ相場ヲ以テ引換可相成旨先般御布告有之尙新縣ニ於テモ支消ノ見込相立可申出段相達置候處右ハ追テ大藏省ニ於テ悉皆支消ノ方法相設ケ候ニ付別段見込申出ニ不及尤モ準備金ノ儀ハ調書差出早々同省ヘ可相納事

大藏省伺 四年十二月十四日

舊濟々從來ノ濟札引換ノ儀ハ當七月中御布告ノ趣モ有之候ヘ共右ハ於當省引換可申ニ付別紙ノ通更ニ御布告相成候樣存候此段相伺候也

指令 四年十二月十八日

伺ノ通

大藏省達 諸縣 四年十二月二十日

從來舊濟々於テ製造通用ノ紙幣當七月十四日ノ相場ヲ以テ追テ御引替可相成候ヘ共當分ノ內其縣々管內限リ七月十四日ノ相場ヲ以テ今般布告ノ銅貨價位ニ比格シ假令ハ百文錢札ノ相場七月十四日四十八文ナレハ二百錢二枚ト比格シ其他總テ右ノ比格ヲ以可致通用端錢一文未滿ハ切捨計算可致事

但兩札ノ儀ハ新貨條例ニ揭示ノ兩圓對當ノ條ニ照準可致事

大藏省伺 四年十二月日闕

舊濟々ニ於テ製造ノ錢札追テ御引替可相成候旨御達相成候ニ付テハ當分ノ內其縣々管內限リ七月十四日ノ相場ヲ以今般御布告ノ銅貨價位ニ比較通用致候樣更ニ御達相成度仍御布告案相添此段相伺候也

指令 四年十二月二十日

伺ノ通

布告 四年十二月二十日

舊濟々ニ於テ製造ノ錢札當八月及布告候通追テ御引替可相成候ヘ共當分ノ內其縣々管內限リ七月十四日ノ相場ヲ以テ今般布告ノ銅貨價位ニ比格シ假令ハ百文錢札ノ相場七月十四日四十八文ナレハ二百錢二枚ト比格シ其他總テ右ノ比格ヲ以可致通用端錢一文未滿ハ切捨計算可致事

但兩札ノ儀ハ新貨條例ニ揭示ノ兩圓對當ノ條ニ照準可致事

大藏省達 四年十二月二十日

從來舊濟々於テ製造通用ノ紙幣當七月十四日ノ相場ヲ以テ追テ御引替可相成候段同月中被仰出後紙幣高內譯相場準備金等取調方雜形ヲ以相達置候處追々猶豫等申立今以不差出向モ有之假令遠境ノ地ニ候共右體及遲延候謂無之甚以不都合ノ事ニ候條未差出向ハ兼テ相達置候雜形通至急精細取調可差出候此段猶又相達候事

布告 四年十二月二十七日

舊濟々ニ製造ノ紙幣當辛未七月十四日ノ相場ヲ以テ追テ御引替可相成旨被仰出候處今般舊銅貨ノ品位新貨ニ比較被相定候ニ付テハ各種紙幣ノ儀モ同樣新貨相當ノ定位被相定候ニ付大藏省ヨリ可相達候條此旨兼テ可相心得事

大藏省伺 四年十二月二十七日

舊濟々製造楮幣ノ儀先般慶濟被仰出候ニ就テハ辛未七月十四日ノ相場ヲ以テ追テ御引替可相成旨同月四年十二月十八日布告ヲ以テ舊濟札交消方大藏省ヘ於テ引換候ニ付テハ新舊兩縣ニ於テ舊濟札ノ取扱方ヲ定メ七年九月第百二十二號ヲ以テ舊濟縣五袋未滿札交換ヲ達ス

舊濟札交消方大藏省ヘ於テ發クルニ因リ開申ニ及ハス追加金ハ同省ヘ上納セシム

五年二月大藏省達第三十號ヲ以テ舊濟造紙幣地借金上納方ヲ令ス

五年六月大藏省達第七十九號舊濟札中半付ノ分一旦上納更ニ貸與ノ件參省ヘ掲令濟其下札大藏省ヘ負擔交納ノ件參省六年十月大藏省達第百五十號ヲ以テ舊濟札五錢以下ハ押印ノ上通用セシム

五年七月二十日大藏省達ヲ以テ新置縣管轄內ニ於テ舊濟札ノ取扱方ヲ定ム

七年九月第百二十二號ヲ以テ舊濟縣五袋未滿札交換ヲ達ス

舊濟錢札通用價位

舊銅貨品位ヲ定ムルノ件ハ四年十二月十九日ニ在リ貨幣ノ條ニ廢ス

新貨條例四年五月布告ヲ以テ定ムル所ナリ貨幣ノ條ニ廢ス

四年十二月二十七日布告ヲ以テ新貨ニ比較シテ舊濟札價位ヲ定ム

五年六月大藏省達第七十三號ヲ以テ舊濟札新貨ニ比較方ヲ示ス

舊濟札調盡方督促

新貨ニ比較シテ舊濟札價位ヲ定ム

舊銅貨品位ハ四年十二月十九日布告ヲ以テ定ムル所ナリ貨幣ノ條ニ廢ス

五年六月大藏省達第七十三號ヲ以テ舊濟札新貨ニ比較方ヲ示ス

五年七月達第二百七號ヲ以テ舊濟札五錢以下ハ押印ノ上通用セシム

ノ交換其以下ハ押印ノ上當通用セシム

五年七月大藏省布達第九十號藩札新貨幣ニ比較貸借返濟方等書

七年九月第百二十二號ヲ以テ舊藩縣五錢未滿札交換ヲ達ス

中御布令相成然ル處今般舊銅貨ノ品位新貨比較被相定候ニ付テハ前書楮幣ノ儀モ新貨相當ノ定價無之候テハ不都合ニ付別紙算則ノ趣ヲ以取調上納ニ相用ヒ候儀ハ御布令ノ通可相心得旨各管廳ヘ當省ヨリ可及布達ト存候間兼テ其段各地方ヘ御布告相成候樣致度依之元尼ケ崎藩外十藩分取調表雛形トモ相添相伺申候尤爾來取調出來候度々別段不相伺達濟ノ上御屆申上候樣可仕此段相伺申候

伺ノ通及布告候事

新舊貨幣比較表（出納沿革例規類纂抄錄）

舊藩製造楮幣　價格比較表

算則○第一則　錢札ハ調錢ト九六錢トヲ區別シ屆相場九六錢十二貫五百文以下ナルハ辛未十二月二十二日在來銅貨ト新貨トノ比較法ニ從ヒ都テ九六錢百文新貨八盆相當ノ割合ヲ以テ之ヲ定ム但十二貫五百文ヨリ以上ナレハ共儘之ヲ用ヒテ新貨ノ相當ヲ算出ス○第二則　銀札ハ各地辛未七月十四日ノ銀錢相場ニ照合シ其錢ノ額員ヲ算出シ第一則ノ算則ヲ以テ新貨ノ相當ヲ定ム○第三則　金札ハ辛未七月十四日ノ相場ヲ以テ直ニ新貨相當ノ價位ヲ定ム○第四則　新貨ニモノ品類ナシ故ニ盆位ヲ限リテ五捨六入トス若シ札一枚ノ額員一盆未滿ナルハ二枚或ハ幾枚ヲ併セテ之ヲ盆位ニ滿テルヲ極度トナシ新貨トノ相當ヲ定ム盆未滿ノ取捨ハ前文ノ算則ニ從フ

元	銀札一枚	新貨價	屆	金一兩ニ付
九百	目	八十三錢三盆	二	匁	一錢七盆	相場	銀百目
滯	五十	目	四十一錢七盆	一	匁	八	盆	調錢十貫文
管	十	匁	八錢三盆	五	分	四	盆	
內	五	匁	四錢二盆	三	分	二	盆	
通	五	匁	四錢二盆	三	分	二	盆	
用	三	匁	二錢五盆	二	分	二	盆	

右新貨比較ノ定價ヲ以テ追テ御引換迄ノ間元通用ノ土地ヲ限リ新貨及ヒ楮幣取交聊無差支通用スヘシ尤公ノ上納ニ相用フル儀ハ御布令ノ通心得ヘシ

（此他藩々楮幣價格略之）

舊藩藏札辛未七月十四日ノ相場開申方雛形

大藏省達　四年十二月日　關

舊藩々製造楮幣ノ內銀札通用有之場所辛未七月十四日ノ錢相場同七月中相達候楮幣通用相場取調方ノ振合ニ準シ相糺シ別紙雛形ノ通相認往返ヲ除ノ外日數十五日ヲ限無遲延可差出事

辛未七月十四日相場

元何藩管轄地

何國何郡何町　金一兩ニ付　錢何程

同郡何宿　金一兩ニ付　錢何程

何國何郡何村　金一兩ニ付　錢何程

此他幾箇所ニテモ此振合ニ認ムヘシ

銀札通用有之場所辛未七月十四日

錢相場取調帳

何縣

右幾箇所平均
一金一兩ニ付
一錢何程
　但調錢九六錢歟
同　斷
元何藩管轄地
何國何郡何村
一金一兩ニ付
一錢何程
　但同斷
右ハ當縣管下舊藩々製造銀札通用ノ各所錢相場取調候處書面ノ通相違無之候也

千支月日　　何縣令
　　參事　苗字實名印

舊弘前藩維新後私造楮幣交換ノ爲メ普知事及士族等ヲ上納スルヲ以テ其際殺ノ那ヲ問ハス五年六月五日大藏省ヘ掲令元福山縣私造楮幣消却方委省

大藏省

大藏省上申　四年九月二十日

弘前縣御一新後私造ノ金錢札十萬兩發行ノ由昨年届出候節同年秋熟迄ニハ不殘一掃可致旨再應申出候ヘ共難開届御布告ノ通早々停止可致旨相達候後引上濟有無不申出候ニ付相糺候處猶豫等申立是迄一切引上有無不申出然ル處右届外二十五萬兩都合三十五萬兩製造ノ內八萬兩連々引換濟殘二十七萬兩當時融通現高ニ有之候間御引換被下度段別紙之通リ申出候右ハ私造ノミナラス右體石高不相應發行致今般御布告ニ因リ御引換ノ儀申出候ハ不都合ノ次第ニ付右始末御譴責ノ上至當ノ御處置相成候方ト存候依之同縣書面相添伺旁此段申進候也

追テ御處置濟ノ上金錢札製造引上殘內譯幷七月十四日金錢札ノ相場準備金共精細取調當省ヘ可申出旨御達相成候樣致度候也

（兩ワニ二十七萬兩ニ作ル）

大藏省上申　四年十月日　（弘前縣ノ書面下ニ出ス願書ト同文ニ付省ク但書ニ三十萬五千五百兩ワニ二十六萬八百兩引換濟ニ殘リ二十六萬兩發行ノ趣昨年届出右ノ外二十五萬兩都合三十五萬兩製造內）

弘前改青森縣御一新後私造ノ金錢札十萬兩發行ノ儀去月十三日申出右ハ私造ノミナラス石高不相應發行致シ今般御布告ニ因リ御引換ノ儀申出候段不都合ノ次第ニ付右始末御譴責ノ上至當ノ御處置相成候樣同二十五日伺旁申進候處右ハ遂算全製造高三十萬五千五百兩ノ內四萬四千七百兩連々引換濟殘金二十六萬八百兩御引換相願候儀ニ有之就テハ去月十三日差出候書面ハ御引替御返戻有之候樣致度此段申進候也

追テ御處置濟ノ上金錢札製造引上殘內譯幷七月十四日金錢札ノ相場準備金共精細取調當省ヘ可申出旨御達相成候樣致度候也

（兩ワニ二十七萬兩ニ作ル）

大藏省上申　四年十月日　（弘前縣ノ書面下ニ出ス願書ト同文ニ付省ク但書ニ三十萬五千五百兩ワニ二十六萬八百兩引換濟ニ殘リ二十六萬兩發行ノ趣昨年届出右ノ外二十五萬兩都合三十五萬兩製造內）

弘前改青森縣御一新後私造ノ金錢札十萬兩發行ノ儀去月十三日申出右ハ私造ノミナラス石高不相應發行致シ今般御布告ニ因リ御引換ノ儀申出候段不都合ノ次第ニ付右始末御譴責ノ上至當ノ御處置相成候樣同二十五日伺旁申進候處右ハ遂算全製造高三十萬五千五百兩ノ內四萬四千七百兩連々引換濟殘金二十六萬八百兩御引換相願候儀ニ有之就テハ去月十三日差出候書面ハ御引替御返戻有之候樣致度此段申進候也

追テ御處置濟ノ上金錢札製造引上殘內譯幷七月十四日金錢札ノ相場準備金共精細取調當省ヘ可申出旨御達相成候樣致度候也

大藏省上申　四年十月二日

弘前縣ヨリ大藏省ヘ願　四年十月二日

青森縣ヨリ大藏省ヘ願　四年十月二日

去月十三日差上紙幣御引換願書製造高三十萬五千五百兩ノ內四萬四千七百兩連々引換濟殘金二十六萬八百兩御引換相願候儀ニ有之就テハ去月十三日差出候書面引換相願候旨別紙ノ通申出候間同二十五日調査差上候間先願書ト御引換御下ケ被仰付度此段申進候也

弘前縣ヨリ大藏省ヘ願　四年十月二日

比年兵馬ノ餘弊ヨリ引續キ非常ノ凶荒ニ陷リ既ニ細民流離ノ姿相顯レ候付テハ只管救助ノ一途ニ注意仕候ヘ共金穀渴乏ノ末差向キ救急ノ術無ク百方苦心罷在候內頓テ沍寒殺氣ニ向ヒ次第ニ飢寒迫號泣苍ニ滿ルノ形實ニ視ルニ忍ヒス無據許可ヲ得スシテ用達預紙製造仕候慣狀昨年來具ニ哀訴仕候通ニ御座候右製造高三十萬五千五百兩ノ內四萬四千七百兩連々引換濟殘金二十六萬八百兩御引換相願候儀ニ有之就テハ去月十三日差出候書面ハ御引替御返戻有之候樣致度此段申進候也

追テ御處置濟ノ上金錢札製造引上殘內譯幷七月十四日金錢札ノ相場準備金共精細取調當省ヘ可申出旨御達相成候樣致度候也

大藏省上申　四年十月二日

弘前縣ヨリ大藏省ヘ願　四年十月二日

青森縣ヨリ大藏省ヘ願　四年十月二日

去月十三日差上紙幣御引換願書製造高三十萬五千五百兩ノ內四萬四千七百兩連々引換濟殘金二十六萬八百兩御引換相願候儀ニ有之就テハ去月十三日差出候書面引換相願候旨別紙ノ通申出候間同二十五日調査差上候間先願書ト御引換御下ケ被仰付度此段申進候也

弘前縣ヨリ大藏省ヘ願　四年十月二日

比年兵馬ノ餘弊ヨリ引續キ非常ノ凶荒ニ陷リ既ニ細民流離ノ姿相顯レ候付テハ只管救助ノ一途ニ注意仕候ヘ共金穀渴乏ノ末差向キ救急ノ術無ク百方苦心罷在候內頓テ沍寒殺氣ニ向ヒ次第ニ飢寒迫號泣苍ニ滿ルノ形實ニ視ルニ忍ヒス無據許可ヲ得スシテ用達預紙製造仕候慣狀昨年來具ニ哀訴仕候通ニ御座候右製造高三十萬五千五百兩ノ內四萬四千七百兩連々引換濟殘金二十六萬八百兩御引換相願候儀ニ有之就テハ去月十三日差出候書面ハ御引替御返戻有之候樣致度此段申進候也

追テ御處置濟ノ上金錢札製造引上殘內譯幷七月十四日金錢札ノ相場準備金共精細取調當省ヘ可申出旨御達相成候樣致度候也

大藏省上申　四年九月二十日

弘前縣御一新後私造ノ金錢札十萬兩發行ノ由昨年届出候節同年秋熟迄ニハ不殘一掃可致旨再應申出候ヘ共難開届御布告ノ通早々停止可致旨相達候後引上濟有無不申出候ニ付相糺候處猶豫等申立是迄一切引上有無不申出然ル處右届外二十五萬兩都合三十五萬兩製造ノ內八萬兩連々引換濟殘二十七萬兩當時融通現高ニ有之候間御引換被下度段別紙之通リ申出候右ハ私造ノミナラス右體石高不相應發行致今般御布告ニ因リ御引換ノ儀申出候ハ不都合ノ次第ニ付右始末御譴責ノ上至當ノ御處置相成候方ト存候依之同縣書面相添伺旁此段申進候也

追テ御處置濟ノ上金錢札製造引上殘內譯幷七月十四日金錢札ノ相場準備金共精細取調當省ヘ可申出旨御達相成候樣致度候也

八萬兩連々引換濟殘リ二十七萬兩御引換ノ儀去月十三日申出右ハ私造ノミナラス石高不相應發行致シ今般御布告ニ因リ御引換ノ儀申出候段不都合ノ次第ニ付右始末御譴責ノ上至當ノ御處置相成候樣同二十五日伺旁申進候處右ハ遂算全製造高三十萬五千五百兩ノ內四萬四千七百兩連々引換濟殘金二十六萬八百兩御引換相願候儀ニ有之就テハ去月十三日差出候書面ハ御引替御返戻有之候樣致度此段申進候也

追テ御處置濟ノ上金錢札製造引上殘內譯幷七月十四日金錢札ノ相場準備金共精細取調當省ヘ可申出旨御達相成候樣致度候也

大藏省上申　四年九月二十日

弘前縣御一新後私造ノ金錢札十萬兩發行ノ由昨年届出候節同年秋熟迄ニハ不殘一掃可致旨再應申出候ヘ共難開届御布告ノ通早々停止可致旨相達候後引上濟有無不申出候ニ付相糺候處猶豫等申立是迄一切引上有無不申出然ル處右届外二十五萬兩都合三十五萬兩製造ノ內八萬兩連々引換濟殘二十七萬兩當時融通現高ニ有之候間御引換被下度段別紙之通リ申出候右ハ私造ノミナラス右體石高不相應發行致今般御布告ニ因リ御引換ノ儀申出候ハ不都合ノ次第ニ付右始末御譴責ノ上至當ノ御處置相成候方ト存候依之同縣書面相添伺旁此段申進候也

追テ御處置濟ノ上金錢札製造引上殘內譯幷七月十四日金錢札ノ相場準備金共精細取調當省ヘ可申出旨御達相成候樣致度候也

千支月日　　何縣令
　　參事　苗字實名印

右ハ當縣管下舊藩々製造銀札通用ノ各所錢相場取調候處書面ノ通相違無之候也

同　斷
元何藩管轄地
何國何郡何村
一金一兩ニ付
一錢何程
　但調錢九六錢歟
同　斷
元何藩管轄地
何國何郡何村
一金一兩ニ付
一錢何程
　但同斷
右幾箇所平均
一金一兩ニ付
一錢何程
　但調錢九六錢歟

大藏省

大藏省上申　四年九月二十日

弘前縣御一新後私造ノ金錢札十萬兩發行ノ由昨年届出候節同年秋熟迄ニハ不殘一掃可致旨再應申出候ヘ共難開届御布告ノ通早々停止可致旨相達候後引上濟有無不申出候ニ付相糺候處猶豫等申立是迄一切引上有無不申出然ル處右届外二十五萬兩都合三十五萬兩製造ノ內八萬兩連々引換濟殘二十七萬兩當時融通現高ニ有之候間御引換被下度段別紙之通リ申出候右ハ私造ノミナラス右體石高不相應發行致今般御布告ニ因リ御引換ノ儀申出候ハ不都合ノ次第ニ付右始末御譴責ノ上至當ノ御處置相成候方ト存候依之同縣書面相添伺旁此段申進候也

追テ御處置濟ノ上金錢札製造引上殘內譯幷七月十四日金錢札ノ相場準備金共精細取調當省ヘ可申出旨御達相成候樣致度候也

内四萬四千七百兩遞々引換濟ノ分
殘二十六萬八百兩
但管内通用ノ儀ハ別段相場差立不申候ヘ共商家融通官札一兩ニ付打金三分内外ニテ通用罷在候處當七月十四日弘前青森鯵ヶ澤三場所平均一兩ニ付三歩二朱相當ニ付右相場ヲ以テ定價ト仕候事
東京府上申 四年十二月五日
津輕承昭紙幣引換ノ儀ニ付別紙ノ通願出候ニ付御回申入候可然御指揮有之度此段申進候也

指令
願ノ趣御聞届相成候條此旨相達候事
津輕承昭ヨリ東京府ヘ願 四年十二月四日
臣承昭舊弘前藩在職中戊辰兵馬ノ疲弊ヲ受ケ纔ニ於テ必至ト切迫百方苦慮致シ候ヘ𪜈救術盡果不得止用達凶荒ニ陷リ追々細民飢寒差迫リ牧民奉職上ニ於テ坐視難忍依テ去ル巳年秋收迄ノ手續ヲ以テ米穀ヲ初メ諸色ヲ買上ケ窮民ニ賑恤シ又ハ土木ノ興作ヲ起シ以テ救助ノ方法ヲ設ケ候ヘ𪜈其ノ費用莫大ニ及ヒ藩庫ノ貯蓄ハ素ヨリ乏シク且ツ當時ハ諸藩ノ疲弊ヲ受ケ金穀空竭引續キ已ニ非常ノ凶荒ニ陷リ人民救助術盡キ事情切迫ノ際ニ付臣ノ權限ヲ以テ處置ノ術ナク不得止大參事以下決議仕則已ニ相違無之然ルニ今般同藩舊知事津輕承昭家祿ノ内ヨリ右楮幣引換目途相立テ依之別紙ノ通リ同縣ヨリ先日差上置候書類御取消願出候間前條ノ始末深ク御汲量被成下格別ノ御評議ヲ以願之通御聞届有之度此段申上候以上
追テ津輕承昭ヨリ東京府ヘ差出候書面幷舊弘前縣執政以下ノ者ヨリ差出候書面寫相添差上申候以上
舊弘前縣ヨリ大藏省ヘ上申 四年十二月三日
舊弘前縣楮幣發行御布令ニ戻リ候段始終相違無之且又引換願書前後調違ノ儀ハ同縣元權少參事櫻庭正蜂出先ニ於テ疎忽ノ調ヲ以テ文面取計候儀ニ相違無之然ルニ今般同藩舊知事津輕承昭家祿ノ内ヨリ右楮幣引換目途相立テ依之別紙ノ通リ同縣ヨリ先日差上置候書類御取消願出候間前條ノ始末深ク御汲量被成下格別ノ御評議ヲ以願之通御聞届有之度此段申上候以上
追テ津輕承昭ヨリ東京府ヘ差出候書面幷舊弘前縣執政以下ノ者ヨリ差出候書面寫相添差上申候以上
大藏省上申 四年十二月二十四日
舊弘前縣紙幣引換殘爲消却舊知事津輕承昭家祿ノ内五箇年割上納致度旨東京府ヘ相願候段申出候ニ付先般相伺候御評議ノ儀ハ暫時御見合相成候樣申進置同府ヘ掛合候處御院ヘ進達致置候趣申越候右ハ青森縣紙幣御引換願書出先ニ於テ文面取計ヒ事實相違致シ候儀ニ付再應御手數ノ御扱ニ相成候段本恐入候依之御沙汰本伺候以上
津輕承昭ヨリ東京府ヘ伺 四年十二月日闕
臣承昭舊弘前藩在職中戊辰兵馬ノ疲弊ヲ受ケ金穀空竭引續キ已ニ非常ノ凶荒ニ陷リ人民救助術盡キ事情際遂ニ不得官許用達共預リ紙製造發行仕朝憲ニ觸レ候段奉恐入候依之謹テ御沙汰奉伺候以上
大藏省上申 四年十二月二十四日
舊弘前縣紙幣引換殘爲消却舊知事津輕承昭家祿ノ内五箇年割上納致度旨東京府ヘ相願候段申出候ニ付先般相伺候御評議ノ儀ハ暫時御見合相成候樣申進置同府ヘ掛合候處御院ヘ進達致置候趣申越候右ハ青

森縣權令菱田重禧著縣ハ後承昭ヨリ差出候目的ノ如ク引換向取運ヒ申度旨申出ノ趣モ有之差向取扱方ニモ差支候間早速御決議ノ上御沙汰相成候樣致度此度申進候也

史官ヨリ大藏省ヘ達　四年十二月二十七日

津輕承昭舊弘前縣ニ於テ去ル戊辰年製造ノ楮幣發行高十萬五千五百兩引換殘二十六萬八百兩餘家祿ノ內ヨリ五箇年ニ割合消却致シ度願之通リ御聞屆相成候間此段申入候也

大藏省上申　五年二月十二日

元弘前縣ニ於テ已巳年製造之預紙消却ノ目途不相立候故舊知事津輕承昭家祿ヲ以テ五箇年ニ割合セ消却致シ度段願出御聞屆ニ相成居候處此度同縣士族之內別紙名面ノ者ヨリ家祿ノ內ヲ以テ消却ノ廉ヘ上納致シ度願出候ニ付其段聞屆候間此段申進置候也

青森縣ヨリ大藏省ヘ伺　五年正月二十五日

舊弘前縣士族都谷森正守西館建哲以下別紙二通書面ノ通リ紙幣消却ノ爲メ賞典祿及ヒ給祿高ノ內上納仕度旨願出候間早々御指揮被下置候樣此段奉伺候以上

青森縣ヘ願　四年十二月日闕

元弘前藩參政手傳都谷森正守ヨリ青森縣ヘ願　四年十二月日闕

私儀舊弘前藩在職中戊辰兵馬ノ疲弊ヲ受金穀空渴引續已巳非常ノ凶荒ニ陷リ人民救助ノ術盡果事情切迫不得止用達共預紙製造發行一時窮苦ヲ凌キ其後速ニ引換ノ手順取盡候內今般縣治之御體裁被仰出今日ニ至リ消却ノ目途難相立奉恐入候然ル處此度於東京表舊知事家祿ノ內ヨリ消却ノ廉ヘ可充旨願ニ及ヒ候處申來依之私共給祿ノ內半高永ク消却ノ廉ヘ上納仕度奉存候間御聞屆被成下度別紙相添此段奉願候誠恐惶謹言

元弘前藩參政手傳西館建哲外九名ヨリ青森縣ヘ願　四年十二月日闕

私共舊弘前藩在職中戊辰兵馬ノ疲弊ヲ受金穀空渴引續已巳非常ノ凶荒ニ陷リ人民救助ノ術盡果事情切迫不得止用達共預紙製造發行一時窮苦ヲ凌キ其後速ニ引換ノ手順取盡候內今般縣治ノ御體裁被仰出今日ニ至リ消却ノ目途難相立奉恐入候然ル處此度於東京表舊知事家祿ノ內ヨリ消却ノ廉ヘ可充旨願ニ及ヒ候處申來依之私共給祿ノ內半高永ク消却ノ廉ヘ上納仕度奉存候間御聞屆被成下度別紙相添此段奉願候誠恐惶謹言

高現米二百俵　但內百俵返上
高現米百俵　但內五十俵返上
高現米八十俵　但內四十俵返上
高現米八十俵　外ニ賞典二百五十俵　但內賞典給祿四十俵二十五俵返上
高現米四十俵　外賞典五十俵　但內賞典給祿二十俵二十五俵返上
高現米百五十俵　但內七十五俵返上
高現米二百俵

西館建哲
山木泰靖
大導寺繁禎

新紙幣ヲ發行シ從來ノ官蔕紙幣ト交換ス

高現米百俵　但內百俵返上
高現米八十俵　但內五十俵返上
高現米八十俵　但內四十俵返上
高現米八十俵　外ニ賞典二百五十俵　但內賞典給祿四十俵二十五俵返上
高現米四十俵　外賞典五十俵　但內賞典給祿二十俵二十五俵返上
高現米八十俵　外賞典五十俵　但內賞典給祿四十俵二十五俵返上
高現米四十俵　但內二十俵返上
高現米八十俵　但內四十俵返上

以上

山野元敏
楠美則敏
西館建久
佐藤正熙
神盛佑
櫻庭正躰
小山清孝

布告　四年十二月二十七日（新紙幣ノ條ニ見ユ）

維新已來太政官幷ニ民部省發行ノ金札製造ノ粗ナルニヨリ贋造ヲ謀ル者間々有之且又從來舊藩々々ニ於テ發行ノ金銀錢札ハ其管轄限リ通用ノ儀ニ付一般流通ノ便ヲ失ヒ其弊害不少依之今般御多端ノ折柄莫大ノ入費ヲ不被爲厭精工ノ新紙幣百圓五十圓二十圓十圓五圓二圓一圓五十錢二十錢十錢五錢ノ各種ヲ製造シ來壬申年二月十五日ヨリ右各種ノ內差向一圓五十錢二十錢十錢ノ四種ヲ發行セシメ追々製造成功ノ都合ニヨリ從來官藩兩樣ノ金札ト引換候條厚キ御趣意ヲ體認シ無疑念通用可致尤モ一般引換ノ都合ハ猶追テ相達候儀モ可有之依テ各種ノ新紙幣相添此段相達候事

蕃札只厥不買ヲ申スル者處分

大藏省伺　四年十二月二十日

岡縣紙幣ノ儀ハ舊幕府許可受銀札七萬兩分製造通用罷在候處御一新後銀目被廢候ニ付錢札ニ改造ノ儀去々巳五月中伺置不待御指圖施行致シ候段大阪表ニテ察當受ケ候旨昨春屆出候付同所ヘ打合及ヒ候處不待指圖施行致シ候迄ニテ外不都合モ無之由ニ付通用差許候處右錢札ニ他支配大阪表越後屋善太郎名面有之趣ニテ其儘管內通用致シ候ハ不都合ノ旨相達候ニ付右名面相除キ摺替ノ儀願出候ニ付辨官ヘ伺ノ上昨冬相達候後當春札雛形差出候節モ何等不申出此節ニ至リ員數屆替別紙ノ通申出右ハ去々巳年錢札ニ改造總計十五萬兩ニ候ハヽ昨年總高屆出ノ節可申出筈ノ處無其儀殊ニ增益致問敷旨兼テ相達置候通右體屆高ヨリ過分施行致シ候始末斷然御聽置ノ上至當ノ御處置相成候樣致シ度候也

旁申進候也

追テ御處置相濟次第早速御達シ有之候樣致シ度候也

岡縣ヨリ大藏省ヘ願　四年十月二十八日

一昨巳年楮幣高御取調ノ節七萬兩ト御屆仕置候處大凡ノ高ハ右ノ規定ニ候ヘ共兩替相場時態ニ應シ折々立金高七萬兩ノ規定ニテ數十年通用致來リ候處ト替候ヘハ金高難據就テハ其實數ハ時々增減有之一定不仕尤明和開發ノ年ヨリ十五箇年每ニ願繼許可ヲ受候儀ニテ共節々先規ノ通リ七萬兩高ニテ願繼來リ候ヨリ舊習ノ儘一昨年御調ノ節モ右規定高ヲ御屆申上置候儀ニ御座候然ルニ年來會計不繰卷ニテ不得止楮幣增摺等ヲ以テ蕉眉ノ急ヲ救ヒ候旁多分ノ散札ト相成備金乏敷ニ付テハ遂ニ正金引換ノ道ヲ失ヒ相對相場沸騰一時ハ共節相場ニテ二十餘萬兩ノ散札ノ處一昨巳年錢札ニ改造ノ節出金引戻シ殘高御定ノ通リ十貫文相場ニテ總計金十五萬兩則錢札百五十萬貫文ノ散札ニ相成居申候然ルニ一昨年御調ノ節末數事實ノ成行等具ニ可申上處從前規定高御屆申上置不念ノ段深重奉恐入候今般更ニ別紙ノ通實數御屆申上候間前ニ御屆ノ方ハ御取消被成下度此段奉願候也

別紙

紙幣製造高

一錢札總計百五十萬貫文

金ニ直シ十五萬兩

但一兩十貫文相場

右之通當分通用楮幣高ニ御座候以上

東京府屆　四年十二月十七日

從五位中川久成元岡藩知事奉職中不束ノ儀ニ付別紙ノ通進退伺差出候ニ付御廻申入候可然御指揮有之度此段申進候也

中川久成伺　四年十二月十五日

元岡藩內通用ノ楮幣總數已巳十二月中御調ノ節散札ノ實數書上可申處此表諸合候公用人從前ノ規定高ヲ以七萬兩ト御屆申上其後間違ノ儀ニ心付候ハヽ早速御屆直ニ可致處分處其儘打過此節ニ至實數十五萬兩散札ノ旨御屆仕候趣私儀知事奉職中右ノ次第不束ノ段奉恐入候依之速退奉伺候以上

元大參事四近長滿元權大參事中川久悠伺　四年十二月朔日

元岡藩內通用ノ楮幣總高已巳十二月御調ノ節散札ノ實數書上可申處東京諸公用人從前ノ規定高ヲ以七萬兩ト御屆申上其後間違ニ心付候ハヽ早速御屆直ニ可仕處打過此節ニ至リ實數十五萬兩ノ旨御屆替仕候段私共共砌執啟奉職中不束ノ至リ奉恐入候宜敷樣被仰達可被下候以上

元權大參事宗重計伺　四年十二月朔日

前文同上略之早速御屆直ノ存念可申達處私儀共砌會計局補助楮幣掛勤務中不束ノ至奉恐入候宜樣被仰達可被下候以上

元少參事古田重名伺　四年十二月二十日

元岡藩內通用ノ楮幣總高已巳十二月御調ノ節散札ノ實數可申上ノ處東京諸公用人從前ノ規定高ヲ以テ七萬兩ト御屆申上其後間違ニ心付候ハヽ早速御屆直可仕處其儘打過此節ニ至リ實數十五萬兩散札ノ旨御屆替相成候段私儀共砌會計局主事勤務中ニテ不束ノ至奉恐入候宜樣被仰達可被下候以上

元少參事桂一處伺　四年十二月朔日

前文同上略ス御屆替相成候段全ク最初ノ調方不行屆ニテ不束ノ至リ奉恐入候宜敷樣被仰達可被下候以上

元少參事小川一順伺　四年十二月二十日

前文同上略ス早速御屆替ノ存念可申達處私儀共砌參政勤役中不束ノ至リ奉恐入候宜敷樣被仰達可被下候以上

司法省ヘ達　五年正月十日

元岡藩知事以下進退伺書御廻申候適律御申出可有之候也

適律

職制律

省ニ申スル文書錯誤シテ事ニ害アル者笞二十非職士族ノ例ニ依

贖罪金一兩二分

遂令輕キヲ以擬シ所由タルニ依

讀愼三十日

所由ニ一等ヲ減シ

同　二十日

所由ニ二等ヲ減シ

同　十日

減シ盡シテ

無科

桂　一處

古田重名

小川一順

田近長滿

中川久悠

從五位中川久成

宗重計

大藏省伺　五年八月日閣

元大野藩ニ於テ負債高ヘ組込差出候米券四萬五千兩ノ儀巡回ノ官員ヨリ質問ヲ受ケ蝦夷地開拓其外入費相嵩管下ノ者ヘ金四萬五千兩調達申付藩造ノ紙幣下ケ渡候處從來發行高ヨリ增益致シ候ニ付消却ノ爲メ右米券銀二千七百貫目製造從來ノ紙幣引換ノ上負債高ヘ組込差出置候旨申立候ハ不都合ノ取計ニ有之尤丁卯ヨリ己巳十月迄ノ製造已巳十二月御布告前ノ發行ニテ不取計ニ付米券ハ一般ノ御處置ヲ以テ御引換可相成間舊官員不始末ノ廉ハ御處分ノ儀可伺出旨當六月中相達候ニ付別紙ノ通舊官員共恐入進退伺出候段足羽縣ヨリ申出候右米券製造發行致シ候ハヽ從前製造ノ紙幣一同總高届出御一新後製造ニ當候分ハ已巳十二月御布令ノ通リ通用停止可致筈ノ處無其儀事斷ヲ以テ製造從來ノ紙幣ト引換ノ上負債高ヘ組込差出質問ヲ受ケ此節ニ至リ右次第申立候不都合ノ始末ハ斷然御詮議ノ上至當ノ御處置相成候樣致シ度依之書類相添伺旁此段申進候也

本文米券發行ノ節ハ六十目替ニテ銀二千七百貫目當時散布高二千二百貫目辛未七月十四日相場八十目替銅貨假位新貨比較ニ依リ九十六匁此金二萬二千九百十六圓六十六錢七釐ニ相成候儀ニ御座候

足羽縣ヨリ大藏省ヘ伺　五年七月十七日

先般元大野藩負債ノ內米券四萬五千兩ノ儀始末御尋ニ付舊官員ヘ其段申聞御答書爲差出候處右金高ノ內御一新後製造ノ分ハ通用停止致シ其段御屆可申處無其儀藩債ノ內ヘ書出不都合ノ至リニ候ヘトモ格別ノ譯ヲ以テ追テ一般ノ御處置可相成候條當時散布ノ種類金高等精細取調可申出且屆方不都合ノ始末舊官員御處分ノ儀可伺出旨御達ニ付取調候處散布種類金高別冊ノ通リ申出候且又舊官員恐入別紙ノ通進退伺出申候如何處分可仕哉此段御屆旁相伺申候至急御指揮可被下候以上

元大野縣ヨリ足羽縣ヘ屆　五年六月日閣

一米札二千二百貫匁也

此金二萬二千九百十六圓六十六錢七釐

但兩九十六匁立

內譯

二貫匁札　百九十枚
此金三千九百五十八圓三十三錢三釐

一貫匁札　千六十枚
此金一萬千四十一圓六十六錢七釐

五百匁札　五百七十枚
此金二千九百六十八圓七十五錢

三百匁札　九百枚
此金二千八百十二圓五十錢

百匁札　二千五十枚
此金二千百三十五圓四十一錢七釐

元富山藩大參事戶田甫海外七名藩札引換ノ儀伺

右ハ當時米札散布種類金高如是御座候以上

元大野藩舊官員伺　五年七月三日

元大野藩米券四萬五千兩發行ノ內御一新前製造ノ分ハ已十二月御布告ノ通リ通用停止仕其段御屆可申上筈ノ處無其儀藩債ノ內ヘ組入奉上書候條不都合ノ至リニ候ノ旨奉蒙御沙汰深ク奉恐入候依之進退ノ儀如何相心得候テ可然御座候哉此段奉伺候以上

元大野縣大參事　中村重助
同權大參事　戶塚如陵
同權大參事　大熊潛
同大屬　岡氣一
同　鈴木準次
大屬　吉田拙藏

適律

藩造ノ米券御一新前ノ分屆出テス且御一新後ノ分ハ外從前ノ分一同御屆申上御一新後製造ノ分ハ已組入ルニ付迚令輕キニ科シ閏刑ニ換ヘ是又責ヲ全權ニ歸シ大參事ヲ首トシ

謹愼三十日充

屆ヲ第二從トシ

謹愼二十

元大屬　岡氣一
鈴木準次
吉田拙藏

大藏省伺　五年十二月三日

富山縣楮幣ノ儀ハ嘉永元申年舊幕府許可受金錢札ニテ五萬兩製造通用更ニ增減無之旨昨年總高届出有之候然ル處當七月十四日ノ相場ヲ以テ追テ御引換相成候ニ付精細取調差出候樣同月中御布告ニ付去月中別紙ノ通大參事小幡信友ヨリ調書差出候後元正權大參事戶田青海外二人口上書相添小幡信友外二人ヨリ別紙申出ノ趣ニテハ取束九萬七千九百兩餘通用致シ居右ハ全ク舊幕府ヨリ兩度ニ十萬兩ノ許可受ケ施行致シ候儀ニ候ハヽ昨年總高屆ノ節ハ勿論當春札雛形差出候砌有體可申出筈ノ處無其儀追々ノ御布告ニ依テ此節ニ至リ申出候段不都合ノ次第ニ付右始末御詮議ノ上至當ノ御處置相成候方ト存候依之同縣大參事共外ヨリ差出候書面本紙三通相添伺旁此段申進候也

追而御處置相濟次第早速御達シ有之候樣致シ度候也

富山縣小幡大參事屆　四年十月日閣

從前製造御屆高

一金札　總計金九萬七千九百三十六兩一分永百八文四分
　錢札　內譯
　金札九萬二千九百五十五兩二分二朱
　　辛未七月十四日富山市中相場官札一兩ニ付十二貫四百文
　　元藩札一兩ニ付十二貫百五十文
　此金九萬千八十一兩二分永十九文七分
　　金札引換濟無御座候

　內
　五萬四千九百二十九兩
　二萬八百八十二兩二分
　一萬四千百八十七兩三分二朱
　二千九百五十六兩一分

　錢札八萬五千貫文
　　但前條同斷
　此金六千八百五十四兩三分永八十八文七分
　　錢札引換濟無御座候

　內
　三萬五千五百貫文
　三萬二千七百貫文
　九千貫文
　六千貫文
　千八百貫文

一御一新後製造紙幣無御座候
一準備金無御座候
　但元藩紙幣ハ二十五箇年ノ支消見込昨年御屆申上候通ノ割合ヲ以テ當辛未ノ暮ヨリ年々公廨入費ノ內十分一知事家祿ノ內十分一百俵以下再減祿無之士族卒家祿ノ內二十分一取立支消ノ目的ニ御座候間此旨兼テ申渡置候

右ハ舊藩中製造ノ紙幣當時通用高內譯等書面ノ通リ相違無御座候以上

　小幡信友等ヨリ大藏省ヘ願　四年十一月ロ屆

立石包正儀昨冬十月富山縣權大參事拜命野村千里儀當五月同縣權大參事拜命元金澤縣士族小幡信友儀ハ當六月富山縣大參事拜命仕信友始メ何モ藩造紙幣員數高先職ノ者ヨリ金札九萬二千九百五十五兩永六百二十五文錢札八萬五千貫文ト傳承罷在候處先般廢藩被仰出楮幣相場等ノ儀御屆可申上旨御布告ニ付尚又爲念前々ノ記錄等取調候處去午年二月御屆高ニハ五萬兩ト有之則今般通ノ員數高ト大ニ齟齬仕候ニ付先頃小幡信友歸縣ノ節舊大參事戶田青海等ヘ遂尋問候處別紙口書ノ通申聞候尤再三遂穿鑿候ノ處忽々口書ノ通相違無御座私共ニモ在職以來不心付組念ノ至實以テ恐縮候依テ此上如何樣ニ被仰付候共何卒前文員數高ノ儀ハ御許容被成下管內人民ノ困却不成候樣宜敷御仁裁ノ程偏ニ奉歎願候以上

　戶田青海同野村千里入江帆三　四年十一月ロ屆

一昨巳年冬藩職制改革歲入歲出幷楮幣御屆申上候處元來藩造楮幣ノ儀ハ寬政四年三月舊幕府許可ヲ受ケ五萬兩發行共後嘉永二年六月又候五萬兩餘許可ヲ受都合十萬兩餘發行仕候ヘハ過分ノ紙幣高ニ相成候ニ付東京表ニテ諸藩造幣御屆並合モ有之故候處本藩正稅高ニ全ク比較仕候ヘハ過分ノ紙幣高ニ相成候ニ付東京表ニテ諸藩造幣御屆並合モ有之故見計御屆申上候樣公用方ヘ申遣候處則チ五萬兩ト御屆申上候由申來候就テハ餘分高公廨資費相省キ消入申度存意ニ罷在候處天下一般凶荒且先年兵賦殘餘相當如何共難仕日夜苦心罷在候內心經疲勞在職堪兼候ニ付辭職仕候前顯顚末縷陳不都合ノ段奉恐縮候ヘ共從前藩內惰實御推考宜ク御執奏奉願候依之私共身分進退ノ儀奉伺候以上

　林義緣　飯森登

私共庚午年二月富山藩公用方相勤在府罷在候處藩造紙幣御屆方ノ儀藩高相應見込相立不都合無之樣可取計旨參事ヨリ申越候ニ付各藩並合モ有之候ニ付藩札五萬兩ト及御屆參事中ヘモ右ノ趣申遣シ若シ過札ニ相成居候ハヽ公廨費精々相省キ支消ノ方法見込相立候樣申送リ置候右ハ藩札更ニ本藩ヘ詳細相尋候上有體御屆可申上候處藩高不相應ノ員數相當リ深ク奉恐懼候依テ私共身分進退ノ儀奉伺候以上

　小幡信友　立石包正　野村千里

適律

舊幕府ヨリ許可ヲ受ケ巳ニ十萬兩餘施行セル藩製ノ楮幣ヲ他藩屆ノ並合ヲ斟酌シ不實ヲ官ニ告ケヨト故ラニ人ヲ指使シ因テ五萬兩ナリト詐告スルニ至ル條例上ニ告クルニ詐テ實ヲ以セサルノ情狀輕キニ依テ擬シ杖八十犯私罪ヲ以論シ閏刑ニ換ヘ

　戶田青海　大愚哉
　盤江帆三

閉門八十日

戶田青海等ノ從トナシ一等ヲ減シ杖七十長官ノ趣意ニ隨テ犯スト雖モ仍ホ私意ヲ加ヘテ詐告ヲ行フ因テ亦犯私罪ヲ以テ論ス

閉門七十日

後レテ拜命ニ付

無罪

司法省上申　五年七月十八日

別紙ノ通戶田青海始進退處斷相達候上ハ元知事前田利同儀當時洋行中ノ趣ニ付跡劄候ハヽ右屆ノ節指

伺ヲ經スシテ猶札增造及增出ノ者處分方

揮ノ始末一應御尋問有之候テ可然ト存候依テ此段申添進候也

大藏省上申　四年九月日闕

龍野縣楮幣之儀從前錢切手一萬六千貫目製造通用ノ旨昨午三月中屆出有之候處右之外二萬五千二百貫目餘同年中一時ノ權宜ヲ以製造夫々引當ヲ取管下へ貸付候內印付ノ分ハ來申三月中無印ノ分ハ同十一月限引上切捨候見込ニハ候ヘトモ從前ノ紙幣御引換ノ節ニ至候ヘハ速ニ引上切捨聊モ御厄介相掛申間敷旨別紙ノ通申出候右ハ兼テ御布告モ有之候處不經伺自儘製造致候段不都合ノ次第ニ付右始末御龍責之上至當之御處置相成候方ト存候依テ此段申添進候也

龍野藩ヨリ大藏省ヘ屆　四年九月八日

當縣之儀ハ元來正金札甚拂底ニ付テハ縣之紙幣ヲ以通用仕來候處播州ハ小縣入交リ犬牙相接候地故無限他縣ノ紙幣紛入雜沓仕候テハ縣之紙幣ヲ以貸付置候間若延納相成候ヘハ引當物ヲ取上ケ右代金ニテ引替聊遺害ハ無御座候ヘ共今般御布令ノ趣モ御座候ニ付此段兼テ御屆申上置候以上

別紙仕法書

一二萬五千二百三貫八百二十九匁

此金五萬四百七兩二分二朱永三十三文

內

一萬七千九百九貫目　印附貸付之分

七千二百九十四貫八百二十九匁　無印貸付之分

右ハ紙幣引替基本金幷商法元金之爲メ製造仕夫々引當物ヲ以貸付申候尤印附之分ハ身元有之者ヘ貸付置右印附ノ紙幣引替座ヘ相廻リ候節借主ヨリ正金札ト爲引換紙幣ハ共儘切捨申候右正金札ハ引替金ニ宛テ候儀御座候無印貸付之分ハ國產之醬油木綿其外正金札ニテ上納爲致右ヨリ引替之基本金ニ相用ヒ返納ノ紙幣ハ共儘切捨申候右何レモ延納相成候ヘハ引當物ヲ取上ケ右代金ニテ引替切捨申候以上

龍野縣大參事水谷祇德同進藤俊有伺　四年十月

舊藩紙幣增摺ノ儀ニ付先達テ大藏省ヘ御屆書差出候處去ル二日御官ヨリ詰合ノ者御呼出ニテ管內紙幣增摺相成候儀ハ兼テ御布告ノ趣モ有之處如何ノ譯ニテ製造候哉其次第申上且主務之者進退相覩候樣御沙汰之趣申越之具奉敬承候右ハ兼テ大藏省ヘモ御屆書差出候處如何ノ譯ニテ製造候哉其次第申上且主務之者進退相覩候樣御沙汰相成候旨御達ノ趣奉恐入候右ハ先達テ大藏省ヘ御屆相成候通內實不得止次第有之者幷商人共ヘ引當ヲ取リ貸付急難ヲ救候段全ク是迄散出之楮幣トモ譯迄ヒ引揚支消之目途急度相立候樣仕當時引揚方專ラ取計一萬貫目餘ハ專斷ニテ是迄散出之楮幣トモ譯迄ヒ引揚支消之目途モ急度相立候ヨリ一時ノ融通ト相心得右樣不束ノ儀ニテ是迄散出之楮幣トモ譯迄ヒ引揚支消之目途モ急度相立候ヨリ一時ノ權宜ヲ以テ增摺仕身元有之者幷商人共ヘ引當ヲ取リ貸付急難ヲ救候儀ニテ是迄散出之楮幣トモ譯迄ヒ引揚支消之目途モ急度相立候ヨリ一時ノ融通ト相心得右樣不束ノ儀仕候段今更何トモ奉恐入候儀御座候尤紙幣ハ大藏省ヘ御屆ノ節申上候通追々引揚方取計當時一萬貫目ハ切捨餘ハ專引揚方取計罷在候ヘトモ何分不束ノ至奉恐入候依之進退ノ儀御沙汰奉窺候以上

下ケ札

印附貸付之分一萬貫目ハ來申年三月中引上切捨候見込御座候併右札引上候テハ正金札ノ融通附兼紙幣引替方ニ差支甚難澁ノ儀御座候間先此儘捨置融通仕度尤紙幣御引替ノ節ニ至リ候ヘハ速ニ引上切捨聊モ御厄介ヲ懸申間敷候

無印貸付之分千二百九十四貫八百目ハ此節引上三千五百貫目ハ來申年四月中二千五百貫目ハ同十一月限引上切捨候見込御座候右大凡之見込ニテ引上方嚴敷取計居候間見込ヨリハ早ク引上申年十一月限引上皆濟可仕決テ御厄介ヲ懸申間敷候

濟相成可申ト奉存候共內紙幣御引替ノ節ニモ至リ候ヘハ如何樣トモ仕速ニ引上

取上ケ右代金ニテ紙幣貸付延納之員數ハ速ニ引替切捨申候以上

大參事水谷祇德
大參事進藤俊有

元權大屬柳川兼美
大屬本莊秀德

謹愼四十日

逆令ノ輕キヲ以テ論シ

謹愼三十日

史官ヨリ司法省ヘ問合　五年正月十日

凡官吏ノ贖罪ハ公罪ヲ犯シ及ヒ過誤失錯シテ杖以下ニ該ル者例ニ照シ贖ヲ聽スト有之候ニ就テハ元龍

野縣權大參事兩人進令ノ重キヲ以テ論シ讁愼四十日ノ適律御申立ノ處右兩參事共公罪ヲ犯シ贖罪ニ當テ御處置相成候儀ニテ相當ニハ有之間敷哉此段爲心得及御問合候也

司法省同答五年正月十八日

元龍野縣大參事兩人進退伺ニ付讁愼四十日適律申上候處右兩人ノ儀ハ犯公罪候者ニ付贖罪相當ニハ有之間敷哉ノ旨御問合ノ趣致承知候然ル處楮幣製造ノ儀ニ付テハ嚴重御布告モ有之假令困迫ノ餘リ不得止急難ヲ救候儀トハ乍申全專斷ヲ以取計候始末有心故造之筋ニ相當リ公罪過讁失錯ヲ以テ論シ難ク依之右適律申上候儀ニ御座候此段御答申進候也

○大藏省伺　四年十二月二十四日

西條縣舊藩中製造ノ楮幣ハ舊幕中許可不受錢札金九萬六千七百兩餘製造通用ノ外御一新後製造等無之段昨年中屆出候處當七月十四日ノ和場ヲ以テ御引換被仰出候ニ付精細取調差出候內昨年屆出外金二萬三千十兩餘ハ廢札引替爲手當貯置候ニ付昨年屆不出候處管內融通ノ爲メ取建候商法掛リヨリ一時爲融通差出候錢預リ切手ニ引替等取計候段恐入候ヘ共藩政御委任中ノ儀ニ付取計候段別紙ノ通申出候右ハ藩政御委任中ニ候共兼テ屆出外元備モ不致自己發行取經出來兼御引換ノ儀ニ付テハ嚴重御布告モ有之假令困迫ノ餘リ不得始末有心故造之筋ニ相當リ公罪過讁失錯ヲ以テ論シ難ク依之右適律申上候儀ニ御座候此段御答申進候也

○大藏省伺　四年十二月二十四日

西條縣舊藩中製造ノ楮幣ハ舊幕中許可不受錢札金九萬六千七百兩餘製造通用ノ外御一新後製造等無之段昨年中屆出候處當七月十四日ノ和場ヲ以テ御引換被仰出候ニ付精細取調差出候內昨年屆出外金二萬三千十兩餘ハ廢札引替爲手當貯置候ニ付昨年屆不出候處管內融通ノ爲メ取建候商法掛リヨリ一時爲融通差出候錢預リ切手ニ引替等取計候段恐入候ヘ共藩政御委任中ノ儀ニ付取計候段別紙ノ通申出候右ハ藩政御委任中ニ候共兼テ屆出外元備モ不致自己發行取經出來兼御引換ノ儀ニ付テハ嚴重御布告モ有之假令困迫ノ餘リ不得始末有心故造之筋ニ相當リ公罪過讁失錯ヲ以テ論シ難ク依之右適律申上候儀ニ御座候此段御答申進候也

三分札百七十九貫百七十三文
二分札百三十四貫五百八十七文
小以如高
但引換濟ノ筋無御座候

外ニ
錢札高三千二百八貫三百六十目
此金二萬三千八十一兩二分三朱永三十九文一分
但御屆前相場前同斷

內
十文札三千百四十貫八百六十目
五文札六十七貫五百目
右ハ從前製造高ノ外慶札引替爲手當貯置候品ニ付先般製造高御達之砌御屆不申上御座候處管下融通ノ爲メ取建候商法掛リヨリ一時融通ノ爲メ錢預切手差出追々益錢ヲ以テ元高取消上下潤澤爲仕候見込ノ處辛未正月中金券幷空名ノ預切手等慶止候樣被仰出ニ付右預切手等追々正金ニ引換可申筈ノ處僻地ノ儀ニ付迚モ一時正金ノ融通難相整候ニ付本書高ノ通リ從前來貯置候用意札ヲ以テ右預切手引換置追テ正金ニ引替可申見込ノ處未タ右融通相整不申候ニ付今般改テ御屆仕候尤其砌御屆可申上處前件目的モ有之候儀ニ付一時融通ノ爲メ取計候段ハ恐入候ヘ共藩政御委任中ノ儀ニ付如此取計申候
合金十萬千七百五十四兩三分二朱永五十四文五分
一右ノ外米金銀札等差出無御座候事
一準備金
右連年ノ疲弊ニ取候當時建置候品無御座候事
右ハ舊藩中製造ノ紙幣當時通用高內譯等書面ノ通相違無御座候以上
東京府伺　五年正月十二日

從四位松平賴英知事在職中藩造紙幣高御屆洩ノ儀ニ付進退伺別紙ノ通差出候間御廻申入候間可然御指揮有之度此段申進候也
松平賴英ヨリ東京府ヘ伺　五年正月十日

私儀在職中舊藩管下物產繁殖ノ爲メ商社取建候處則本手薄ニ付一時爲融通錢預リ切手差出追々益金ヲ以テ右準備ト相定メ追々錢券消却候ハヽ元高取消上下潤澤ニモ相成可申旨會計掛リヨリ申出ニ付大參事以下熟議ノ上許可仕候處辛未正月中金券幷空名ノ預切手等慶止候樣被仰出候ニ付右預リ切手等急速正金ニ引換可申筈ノ處僻地ノ儀ニ付迚モ一時ニ差支破產ニ立至候者モ不少候ニ付從前廢札引換手當トシテ貯置候用意札ヲ以テ右預切手引替置追テ正金ニ引換可然旨右掛ノ者ヨリ申出候ニ付熟評仕候處前件ノ通リ一時廢止候テハ乍ヲ破產ノ者共モ不少民心紛擾ノ機モ相見エ候ニ付不得止右差許申候尤兼テ御達仕候藩製楮幣高外ノ儀ニ付共節奉伺候上處置仕可然旨參事共ヘ申聞候處隔地ノ儀ニ付往復中必至ト融通ニ差支且藩政御委任中ノ儀ニ付便宜ヲ

以テ一時ノ處置仕候儀ハ伺且御届ニ及ヒ申間敷旨押テ申出候右ハ御達高外ノ儀ニ付其節御届可仕筈ノ處大參事以下申出ニ任セ此節迄遷滞相成候段奉恐入候依之進退奉伺候以上

元大參事吉岡正忠元權大參事豊島正直同長谷川親比ヨリ松山縣ヘ伺五年正月廿四

私共儀在職中舊藩管下物産繁殖ノ爲メ商社取立候處財本手薄ニ付一時爲融通錢預リ切手差出追々益金ヲ以テ右準備ト相定メ追々錢券消却候ハヽ元高取消上下ノ潤澤ニモ相成可申旨會計掛ヨリ申出候ニ付熟議ノ上許可仕候處辛未正月中金券幷空名ノ預リ切手等廢止候樣被仰出候ニ付右預リ切手等急速正金ニ引換可申筈ニ候處僻地ノ儀ニ付迚モ一時正金ノ融通難相整且一時ニ廢候テハ下民共融通ニ差支破產ニ立到候者モ不少候ニ付從前廢札引換手當トシテ貯置候處前件ノ通リ一時廢止候ハヽ乍チ破產ノ者共モ不少民心紛擾ノ機モ相見候ニ付不得止右差免シ申候尤兼テ御達仕候藩制楮幣高外ノ儀ニ付其節奉伺候上處置仕可然旨知事ヨリ申聞候處隔地ノ儀ニ付往復中必至ト融通ニ差支且藩政御委任中ノ儀ニ付便宜ヲ以テ一時處置仕候儀ハ伺且御届ニ及ヒ申間敷旨押テ申出候右ハ御達高外ノ儀ニ付其節御届可仕筈ノ處此節迄遷滞相成候段奉恐入候依之進退奉伺候以上

雜犯律

遵令ノ輕ヲ以テ擬シ笞三十第二從トシ一等ヲ減シ笞二十私罪ノ例ニ依リ

謹愼二十日

遵令ノ輕ヲ以テ擬シ笞三十首メル者私罪例ニ依リ

謹愼三十日

松平頼英

豊島正直

吉岡正忠

長谷川親比

大藏省伺　四年十二月二十七日

元松江縣紙幣ノ儀銀錢札ニテ三十九萬六千八百兩餘製造通用罷在候旨昨午年總高届出有之候處右ノ外錢札發行致候段當八月中申出候節右發行ノ始末共精細取調可申出旨相達候處昨年届外錢札預リ二口合高ノ內同五月迄引換殘同七月十四日ノ相場ニ直二十七萬五千六百兩餘有之夫々支消ノ目的モ追々ノ御改正ニテ紙幣ヲ以テ相渡然ル上ハ只管盡力不怠シテ支消ノ目的有之候ニ付不遂伺數多ノ紙幣增造仕候處爾後目算紕謬仕候儀モ有之遂ニ消却ノ道モ不相立共儘御届仕候樣成行候段恐縮ノ至御座候仍進退如何相心得可然哉奉待御沙汰候誠恐頓首

同藩舊官員等ヨリ島根縣ヘ伺五年二月二十五日

元松江縣下通用紙幣ノ內追々御届仕候通無餘儀情實ニ付貨幣ノ儀ハ不輕品不容易儀トハ奉存候ヘ共不得止一時紙幣ヲ以テ相渡然ル上ハ只管盡力不怠シテ支消ノ目的有之候ニ付不遂伺數多ノ紙幣增造仕候處爾後目算紕謬仕候儀モ有之遂ニ消却ノ道モ不相立共儘御届仕候樣成行候段恐縮ノ至御座候仍進退如何相心得可然哉奉待御沙汰候誠恐頓首

同藩舊官員等ヨリ島根縣ヘ伺五年二月二十五日

元松江縣下通用紙幣ノ內追々御届仕候通無餘儀情實ニ付貨幣ノ儀ハ不輕品不容易儀トハ奉存候ヘ共不得止一時紙幣ヲ以テ相渡然ル上ハ只管盡力不怠シテ支消ノ目的有之候ニ付不遂伺數多ノ紙幣增造仕候處爾後目算紕謬仕候儀モ有之遂ニ消却ノ道モ不相立共儘御届仕候樣成行候段恐縮ノ至御座候仍進退如何相心得可然哉奉待御沙汰候誠恐頓首

元松江縣士族　執政乙部誠一郎　同　黒川卓祥之助　同　石原　會計主事神谷馨園　出納司部田村傳平　同　間宮盛助　同　岸野亘鱗　出納司部助動天野泰　楮幣司部海野耳朊

會計幹事富谷門藏　同　星野泰助

史官ヨリ司法省ヘ達五年三月二十日

舊松江藩知事松平定安紙幣增造ノ儀ニ付進退伺出候間御廻申入候舊同藩大參事等進退伺ハ昨日御廻シ置候間一同ニ適律御申出可有之候也

適律

情實止ムヲ得サル處ヨリ舊幕府許可ノ外多數ノ紙幣ヲ已已七月私カニ增造シ同十二月御一新後製造ノ楮幣ハ停止ノ御布令ニモ違ヒ尙ホ依然通用スル等ノ事故有テ公發シ難キヲ以テ庚午八月僞數ノ届ヲ爲シ置キ支消ノ目的ノ紕謬シ窮極ニ至リ辛未八月告ルニ實ヲ以テス

朝日升山　同　赤木榮山

同　齋藤修一郎　參　吉田藏六　同　星野泰助

同　門藏　同　星野泰助

會計幹事富谷門藏　出納司部田村傳平　同　間宮盛助

出納司部助動天野泰　楮幣司部海野耳朊

情實止ムヲ得サル處ヨリ舊幕府許可ノ外多數ノ紙幣ヲ已已七月私カニ增造シ同十二月御一新後製造ノ楮幣ハ停止ノ御布令ニモ違ヒ尙ホ依然通用スル等ノ事故有テ公發シ難キヲ以テ庚午八月僞數ノ届ヲ爲シ置キ支消ノ目的ノ紕謬シ窮極ニ至リ辛未八月告ルニ實ヲ以テス

朝日升山　神谷馨園

宮谷門藏　星野泰助

從トナシ一等ヲ減シ杖七十ヲ換ヘ

松平定安　乙部誠一郎

閉門八十日